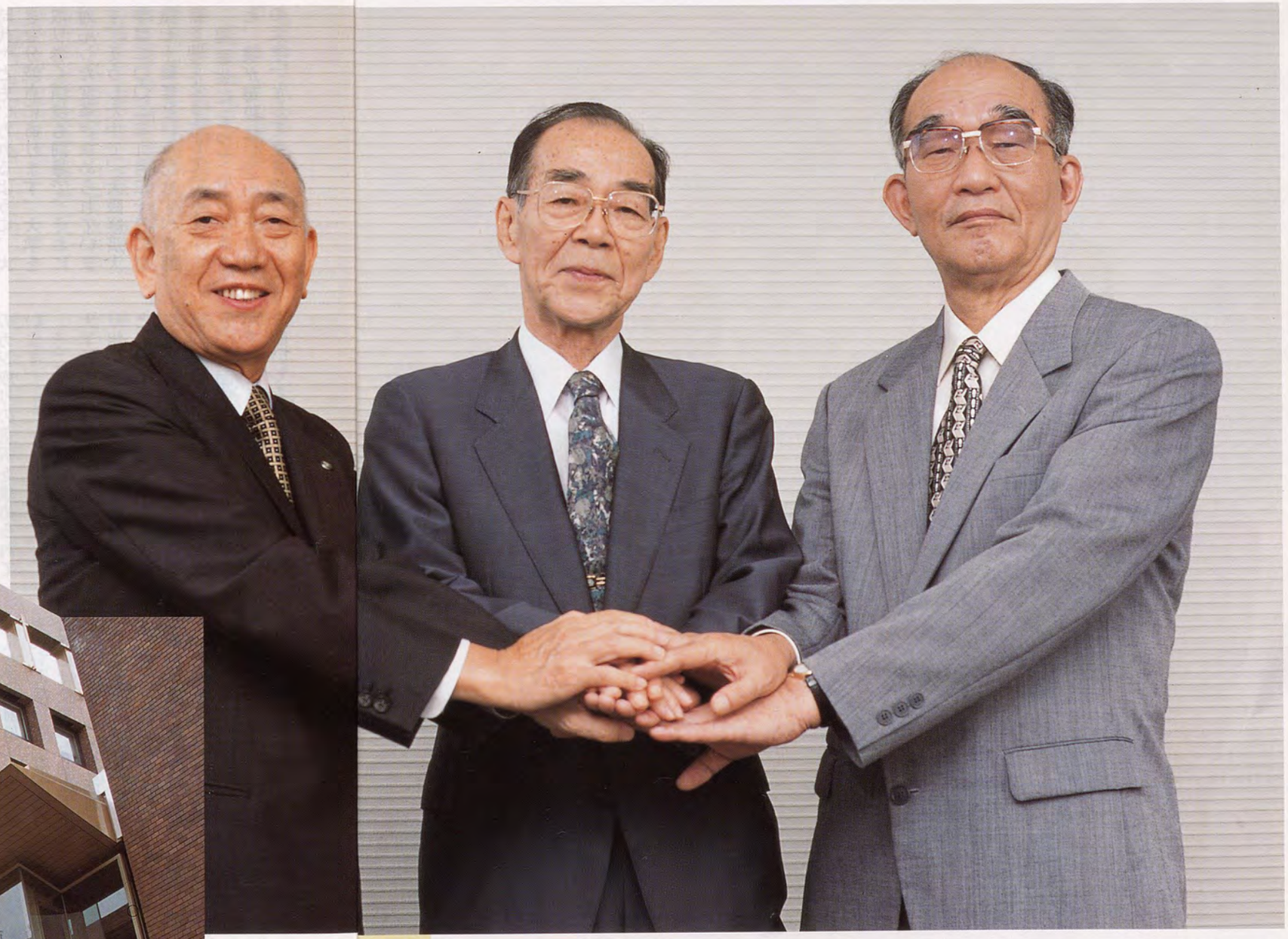
激浪

1999年　大阪経済大学同窓会

KEIDAI OSAKA

TOP SYMPOSIUM

大学改革論争が繰り広げられる中、大阪経済大学も学部の新設や入試改革、教育内容の充実などに積極的に取り組んできた。
「競争的環境の中で個性が輝く大学」を実現するためには、「自由と融和の人間形成」と時代を見据えた「実学」の導入という黒正厳先生の建学の精神に基づき、人的・物的資源を最大限に活用しながら改革を進めていかなければならない。改革を成功に導くためには理事会、教職員の努力はもとより、同窓会の果たす役割も大きいのではないだろうか。
今回の特集では、新理事長・井阪健一氏、学長・山田達夫氏、新同窓会会長・陰下嘉典氏の3名にご登場願い、ご意見を語っていただいた。



巻頭特集 座談会 理事長 井阪健一氏 学長 山田達夫氏 同窓会会長 陰下嘉典氏

人的・物的資源を生かして創る、社会に開かれた、魅力ある大学

伝統を生かしながら、新しい時代に輝きを放つ大学をめざして

学長
山田 達夫
やまだ　たつお

1929年新潟生まれ。1957年京都大学農学部農林経済学科卒業。1962年同大大学院博士課程単位修得。1963年本学経済学部講師。助教授、教授を経て1998年11月大阪経済大学学長。この間、日本経済史研究所長、法人評議員など歴任。1975年京都大学農学博士。主著『明治前期京都府林政史資料』、『近畿型農業の史的展開』、『日本の食糧・日本の農業』、『産直新世紀』

二十一世紀を目前にして、社会はいま、すべての面で「峠の時代」ともいわれるように、大きな分岐点にあります。大学を取り巻く環境も同様で、それに対応した変革が求められています。そうした中で、大阪経済大学は二〇〇二年九月三十日に創設七十周年という記念すべき節目を迎えようとしています。

同窓生にとって心のふるさと、我が母校は、「二十一世紀の大学」として生き残っていくために、いま何を残し、継承し、何をどう変革していくのか、そのカジ取りの選択を求められています。

そこで昨年学長に就任以来、大学改革に並々ならぬ熱意で取り組んでおられる山田達夫先生と、今年六月・七月新たに就任された井阪健一理事長、陰下嘉典同窓会会長にお集まりいただき、直面する課題にどう取り組んでいこうとしておられるのかを聞いてみました。

七十周年に向けて動き出した新体制

司　会　大学改革に向けての本題に入ります前に、山田学長にまずお伺いしますが、この六月・七月、新たに就任された井阪理事長、陰下同窓会会長との新体制に何を感じ、何を期待しておられますか。

山　田　実業界とりわけ証券界で数々の業績を残し、経験を踏んでこられた井阪理事長に登場いただいたことで、理事会はもとより学内にいろんな刺激を与えていただき、大学全体の雰囲気がかなり変わってきたなあと感じています。

また、同窓会にしても、さきの懇親会の席上でも申し上げたのですが、いま同窓会は熱く、燃えているというものを感じます。別の言葉で言えば、同窓会挙げて大学を支援してやろうという機運に、また対話のムードが高まってきたということを、非常に強く感じております。

いずれにしましても、井阪理事長、陰下同窓会会長との新体制のもとで「いっしょにやりましょう」、「心をひとつにしてやろう」という姿勢、機運が高まってきたことを大変喜んでいます。

司　会　井阪理事長、この新体制に向けての抱負を…

井　阪　大阪経済大学の建学の精神は、黒正先生の掲げられた「自由と融和の人間形成」という時代の趨勢を見据えた「実学」の導入にあったと思います。これは本学の特色として永遠に継承していくべきものと思います。

ただ、世の中が激しく変動しているものですから、「実学」とは何ぞや、どういう学問を学生に提供することで社会に貢献できるのか、つまり、社会に有能な人材を送り出すために、何を教えて、大学としての存在価値を高めていくのかを見極めなければなりません。最近、近隣にもいろいろな大学が誕生しておりますが、そうした中で大阪経済大学は一味も、ふた味も違った大学であり、学生もそうあるのが当然と思います。また、OBとしてもそうリードしなければならないと思っています。

司　会　陰下会長、さきほど学長からOB会が燃えているとのご発言もありましたが、

陰　下　さきの同窓会懇談会の席で、ある方が「今日こうした会合を持てるのも、諸先輩がその地盤を築いてこられたこそであり、これをベースにこれからの同窓会を考えていくべきだ」とおっしゃっておられたが、これは大変重要なことだと思うんです。いま、山田学長からも「同窓会が燃えている」というお言葉をいただいたんですが、この会の力をいかに生かしていくかが重要な課題だと思っています。

私は周囲の人によく言うんですが、六万四千人の同窓生の中で五％の人でいい、学校のことを真剣に考えてくれれば、また母校に対する愛校心を持っていただければ、学校は一気に変わると。ともあれ同窓会が一番やらなければならないことは、自分の母校に共通の認識を持ってもらうような集いを、あちこちで設けなければ、同窓会は決して燃えてきません。

それから会長に就任させていただいたときにも申し上げたのですが、同窓会というのは「長幼の序を重んじつつ、心のうるおいを求める」という会であってほしいと思います。

まあ、私のやらなければならないことは、この二つだと思っています。

企業社会に開かれた大学、社会に直結する講座の開設で存在感を強める

理事長
井阪 健一
いさか　けんいち

1931年生まれ。53年大阪経済大学経済学部卒業。同年野村證券入社。83年副社長。同年野村證券投資信託委託社長。90年会長。91年証券投資信託協会長。93年東京証券取引所副理事長。
99年平和不動産株式会社取締役社長。同年大阪経済大学理事長。

卒業生が力を合わせて、母校の改革を支援する体制づくりを

同窓会会長
陰下 嘉典
かげした　よしのり

1928年大阪生まれ。50年大阪経済専門学校卒業。
53年大阪経済大学経済学部卒業。50年竹中株式会社入社。
62年松島商事株式会社入社、貿易部長、総務部長を経て専務取締役に就任。75年大阪経済大学評議員。
86年大阪経済大学同窓会事務局長。99年大阪経済大学同窓会会長、同年学校法人大阪経済大学理事。

教学組織・内容の充実

司　会　さて、本題に入りますが、学長、学校改革の第一に新学部・新学科の創設と学部教育の充実を挙げておられますが、

山　田　本学の伝統を生かしながら、小さいけれども、いい大学であるというようにするには、まず教育内容をどう改革していくかにあると思います。

これがまず大前提で、そういう中で組織をどうするかという位置付けで検討しており、ようやくその方向性が出てきたかというところです。

新学部・新学科の創設を

山　田　具体的には申し上げられませんが、三年後の２００２年開設を目指し、教養教育を担当している教養部を母体にして人間科学部（仮称）の設置を検討しております。

さらに、経済学部に地域経済政策の立案などができる人材を育成していく地域政策学科を設置したい。ただ経営学部に、法律に強いビジネスマン育成を目指したビジネス法学科の設置は先送りになります。

司　会　昨今の少子化の中で、新学部の創設という拡大路線をいまさらという声もありますが、

山　田　闇雲に拡大路線をとるというのではなく、臨時定員枠の半分を恒定化し、定員に組み入れる際の組織という考えで取り組んでいこうと思っています。

司　会　理事長はこの点をどう考えておられますか…

井　阪　この前の理事会に学長試案という形で、一学部の新設と一学科の設置が提案され、全員一致で承認されました。それから経営学部にビジネス法学科の設置も検討しておりましたが、財政的な面から残念ながら今回は決定にはいたりませんでした。

司　会　本学の近くに千二百九十坪の用地を取得しておられますが、ここに新学部を置くということになるのですか。

山　田　かならずしもその考えはありません。この用地を入れても校地面積と校舎面積の比率はまだ少ないぐらいですから。もちろん新学部の創設と絡めて検討していただいております。

司　会　つぎに第二学部の存廃が話題を呼んでいますが…

山　田　二部（夜間）は経済学部と経営学部にありますが、勤労学生の減少から五年前には両部あわせて実質倍率四・一倍だったのが、今年は一・三倍と大幅にダウンし、志願者も五年前の八分の一にまで激減しています。

ただ、大学の社会的使命というか、いろんな人に教育の機会を提供していかなければならないといったこともあって、すぐに全廃するというわけにはいきません。

それより、学部の内容を社会人教育、生涯教育といったものに重点を置いたものに改革し、夜間大学院の開設も含めて検討していきたいと思います。

司　会　キャンパスが都心にあるというメリットも生かすべきでしょう。

山　田　近い将来、大学のすぐ前に地下鉄の駅ができる予定です。そうなればますますアクセスはよくなるし、社会人教育のインフラは整ってくるといえましょう。

社会人教育と社会に開かれたユニークな特殊講義

司　会　ところで、各界のトップを招いたユニークな特殊講義が学生にも好評とか…

山　田　本学の特徴ともいうべき少人数ゼミと、この特殊講義と称される各界トップの方々の実業界のナマの声を聞くという授業は、学生にいい刺激にもなっており、またオープンカレッジとして広く市民にも開放し、好評をいただいております。

NEWS FILE

オープンカレッジ・1999

学外から特別講師をお迎えしての密度の濃い講義を、本年度もオープンカレッジとして、学生と一緒に学びたいという社会人の方に無料で開放いたします。

■経営学特殊講義（1）金融
ビッグバンで金融の世界はこう変わる

日本版金融ビッグバンの行方	樋口　克次【大阪経済大学経営学部助教授】
中央銀行と金融システム	本間　忠世【元日本銀行理事】
日本の資本市場の将来	金子　義昭【東京証券取引所専務理事】
デリバティブを学ぶ	跡峰　信【東京証券取引所広報室課長】
インターネットと証券取引	楫村　忠彦【今川証券代表取締役社長】
証券投資信託	上野　武【証券投資信託協会事務局長】
ファンドの世界	高橋　弘【近畿大学元商経学部教授】
ベンチャービジネスとベンチャーキャピタル	村瀬　光正【JAFCO代表取締役社長】
時価と連結と国際化	本田　良巳【大阪経済大学経営学部教授】
電子マネーの世界	斉藤　美彦【広島県立大学経営学部助教授】
年金制度と確定拠出型年金	中村　実【野村総合研究所研究理事】
証券の格付けとは何か	児玉万里子【三国事務所クレジット・レーティング事業部マネージャー】
外貨建商品投資・外貨建債券・投資信託のリスク	寺田　幸弘【日本投資信託制度研究所代表取締役社長】
金融サービス法	楠本くに代【東京都消費生活総合センター生活相談員】
リスクとは何か	広田　真人【東京証券取引所調査部主任調査役】

■経済学特殊講義
関西、その活力の源を探る

日本経済の現状と今後の課題	植草　一秀【㈱野村総合研究所上級エコノミスト】
関西経済の現状と今後の課題	安井　国雄【大阪市立大学商学部教授】
情報化社会における企業展開	本林　理郎【日本アイ・ビー・エム㈱副会長】
地域貢献を目指しての総合アミューズメント事業	横田　育子【横田晒綿工業㈱専務取締役】
アジア諸国と日本経済	佐藤　光夫【アジア開発銀行元総裁】
関西製造業の課題と展望―川崎重工業のケース	緒方謙二郎【川崎重工業㈱副社長】
情報技術のインパクトと日本の貢献	佐室　有志【㈱日立製作所副社長】
イオングループの経営理念とコーポレートシチズンシップ	岡田　卓也【ジャスコ㈱会長】
サイクルパーツのスペシャリスト	田中　健次【東和工業㈱社長】
関西の大衆芸能	加納　健男【放送作家】
ロブスターブランドで作業工具の歴史を刻む	地引　啓【㈱ロブテックス社長】
東大阪の中小企業集積とその活力	湖中　齊【東大阪市商工会議所専務理事】
テレビから見た関西の経済と文化	水野　晶子【毎日放送アナウンサー】
セカンドステージを迎えた関西文化学術研究都市	杉原　五郎【アルパック地域計画建築研究所大阪事務所長】
こうすれば治る大阪府の財政疾患―その診断と処方箋	梅原　英治【大阪経済大学経済学部教授】

ています。

さらに井阪理事長からお話しがあろうかと思いますが、経営情報学部で昨年から実施しているインターンシップ制度を将来二百社に拡大し、全学部の学生の企業実習授業に本腰をいれることになっています。

司　会　井阪理事長はとりわけこのインターンシップに強い関心をお持ちのようですね。

企業社会に開かれた大学へ

井　阪　理事長就任の挨拶の中で、すでにおしゃべりしてまいりましたが、大阪経済大学を社会に開かれた大学、特に企業社会に開かれた大学にしたい。その手段として多様な特殊講義とインターンシップ制度に、本学の特徴である小人数制のゼミナールを結合して、質の高い学内就職ガイダンスを定着させる。とくにこのインターンシップによって、学生に企業は何を求めているのか、それに応じるためにどういう学問が必要なのか、身をもって体験して頂きたいと思います。また、特殊講義をオープンカレッジ方式で開催し社会人の参加も可能にしています。社会人は受講態度も非常に真面目ですね。それに啓発されて本学の学生の受講態度がよくなったと聞いております。

社会の秩序というものを、こうしたことから学び得たということは大変結構なことかと思います。

これはゼミナールの先生が推薦の間に二百社にしたいと思います。大企業ばかり狙うんじゃなく、最近、株式市場に上場したばかりの企業とか、これから発展しそうな企業に二、三人ずつ派遣したいと思います。

そうしたことから大阪経済大学の学生は真面目だという認識が得られれば、就職に際しても、結果としていいものが得られるということになる。

それからインターンシップは今年は四十四社でしたが、ここ一年の間に二百社にしたいと思います。大企業ばかり狙うんじゃなく、最近、株式市場に上場したばかりの企業とか、これから発展しそうな企業に二、三人ずつ派遣したいと思います。

これはゼミナールの先生が推薦してはじめて実施される仕組みですから、ゼミの先生もその企業のトップと面識がなくてはなりません。つまり企業社会と先生と学生がつながっていく。こうしたことで実学というものに肉付けをしたいと思います。

入学志願者の量的確保と質的充実

井　阪　二つ目は大阪経済大学は成長企業に就職が強いという特徴を入学志願者に生かしたい。いま本学の学生は、非常に真面目だが、特徴がない、元気がない、チャレンジ精神がないといわれている。これは改めなければいけないと痛感しています。

それから、いま入学に際して偏差値が問題になっているのですが、偏差値がその人の人生を決めるわけではありません。そんなものは、かなぐり捨てて、自分の個性を伸ばすことに注力してほしいと思います。それだけに大阪経済大学に入学したら四年間で自信を持って世に出るときの能力や知識を身に付けられる。こうした感動を与えられる大学にしたいと思います。

入試制度の改善、公募推薦入学制の実施

井　阪　それから公募推薦制度を実施するなど、より幅の広い入試制度を作り上げる必要があります。ただ、制度をいじるだけではダメ

NEWS FILE

時代の変化ととらえる新しい改革

■インターンシップ

インターンシップとは在学中に、職業経験を体験する制度です。企業に入って実際の職業経験を体験することによって、就職に対しての心構えや就きたい職種のビジョンがより明確になります。

本校では、大阪を中心に、角川書店（関西支社）、ヤマトインターナショナル、オービック、愛眼、イオンクレジットサービス等々、東証1部・2部上場会社を含め現在44社の受け入れ会社を設けています。業種については、金融関係、証券業、出版、ソフト開発、アパレル、アミューズメント施設運営等々と多彩な内容の業種があります。

●その他の就職支援プログラム

就職に強い経大を守るために早期からの就職活動を重視して、内定までの1年間、研究会やセミナー、模擬試験などの数々の支援プログラムを用意して学生のバックアップに努めています。

■公募推薦

本年も様々な入試改革が行われていますが、その口火を切る公募推薦入学については、2052名の応募（120名の定員）があり、11/23（火）勤労感謝の日は、さながら、一般入試の風情でした。

●推薦入学制度について

本学には、経済・経営・経営情報学部で現役生のみを対象とした商業科対象・特技（スポーツ）・普通科対象の3種類の推薦入学制度があります。

商業科対象の推薦制度は商業高校か高等学校の商業科に在籍し、一定の学力を持ち、かつ簿記検定や情報処理検定の資格を有することが条件になります。

特技（スポーツ）推薦制度は全日制高等学校を対象に高等学校での課外活動（スポーツ）における競技成績の実績を評価しようとする制度です。

普通科対象推薦制度は指定高制になっており、本学が推薦を依頼した高等学校に在校している生徒を対象にしています。

で教授、職員が自ら出身校へ出向いて入学希望者を募るという努力をする、こうしたことを積極的にやれば、あの大学は真剣だということになると思います。

ある東京の大学では、夏休みに教授は一人十校を担当して歩いたといいます。こういうことは当然やるべきで、理事長たる私もそれをやろうと思っています。

それからOBの方々も、ぜひ協力をお願いしたい。六万四千余の卒業生が動けば大変なパワーになる。同窓会も公募推薦というワクの中で入学を実現できるとなれば、

少子化という波の中にあってもなり有利な立場で動き得るのではないかと考えております。

陰　下　いま公募推薦入試制度の話がでましたが、システムとしてぜひ考えていただきたい。それは本学の卒業生の子弟を入学しやすくすることです。なにもできの悪い子供を入れろというのではありません。東京の大学でもやっているが、親子が代々同じ大学だというだけで、情操教育になっているんです。

『起業論』講座の創設

井　阪　私の三つ目の主張は、社会に直結する講座を開設し、存在感を出していくということです。そのひとつが「起業論」の創設です。本学の経済学部、経営学部の先生も大変関心を持っていただいておりますが、まだ学問的には体系ができていません。ベンチャーなのか、どんな企業を起こすのか、どういう法律を勉強しなければならないのか、マーケティングはどうする。こうしたビジネスプランをどうして組むのか。これからの世の中がどう変わっていくのかといった未来学も必要だと思います。さらに資金調達はどうやればいいのか、ベンチャーキャピタルをど

うして探すのか、といった具合に、学問領域は広範囲に広がります。ただ、この分野は大阪経済大学が得意とする「中小企業論」のすぐ隣の分野です。それだけに、他校に遅れをとることなく、本学の特徴のひとつとして位置づけできればと考えております。

責任体制の確立を

司　会　学長、理事長からいろいろな取り組みをご披露いただきましたが、学校の仕組みがよくわからないのでお聞きします。それらの施策をどの部門が責任を持ってやるのですか。たとえばインターンシップなどは…

山　田　いま、経営情報学部の中で試運転をはじめたという段階ですが、個々のゼミの先生方が企業との間で話をまとめ、学内的には学生の単位にかかわることですから教務部が担当します。ただ、受け入れ企業を選択し、学生の単位の認定など大変な作業が伴います。いまのところ、責任者を決めてやっておりますが、来年からある程度人材を張り付けて取り組まないといけないと思っています。

さらに、公開講座の充実などを考えると、エクステンションセンター的なものを作り、大幅な機構の見直しをしなければならないかと考えております。

司　会　こうした制度をやり抜くには、しっかりとした組織と責任体制を明確にしなければダメだと思うんです。そして戦略と戦術をどう展開していくかをはっきりとすべきだと思いますね。

井　阪　おっしゃる通り、このインターンシップは企業にとっても大変なんです。真面目にやられる企業では一人の受け入れで二十五万円かかるといわれている。新入社員の教育に約一カ月ほどかけてやりますが、これをサマーライズしてやるわけですから、企業の担当者も大変なんです。その方と学校側担当者はたえず連携をとってやらなければなりません。それだけに事務組織の大改革をやらなければと思っています。とりあえず教務部、就職部から一人ずつ出してもらってプロジェクトチームを作って対応しようと思っています。それに野村総研から経験者をいれていきます。

司　会　こうした取り組みに同窓会としても当然応援していかねばなりませんね。

陰　下　この前に学長といっしょに出席したある支部総会で、営業部隊を作って高等学校をまわってくださいと言う話が現実にありました。その場で即答できる問題ではありませんでしたが、それと同様にこのインターンシップの応援も充分に見極めないと軽軽にはいえません。しかしその応援体制について真剣に検討していかなければならないと考えています。

司　会　ともあれ大学としての特徴はインターンシップをはじめ就職にやる気のある大学だということを打ち出したいですね。そのための改革は即座にやるべきです。もはや学校法人は別なんだではすまされないと思う。

井　阪　企業社会からみると歯がゆいものを感じられるかも知れませんが、やはり改革していかなければなりません。教授会で議論し、理事会でオーソライズしてという手段でしか決められないというのでは遅すぎます。意思の伝達とチェック体制ができている大学もあります。意思決定をスピードアップしたいと考えています。

志を立てて感動を覚えろ

司　会　最後に現在の経大生に何を望みますか。

山　田　学長就任のときにも言ったかもしれませんが、四C能力をつけてほしいということです。つまりコミュニケーションは、自分の意思をはっきりと伝え、相手の意見も聞き、ディベート能力、語学力を含んだ能力を養い、コンピューターを使いこなす能力を、そしてコーディネーションは自分で問題を分析、解決していく能力を、最後にクリエーションは自分の個性、潜在能力を生かし、正しく社会に生きていく能力を付けてもらいたい。これを身につけるために二年生からゼミナールを実施しておりますが、そうした中で大いに訓練をしてもらいたいと思っています。

井　阪　大学に入ったら感動を覚える。そして志を立て、チャレンジすることです。

陰　下　第一点は、常に目的意識と問題意識を持ってほしいと思います。人間は目的がなければ意欲がなくなるし覇気もなくなるのではないですか。そして目的達成のためには何をする必要があるかということでおのずから問題意識も生まれてくるのではないかと思います。

第二点は、いい意味での闘争心を持ってほしいと思います。総てがそうであるとは思わないですが、最近の若い人は自分を知りすぎているように思えるので、卒業生の会社幹部の諸氏から、全体的にどこの学生も皆同じで魅力がないという話をよく聞きますが、時には自分の枠をはみ出た思考・行動をすることによって進歩も得られるのではないかと思います。

第三点は、これだけ女子学生の数が増えているのに女子学生の話が出なかったが、これは社会全体の問題でもあると思います。特に本学の学生諸君には男女同権と同質は違うということを理解してほしいと思います。

司　会　長時間どうもありがとうございました。

司　会
森川 義一
もりかわ　よしかず

広報部（25回卒）
1936年生まれ。50年大阪経済大学卒。
同年日刊工業新聞編集局入社。
89年取締役事業局長。96年株式会社芸工総研取締役社長。99年キメツク株式会社顧問。

NEWS FILE

情報教育の未来を探る研究・教育

■「遠隔授業実験」

社団法人私立大学情報教育協会の主催で、平成11年3月18日に本学と関西大学とのISDNを利用した遠隔事業の実験が本学E館1教室と関西大学高槻キャンパス大学院棟ＴＤ106教室で行われた。

当日は私立大学情報教育協会事務局長をはじめ私立大学情報教育協会加盟大学関係者や、本学の教職員等67名が出席し、本学の家本修経営情報学部教授の「教育効果向上のための映像メディア」についてと関西大学の水越敏行総合情報学部教授の「映像を用いたコミュニケーション」についての交換授業を1時間30分にわたり行われた。

■公開講座

現役サラリーマンを主対象とし、中之島のビジネス街にある大阪府立文化情報センターで開催している「経済・文化セミナー」は16年目を迎えます。99年度は「激動する経済、対応できるか企業と会計?」今回のメーン・テーマは 会計、そしてもちろん経済について。

ディスクロージャー・連結会計・時価評価・キャッシュフロー会計などについて、専門家の講義に多くの市民、ビジネスマンが耳をかたむけました。

89年度から大阪市教育委員会との共催で始まったのが「市民教養講座」。本学の幅広い領域の研究者が、5・6月に本学で地域住民の方々を対象に多彩でユニークな講義を展開しています。99年度は「歴史から見た日中文化交流」について古代から近年にかけての両者の文化交流について、三つの局面にスポットを当てた講義でした。

これら以外にも、中・高等学校の先生を主対象に、「社会人のための夏期コンピュータ講座」も開講しています。講義と本学の誇る最新のコンピュータ施設を利用しての実習は大好評です。

1999 No.35

巻頭特集
トップシンポジウム……1
「人的・物的資源を生かして創る 社会的に開かれた、魅力ある大学」

本部だより
同窓会総会／理事会／全国支部長会／懇親会……11

支部だより
全国支部からのメッセージ……16
訃報　松川 圭二氏／横田 憲介氏……27
平成11年度支部総会開催一覧……28
同窓会支部長一覧……29

OBネットワーク……30

ホットインタビュー……39
藤縄 健一氏／奥本 敏雄氏

ブックレビュー……40
非市場活動の国民経済計算／丹波篠山とっておきの話Ⅱ
絵筆によせて 悦子の世界／青空の錬金術

北から南から……42

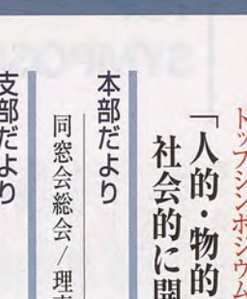
ゼミ短信……52
ゼミ短信……57
ゼミOB会……58
先生の近況……59
訃報　黒正 光様／倉辻 平治先生／久野 収先生

キャンパスライフ「大経大生今昔」……62

学園だより
学園ニュース　入試／就職……68
クラブ戦績……73

事務局だより……76

表紙作品紹介



前田 悦子

大樟の下で

99年8月15日作成

思いがけず〝表紙絵を書いてみませんか〟と大門編集委員長からのお誘いに驚く。長年、『澱江』の編集にかかわりながら、よもや素人の私に出番が回ってくるとは…。まさに晴天の霹靂。

七夕の日、四期会同（12―15期）グループのリーダー株、面倒見のよい松川圭二氏の逝去がついに知らされる。闘病中とは聞いていたものの…、松川氏と言えば逍遙歌、タクトを振って歌唱指導する在りし日の面影がなつかしく想い出される。「…歴史は我らに救うなり」。

正門前の樟は、大空に思い切り翼のように枝を伸ばして、みごとな大樹に成長してきている。木陰に憩う学生たちの姿に、私たちの青春像がタブッてくる。

大学昇格時、学徒師弟が諸汗して植樹ボランタリーするなど、教師と学生が一体となって学園を支えてきたことは、学歌にもうたわれ、私たちの誇りでもある。

70年になんなんとする歳月を、静かに見続けて来た大樟、さらに来世紀に向けて、大経大の将来を見守っていてほしい。OB・OGたちの熱い思いがこめられている証と、あらためて大樟を仰ぎ見る。

学園とともに生長するシンボリックな大樟が『澱江』の顔になればと、晴れがましくも絵筆に思いのたけを託すことにした。

前田悦子（13）

「屋久島」　1998年5月作成

「澱江」の由来

題字：渡辺達好名誉会長

初代校長黒正巌博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞♪商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ我らが昭和学園…♪から引用された言葉です。ちなみに岩波漢和辞典によれば【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。「淀」は「澱（でん）」に通ずる、と記載されています。

本部だより

同窓会本部よりのお知らせ

平成11年度同窓会総会

■日時　平成11年11月3日（文化の日）午前11時開会

■場所　50周年記念館

素晴らしい秋日和のもと、定刻前には吹奏楽部の演奏に誘われるようにご来賓並びに会員が続々来場された。

■総会セレモニー

梶村常任理事（37）の司会で開会。先ず、この1年間に他界された恩師、会員、関係者のご冥福を祈って黙祷。次いで津秋総会特別委員長（29）より「学校も同窓会も新体制となりました。来る創立70周年を意義あるものとし、明るい21世紀を迎えることが出来ますように皆様方の絶大なご協力をお願い致します」という挨拶があった。

全員がグリークラブ員と学歌を斉唱した。

■会長挨拶要旨

平成11年度同窓会理事会において会長に就任させていただきました陰下です。我々の同窓会は全国に40の支部組織のほか職域会、職業会計人会等が結成され、会員各位が全国各地・各界で活躍されています。このような活発な同窓会活動ができますのも、学校当局関係各位の絶大なご支援あってのことです。

ここで皆様にお願いしたいことは、70周年記念事業への絶大なるご支援と、私学の経営の厳しさが言われる中で「個性があり入学後も安心できる大学」という評価に誇りを持っていただきたいということ、そして同窓会を心の潤いを求めて集える会合にしていただきたいということです。今後とも母校と同窓会に共通の認識と理解をお持ちいただき、ご支援・ご協力を賜わりますようお願いいたします。

■来賓祝辞

■井阪理事長ご挨拶の要旨

19回の井阪でございます。7月に同窓会の皆様方のご支援と桑津前理事長のご支持によりまして、理事長に就任致しました。同窓会、教授会、教職員の皆様方のご協力をいただいて任務を遂行したいと考えております。

大学の運営につきましては、本学の建学の精神である「自由と融和」をベースに致しまして「人間的実学」という大阪経済大学のアイデンティティをより深く社会に浸透させることを理念において行いたい、その方策として3つのことを実行したい。

①実（企業）社会に開かれた大学

本学の特徴である少人数制のゼミナールをベースに特殊講座、インターンシップ制度を通して社会に役立つ人材を育成する。

②入学志願者の質・量のアップを目指す

教職員一丸となって努力をすることは勿論同窓生の皆様の出身母校への勧誘をお願いしたい。偏差値を重視するよりも個性豊かな学生を入学させたい。

③教学内容の充実と教育サービスの向上を図る

社会的要請に呼応する新しい、先端的なカリキュラムを作る。本学は伝統ある中小企業研究所があるので地元企業と提携した研究の成果が社会のニーズに応えることが出来るようにしたい。起業論の講座を設けたい。

私立大学では同窓会との連携が学校運営に無くてはならないものである。学校、理事会、同窓会が三位一体となって学校を運営したい。

■山田学長ご挨拶の要旨

昨年の総会の挨拶で「厳しい環境にある大学として何とか変えていかねばならない」のでご協力をお願いしました。一年間を振り返った今日、随分変わってきたなと

いう感じを受けます。同窓会の体制が一新し、そして大英断によって同窓会選出の評議員も若返りそれまでの先輩方のご苦労もあってのことですが、何とか学校に協力しようとされる雰囲気が出て来たと思います。学校も4、5月にかけて部・館長が変わり職員の制度も一新しました。新理事長も誕生し、同窓会、理事会、学校の三者の間がしっかりしたものになりました。

学校の動きについて話させていただきます。

①入試制度の改革の一つとして、公募推薦制度を取り入れた。

②教養部を中心とした新学部をつくる。

③経済学部を分割して2つの学科をつくりたい。

いろいろ困難な事もあるでしょうが皆様方の熱意に打たれ、そしてご協力をいただいて改革に取り組んでいくつもりでございます。

■来賓紹介

高塚常任理事（41）よりご臨席いただいたご来賓の紹介があった。

■感謝状贈呈

学校の発展・充実に多大な貢献をされた前理事長桑津昇様に感謝状と記念品が花束を添えて陰下会長から渡された。

■同右に対してのご挨拶の要旨

桑津理事長

11回の桑津でございます。ただ今はありがとうございました。在任中、建物を建てたとか校地を取得したとかという目に見えるものより埋もれたものに誇りをもっております。

①学費の値上げであります。学校の運営基盤を確立するためにあらゆる反対を押し切って実行しました。本日ご出席の岩谷前専務理事と二人でやったことです。（ここで立たれた岩谷専務理事に対し全員が大きな拍手で称えた）

②法人役員の年齢制限を設けたことです。井阪理事長と相談して即実行致しました。なかなか出来そうで出来ないものだけに同窓会、学校ともども誇れるものだと考えます。

以上結果良しと考えております。同窓会、学校のますますのご隆昌を祈念して喜びの言葉と致します。

■支部長紹介

本年9月に40番目の静岡支部が誕生した旨の報告と8人の新支部長が誕生したとの報告後、各支部長（代理を含む）並びに本部役員を水納事務局長（25）が紹介した。

■懇親パーティー

菊川総会特別委員（59）の司会で開会。恒例の井阪理事長、山田学長、陰下同窓会会長の鏡開きに続き、磯野相談役（3）の「乾杯」のご発声で懇親会が始まった。同期の輪、恩師を囲む輪、同クラブの輪等があちこちに出来て、和やかな楽しい雰囲気で終始した。

逍遙歌斉唱の前に作曲者の中村行男氏（16）が紹介され、大きな拍手が贈られた後グリークラブの指導で全員が歌った。

南部顧問（9）の「万歳三唱」でパーティーが名残り惜しまれつつお開きとなった。

※文中の（　）の数字は卒業回数

平成11年度理事会開催

■日時　平成11年6月26日（土）午後3時開会

■場所　新阪急ビル12階　レストランパレス

■萩原会長挨拶要旨

多数の理事と支部長の皆様にお集まりいただいて理事会を開催できることを喜んでおります。

学校もいよいよ大変な時期に来ており、同窓会がオーナーの気持ちでしっかり支える事が最も肝要な事でしょう。一致団結して頑張りましょう。

■議長選出

慣例に従い萩原会長（10）を議長に選任し議案審議に入った。

■第一号議案

平成10年度決算について

本案件に入る前に福元総務部長（37）から平成10年度事業報告があり、続いて大西財務部長（35）が収支の各項目について詳細に説明を行った。植村監事（32）から「平成11年6月17日に監査を行ったが、その処理は正確且つ適正であった」旨の監査報告が行われた。

議長が本案件について賛否を問うたところ、満場一致で原案どおり承認可決された。

■第二号議案

平成11年度予算（案）について

本案件については福元総務部長（37）から平成11年度事業計画案に続いて収支予算（案）の項目ごとの詳細な説明の後、議長がその賛否を問うたところ、原案どおり承認可決された。

■第三号議案

役員改選について

萩原会長（10）（次期役員選考委員会委員長）から本部役員（常任理事・理事・監事）全員が任期満了となることを説明し、その後、常任理事・支部長・監事で構成された次期役員選考委員会が別室に移り慎重協議の結果、新常任理事並びに監事が選任され、萩原委員長がその氏名を発表した。なお理事については全員留任となった。

選任された新常任理事は直ちに別室で協議の結果、陰下嘉典氏（16）を次期会長に選任した。

■新会長挨拶要旨

会長に選任され、その責任の重大さを痛感しているが人間一人の力は微々たるものであり、今後とも同窓会運営について常任理事・監事並びに理事各位のより一層の協力をお願いする旨の挨拶につづいて、次の事項について特に協力を要請した。

①現在の社会情勢に鑑み、同窓会の諸々の会合を「長幼の序を重んじつつ、心の潤いを求めて集える会」にするよう協力されたい。

②私学の経営環境が益々厳しさを増す中にあって、母校の発展・充実に寄与するためには、同窓会も学校当局との連携を強化し、従来とは異なった対応を要する事態も考えられるので、予算執行については単年度収入の範囲内においては、財務処理に際して費目間流用の処理を認められたい。

以上の提案に対して全員これを了承した。

続いて、萩原前会長に常任顧問、磯野元会長に相談役への就任を要請し両氏の了承を得た。

議案審議終了後、ご来賓の桑津理事長、山田学長から祝辞を兼ねた学内事情のお話を戴いた。

続いて山本入試部長、蝦名就職部長から入試改革、就職戦線の厳しさ等の説明をうけ理事会を終了した。

■懇親会

渡辺同窓会名誉会長の乾杯の音頭で始まった会食が和やかな雰囲気のうちに終了した。

平成11年度全国支部長会開催

■日時　平成11年6月26日（土）午後1時開会

■場所　新阪急ビル12階　レストランパレス

■出席者

萩原会長以下常人理事19名並びに東京、東海、岐阜、富山、福井、滋賀、京都、三重、和歌山、奈良、大阪市、大阪市役所、北摂、豊中、池田、泉南、尼崎、西宮、神戸、丹有、明石、姫路、岡山、備後、広島、山口、鳥取、島根、香川、愛媛、徳島、高知、北九州、熊本、南九州の35各支部長及び実務担当者。（順不同、代理を含む）

■開会

白井組織部長（26）の司会、中山支部長会幹事長を座長に開会。

■萩原会長（10）挨拶要旨

足元の悪いのにも拘わらず多数の出席をいただきありがとうございます。本年は同窓会の役員改選期で、会長も同時に改選されます。

学校法人の評議員に18名（46名中）、その中から理事に5名（理事長を含む）の同窓生が選任されております。ここ両3年が学校改革の機会であり、皆様方のご協力をお願い致します。

■中山支部長会幹事長（15）挨拶

皆様方におかれましてはご多用中にも拘わりませず、今月は2回集まっていただきまして誠に恐縮でございます。昨年の6月からいろんな問題がありましたが、母校を愛してやまない多数の方々が全国から集まっていただきました。ご協力有り難うございます。貴重なご意見を頂戴致したい。

■各支部長発言要旨

山本豊中支部長

理事でありながら支部総会に出席しない方がいるが、役員としてふさわしくないのではないか。これが支部長会と理事会が遊離する原因である。

学校に対する要望事項を文書で提出してはどうか。

佐々木広島支部長

創立70周年も近い、学校を良くするために同窓会がオーナーになろう。

高橋富山支部長代理

学部増を考えるべきである。大学運営は理事会主導が当然である。

田中徳島支部長

評議員会でどんどん意見を出そう。銀行、病院は絶対につぶれないという神話が崩れた。学校も例外ではない。

西山東京支部長代理

評議員の会合をぜひ持とう。「井阪支部長より皆様によろしく」との伝言があった。

前原北九州支部長代理

入試の際、支部長推薦を設けてほしい。

磯野相談役

本日99・9％のご出席をいただいた、ありがたいことです。大学は大変です、古い歴史が忘れられつつあります。大学は同窓会がオーナーです。

2億円の留保があります、何かのときに役立てましょう。

以上のような活発な発言が多かったが、紙面の都合で割愛させていただきました。

中山支部長会幹事長

後日議事録を送らせていただきます。

閉会後理事会の席にお移りいただいた。

山田学長をお招きしての同窓会選出の学校法人新・旧役員と同窓会支部長理事並びに新・旧常任理事・監事の懇親会

■日時　平成11年9月11日（土）午前11時半～午後4時

■場所　新阪急ビル　レストランパレス

■陰下会長挨拶要旨

今回の懇親会の目的は、「同窓生が大学に対して共通の認識を保持することと長幼の序を敬い、心の潤いを求め、親交を深めること」が眼目である。

■ご来賓挨拶

学長　山田達夫先生

①同窓会の強力なバックアップをいただき、大学経営を行いたい。

②学部・学科に対して遅れ気味であった制度改革を積極的に行う。

③特殊講義、公開講座、企業研修も着実に効果を収めている。

④各地で行われた入試説明会やオープンキャンパスも盛会であり、いい雰囲気が出ていると考える。

前理事長　桑津　昇様

学校法人の評議員・理事の若返りを図った。皆様のご健闘を期待する。

理事長　井阪健一様

理事会・教授会・同窓会の協力を得て理事長職を遂行したい。実行したい3項目をあげる。

①企業社会に開かれた大学を目指

平成10年度収支決算書　自　平成10年4月1日　至　平成11年3月31日　（単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	21,595,538	21,595,538	総会費	5,074,121	7,000,000
会費収入	62,851,000	60,000,000	役員会費	2,180,752	3,200,000
総会収入	889,000	800,000	支部費	6,097,596	8,500,000
利息収入	322,058	300,000	事務費	166,078	1,000,000
澱江収入	1,091,460	900,000	人件費	8,535,660	7,800,000
雑収入	35,650	0	旅費交通費	3,687,940	3,700,000
名簿発行積立金取り崩し	0	20,000,000	澱江発行費	15,134,956	18,000,000
			名簿発行費	44,457	20,000,000
			名簿調査費	3,482,813	6,000,000
			学対費	3,205,000	5,000,000
			諸会助成費	1,296,320	2,000,000
			慶弔費	921,850	1,200,000
			名簿発行積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	3,000,000
			特別基金へ繰出	10,000,000	10,000,000
			予備費	0	3,195,538
			次期繰越金	19,957,163	0
合計	86,784,706	103,595,538	合計	86,784,706	103,595,538

平成11年度収支予算表　自　平成11年4月1日　至　平成12年3月31日　（単位：円）

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	19,957,163		総会費	7,000,000	
会費収入	59,000,000		役員会費	3,200,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	8,500,000	運営費・支部総会援助
利息収入	300,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	1,000,000		人件費	7,800,000	事務局人件費
名簿収入	2,400,000		旅費交通費	4,500,000	
名簿発行積立金取り崩し	20,000,000		澱江発行費	17,000,000	
			名簿発行費	20,000,000	
			名簿調査費	4,000,000	
			学対費	6,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
			諸会助成費	1,500,000	諸会援助
			慶弔費	500,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	
			特別基金へ繰出	12,000,000	
			予備費	3,457,163	
合計	103,457,163		合計	103,457,163	

支部だより

社会的要請に呼応する先端的な講座を導入したい。例えば起業論とか本学の特徴である中小企業論の講座を設けたい。

■津秋副会長

理事長のお言葉の実践に理事長以下同窓会としても一致団結して行動したい。これからは皆様のご意見をお聞かせいただく時間と致しますので、活発なご意見ご提案をお願い致します。

■出席者の発言要約

・推薦入学に卒業生の兄弟姉妹、子弟等の推薦を考慮してほしい。

・入試広報（新聞広告等）について充分な検討が必要である。

・中小企業学部のような学部新設を希望。

・新学部の早期実現。

・追手門学院大学が社会的使命を訴え、卒業生以外の中小企業や会計事務所等にも免税寄付の依頼を積極的に行っている。

・70周年記念事業に目標を設定して取り組んでほしい。高校生を対象としたイベントも考えてはどうか。

・大学志願者の大学選びは口コミも無視できない。

・広報に関する検討と魅力ある教授の確保と魅力ある授業をしてほしい。

・同窓会の会議は出来る限り母校で開催すべきである。

等の意見が出され、学長並びに理事長よりお考えを聞かせていただいた。

■最後に福元副会長から誠に有意義な会合であったという感想と閉会の挨拶でお開きとなった。

NEWS FILE

大阪経済大学日本経済史研究所
70周年（2003）記念　寺子屋

■資料が語る経済史

これまで古文書や古い史料にほとんど接したことのない方のため、実際の史料にあたって読み方を習いながら、経済史や経営史を学ぶ新たな寺子屋を開きました。

次年度以降、毎年1回開催します。幅広く商業や工業の史料をはじめ、現代経済のデータ、外国の史料などについても取り上げる予定です。

●大阪会場（大阪経済大学G館5階）

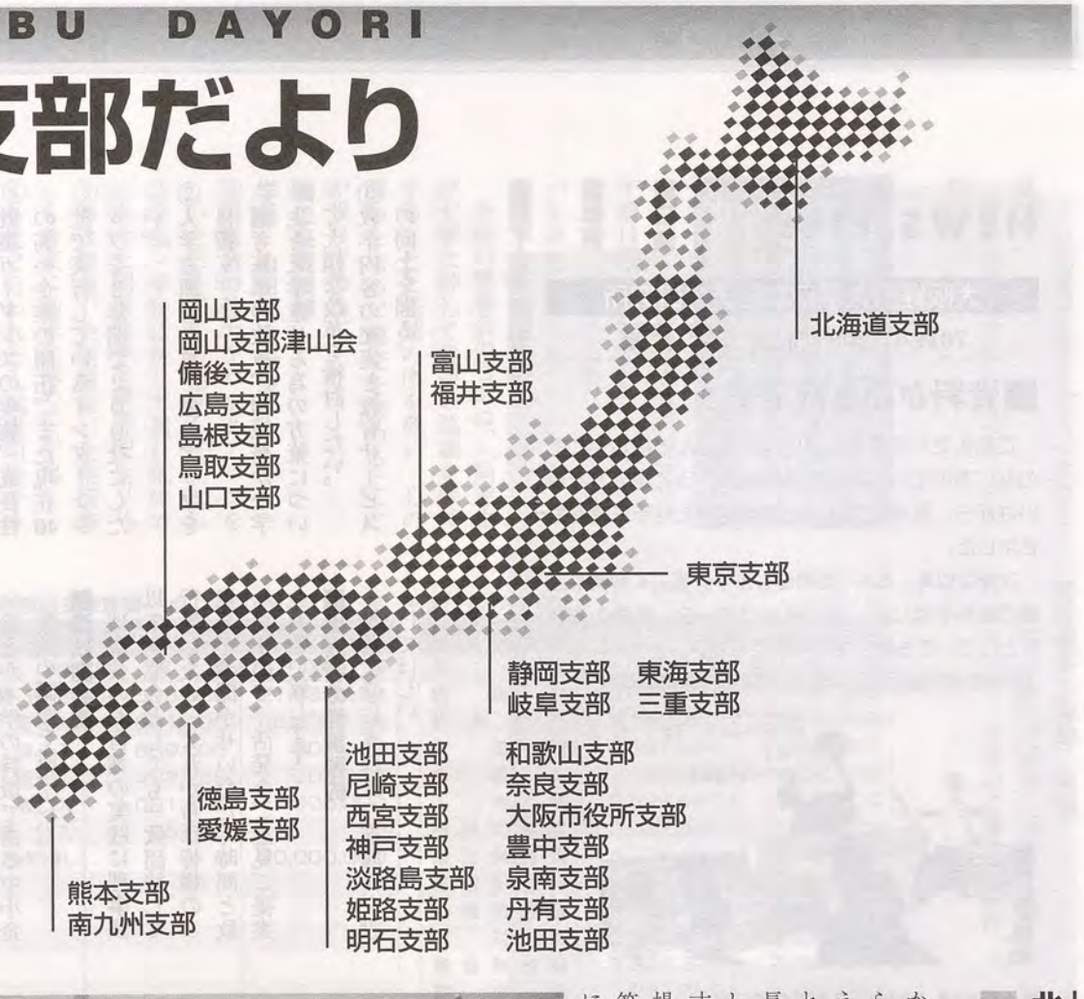
7月29日（木）	師匠：大阪経済大学日本経済史研究所所長 徳永光俊氏 「農書にみる江戸時代の農業」 大和国「山本家百姓一切有近道」 を素材にして
7月30日（金）	師匠：　同　上 徳永光俊氏 「日誌にみる江戸時代の農村」 河内国「午年日記帳」を素材にして
7月31日（土）	師匠：大阪経済大学　学長 山田達夫氏 講演「史料が語る農林業の歩み」

●和歌山会場（JAビル別館6階 第11会場）

11月14日（日） 和歌山支部 後援	師匠：大阪経済大学日本経済史研究所所長 徳永光俊氏 「農書に見る江戸時代の農業と農村」 紀伊国「作り方秘伝」を読む

SIBU DAYORI

支部だより



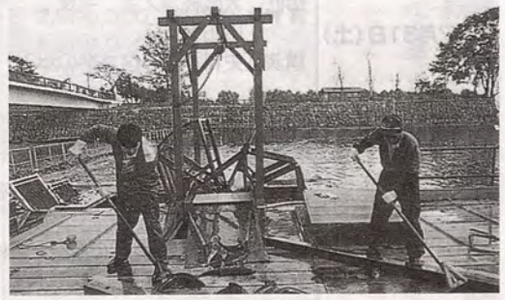
北から一筆

北海道支部

昨年10月23日当支部総会を学校から萩原会長、水納事務局長をお迎えして開催しましたが、萩原会長と私はクラスメートであり水納局長は新任でしたのでお2人を歓迎し激励するによい機会と思い、千才川のインデアン水車の鮭の捕獲場と鮭のふるさと館を案内し、支笏湖畔を通って札幌藻岩山展望台に登り市街を眺め札幌ラーメンで舌鼓をうちました。其の後観光面で見直されて来た小樽の街へ、小樽運河、石原裕次郎記念館等を訪ね古めかしい中にも會て北海道の商都としての面影を偲んで頂きました。この間学校、同窓会の様子を伺ったり懐かしい昔話しをしたり些か旅情の慰めになったかと思っております。同窓の皆様商用、観光で北海道へお越しの折はご遠慮なくご連絡下さい。

支部長　田中喜三郎（10）

和やかに総会を終えた



100年の歴史をきざむインディアン水車

温故知新

東京支部

平成11年度、東京支部総会は西新宿の野村ビル48階で約80名の同窓が心の絆を求めて参集した。

本年より井阪前支部長が大学の理事長に就任されたのを機会に国際証券㈱ＥＣＯ会長松谷嘉隆君（22回卒）を全員の拍手で選出し、〝新しい組織で活性化を図り同窓会として井阪理事長をサポートしなければならない〟と力強いご挨拶があり続いて大学より渡辺大介経営学部長の〝新理事長を迎え全学挙げて大学苦難の時を乗り越え同窓生のご協力を得て発展させてゆきたい〟とのお言葉を頂戴し、続いて同窓会本部の福元副会長が陰下会長のメッセージを読みあげ新しい態勢で頑張ってゆくのでよろしくと挨拶のあと乾杯に最も新しい卒業生の発声で懇親会にはいった。

井阪理事長やや遅れてご多忙の中出席され〝理事長としてまずやることは入口（受験生の確保）と出口（就職先の斡旋）に努力惜しまず、偏差値より実学的教育を通じて企業で役立つ学生を育てたい〟と明確なポリシーを示され同窓生の協力を要請された。又来賓としてご招待した前田悦子女史（13回卒）より古き良い時代のめったに聞けないお話の数々を拝聴し温故知新の尊さを知り盛会裡に散会した。

代表幹事　西山昭吾（16）

静岡支部が発足した

静岡県支部発足

静岡県支部

静岡県支部設立総会は、9月19日、静岡ターミナルホテルに同窓会本部陰下会長、水納事務局長、大学学生部門田部長の各氏御来席を得て開催され、各氏からの同窓会の現状と今後の方向、大学の今後の課題等のお話に続き、支部の会則と新役員とが決定承認されて正式に支部が発足した。

静岡県在住の同窓生は、東海、東京の両支部から加入を誘われた人も多く、地元の支部が無い寂しさを感じ、調査した結果１２０名余の在住者を確認、しかも県内全体に分布しているので、遠州、駿河、富士伊豆の3地域懇親会も同時発足させて身近なヒューマンネットワークを目指すこととなった。

連絡先不明者、転入者、新卒生など通知を頂きたいので御協力ください。

支部長　磯田郷一郎（26）

大先輩の熱弁にわく総会

東海支部

東海支部の平成10年度総会は11月27日名古屋国際ホテルで行いました。恒例の同窓生講演は毎回の参加者の中で大先輩である五回卒の鎌田弘氏に依頼、快く承諾されて元気に登壇「母校の思い出と人生の生きざま」と題して優秀な人材を擁した昭和高商時代の誇りと、今なお大弘土木会社社長としての活躍を披露。黒正イズムの面目を遺憾なく発揮されました。加えて戦争の残酷さと平和を願う意味から、同窓生でガダルカナル島からの奇蹟の生還者　村上静夫氏の悲惨な戦場の体験「弊れし戦友の遺族に送る記」昭和六十三年八月編集の小冊誌コピーが全員に配布されました。大先輩ならではの遺訓として一同感嘆。なお、総会には大学より松原和男教授、同窓会より水納事務局長、車野常任理事、南京都支部長、長崎岐阜支部長らにご出席頂きました。次回もご期待願うとともに支部の皆さんのご支援を宜しく御願い致します。

副支部長　明田安生（25）

恒例の同窓生講演も

「大樟会」発足のお知らせ

岐阜支部

平成11年度の支部総会を4月に岐阜キャスルホテルで開催しました。23期卒の矢井久義さんの「人生よもやま話」という題材での講演を混じえて和気あいあいの雰囲気で開催することができました。総会のあとの雑談で岐阜支部でゴルフ会をやろうという話がもちあがり、さっそく6月に第1回目のゴルフコンペを岐阜関カントリークラブでおこないました。発起会を兼ねての第1回目でしたので会員の皆様には充分なご連絡をとることができませんでしたが、今後この会を「大樟会（おおくすかい）」と称して、年に1回位を目標に開催していくことに致しました。岐阜支部会員の皆様のご理解とご協力のもとに楽しい雰囲気の親睦の会を作りあげていきたいと思っております。

事務局　野沢高秋（39）

第1回ゴルフコンペを実施

学園の将来に様々な意見

富山支部

富山支部は毎年7月に総会を開催しております。本年は高岡市において開催し、会員の交流と親睦を深めました。陰下会長と車野副会長の本部役員と大学から教養部教授の岡本先生の来賓のご出席のもと、学園の現状と将来についての報告を頂きました。

本年は、稲松氏（44回）の初出席もあり、皆さんは学生時代を振り返り大変盛り上がりました。学生大幅減少期のなかで、新学部設置の早急な推進や広報活動の強化等学生確保を初めとして母校のより一層の発展を願う声が多数でておりました。来年の支部総会は、7月第3日曜日に富山市で開催することを申し合わせました。

多数の会員のみなさんのご出席を、お願いする次第であります。

支部長　重松　尚（23）

学生時代を振り返り大いに盛り上った

「瀞江」に寄せて

福井支部

大阪経済大学同窓会誌に記載できることは、誠に幸なことである。それは、まず卒業の証明であり、次に心身ともに、健在で、活動的であらねばならない。我が福井県支部は全国的には弱小支部であるが、関係役員、大経大大淀会員の、気力ある精神力と母校愛を基盤とし、情熱の20周年記念を契機として、着々と功を奏し、会員が夫々の困苦を乗り越え、地域社会での活躍を、テレビ、新聞より確認の上、流石、大経大卒業生だと誇りに思っている。また今春は、武内稔副会長が、勲五等の叙勲に浴され会員一同心から祝福したところである。

これからも竹の如く根強く、母校発展に青春を忘れず、献身のご努力を念願いたしたい。

支部長　内田　甫（清風）（6）

年に一度の再会の楽しみ

三重支部

今年は彼岸が過ぎても猛暑が続きましたが、支部会員の皆様には、お変わりなく、連日仕事に精を出されていることと思います。さて年に1度の再会の楽しみである平成10年度の支部総会は恒例により、11月8日、母校より岡本教授、同窓会本部より萩原会長、陰下事務局長をお迎えし、会員15名の出席のもと松阪市の老舗「和田金」で開催されました。ご出席の来賓の方々に何となく、なつかしい上新

初参加の会員の自己紹介もあり

庄の句を感じ、若き昔日の学生時代に思を馳せました。

大学冬の時代は依然として続き、数年後にはそのピークを迎えることなど、母校の現状、更に将来像など種々お話しを頂き、我々OBとしても母校の発展に何らかの寄与が出来ればと思いを新たにした次第です。

例年の様に初参加の会員の自己紹介もあり、名物の松坂肉を賞味しながら、一年ぶりの再会を喜び合い互いに交情を深め合いました。

支部長　中尾大輔（5）

山田学長らを迎え盛会に終る

支部会にご参加を

和歌山支部

和歌山支部では同窓生が県庁関係に多く勤務している関係もあり、今回の10月に実施される知事選挙で現知事西口勇氏に支部としての推薦状を、役員10名で9月9日に知事宅でお渡ししました。支部総会は9月15日にJR和歌山駅前の農協会館で開催し、母校から山田達夫学長本人より陰下会長以下多数の出席をいただき又西口知事代理として中山出納長も来賓として加わって下さいまして盛会に終り、又来年を約束して散会しました。

今回の総会のために1100通の往復ハガキで案内状を出し、約350通の返事がありそのうち出席者約80名という数字でありました。年々少なくなる傾向であり50～60期卒の参加が少なく何かより参加者が多くなる方法がありましたら、お知らせ下さい。

支部長　宇藤博文（28）

奈良支部の近況

奈良支部

支部活動は、ここ2年間程は休眠状態であります。これも小生の力不足と怠慢からであり、深く反省し各支部員の皆様に本誌を借りてお詫びいたします。去る8月19日幹部会をもちまして、今年度は11月7日に支部総会を開催し総会後、正倉院展の見学、及びゴルフコンペ奈良大樟会を開催することを決めました。

本誌発行は年末頃との事、そのころには支部総会もゴルフコンペも既に盛会に終えているものと思われます。

今後は開催時期、内容も充分に検討し楽しい実のある奈良支部を目指してより多くの会員が参加出来るようにと思っております。

支部長　白井武夫（20）

皆で楽しい一時を

大阪市役所支部

同窓会の皆様、お元気ですか。唯一の職場支部である、大阪市役所支部の総会は、平成10年11月25日に桜宮職員会館で盛大にひらかれました。懇親会の中盤には、毎年恒例の自己紹介コーナーがあり、所属、現在の状況、心境などを語ってもらい、楽しい一時を過ごすことができました。

来年は、いよいよ、西暦2000年を迎えます。4月からは、介護保険制度が、本格的にスタートします。また、11月には角谷支部長の現役最後の総会を予定しております。

市役所支部の皆様、どうか、健康に留意していただき、介護保険

皆で楽しい一時を

の世話にならぬようにして、明年の総会に、出席していただきますよう、お願いします。

南　正治（43）

異業種交流活動紹介

豊中支部

前回の澱江で発表通り、異業種交流の場づくりの為活発な支部活動を多角的に展開したところ、多数の初参加者を含め多くの方にご参加戴き、尚且つ支部財政直結の貴重な通信協力費を振込み賜り支部活性化に一段と弾みがつきました事に深く感謝御礼申し上げます。

快晴日本晴れの下、見事に紅葉した箕面滝への道・桜花爛漫の奈良天平歴史ロマン散策・東宝塚CCでのゴルフ大会・陵下新会長にご参加戴いた麻雀大会・ファミリー参加のボーリング大会・鍛練された歌い手集合の伝統のカラオケ大会・株式論中心に情報交換した景気情報交換会・梶村丹有支部長講師の和泉式部史蹟巡り等社外人脈づくりに励みました。

支部長　山本雄三（28）

支部長就任の弁

泉南支部

融和の精神をより強固なものに

泉南支部の活動状況は「澱江」を通じて承知しておりましたが、私自身が支部長の重責をお受けするとは、思ってもおりませんでした。経過はともかく諸先輩の培ってこられた、融和の精神をより強固なものとなるよう微力ではありますが努力して参りたいと存じます。

現在、支部は泉南地区を中心とした卒業生によって、支えられております。今後は泉州全域に散在しておられるみなさんによって会が構成される方向を念願としております。

大学が教育現場と呼ばれる時代も久しくなり、社会人講座による一般の参加が普遍性を持ちつつある現今、多くの卒業生が集う場こそ、学校運営等へのご意見がいただける場となるのではないでしょうか。そうなることを切に願っております。

支部長　朝倉進平（25）

50周年記念総会講演会を地域と共催

丹有支部

残念ながら、入学志願者が激減する中、当支部方面からはむしろ増加を続け、喜んでいます。

今年は、創立50周年記念総会を、10月24日（日）に〝ユニトピアさやま〟で、70名の出席を得て、開催することができました。

当日、理事長井阪健一氏に「これからの日本経済」と題して、講演をしていただき（市商工会と共催）、大盛況でした。

「これからの日本経済」について講演される井阪理事長

波根総務課長、磯野元同窓会長、福元副会長、大門常任理事、筒井前豊中・中山西宮・小谷尼崎・角谷大阪市役所・南京都支部長らに来臨いただき、ありがとうございました。

懇親会は、商工会長ほか有志も参加下さって、すばらしい雰囲気となり、歓をつくし、逍遥歌の余情を抱きつつ再会を期しました。

恒例のゴルフコンペは、12年3月15日（水）に行う予定です。

支部長　梶村文弥（8）

副支部長　奥野昇二（19）・西羅隆之（25）・足立徳太郎（36）

支部長　梶村文弥（8）

年代を越えて語り合った

地域の同窓生との出会い

池田支部

平成11年度池田支部総会が11期生から54期生の同窓生21名の参加を得て10月24日池田市民文化会館で開催しました。今年のテーマは経済を学んだ者として常に意識しておきたい日本経済の現状について、メディアにも登場されている池田銀行投資顧問㈱運営部長平井博将氏を招き「経済の現状と動向」について諸統計資料に基づき解説を受けました。

懇親会では年代の隔たりを越えて語り合い、病める人には経大創立70周年、地下鉄で母校を訪れるまで是非頑張っての激励の声もあがり、21世紀には「自由と融和」「人間性育成」という建学の精神が立派に花咲くことと、参加同窓生の更なる健勝と生き抜くこととを固く誓い合いました。

支部長　渡辺泰敏（21）

若いOBの参加を！

尼崎支部

すっかり恒例となった経大尼崎支部の総会が今年も4月16日に尼崎のホテルニューアルカイックで賑やかに開催されました。

ただ物足りなさを感じるのは、近年若いOBの参加が少ないということです。同じ学び舎を巣立った者同士がこういうひとときを共有することは意義あることだと思うのですが…。ともあれ、昔話のみならず、お互いの事業のこと、趣味のこと、社会や経済にいたるまでどこまでも話題はつきませんでした。ただ同窓会全般に言えることですが、若い人達の不参加を嘆くより、若い人達の新しい発想が取り入れられた同窓会にすることも大事だとも思えます。

支部長　小谷芳男（24）

平成11年度総会

西宮支部

西宮支部では平成11年度の総会を7月24日に甲子園都ホテルで32名の参加者と大学、同窓会本部より3名の方々をお迎えし開催しました。本年は中山氏が学校側の評

今後は2年に1度程度の総会を予定

70名の出席を得た50周年記念総会

議委員として就任され、支部長と兼ねて引き続きお願いするという総会の議題で開催されたものであります。毎回のことではあるが参加者が同じ顔触れの目新しさに欠ける総会でありました。今後は2年に1度程度の総会を予定しておりますが、西宮、宝塚、芦屋の地域が西宮支部として包括され、会員数も1300名という大世帯で参加者が少ないということは何処に原因があるのか事務局としても頭を痛めているところであります。今後案内の返信欄に参加するための条件を聞き参考にしたい。

副支部長　金子　赫（24）

神戸支部だより

神戸支部

阪神・淡路沖大震災から4年半の歳月が経過しました。光陰矢の如し、ときの流れは早く神戸の街並みは復興し、若い観光客はまるで何事もなかったように観光スポットにあふれています。

外見上修復された街並みも巷のあちこちには未だに深い傷跡を残したままです。まして心身の疲労は語り尽くせぬものが多く、前神戸支部長の桐月氏もそのお一人ではなかったかと思われます。昭和62年秋に田淵氏から同窓会神戸支部長を引き継がれ、快活なお人柄で11年間支部会員を引っ張ってこられましたが、震災の関連等から社業にご無理が重なり昨年の夏ついに還らぬ人になってしまわれました。

桐月前支部長の後は24期の木村氏が引き継がれました。神戸支部は桐月氏を中心に異業種交流をはかり、地元産業の発展と母校への寄与を目的に結束を強めてきました。私たち神戸の同窓生一同はこの思いを継承して支部発展に結束を強めることが前支部長へのはなむけになると確信し、木村新支部長をもり立て活動を広めていく心づもりです。

事務局　鳥越武一（31）

『淡路花博』の開催が目前！

淡路島支部

第9回淡路島支部総会は、9月4日、本学卒業生が経営の洲本市・四州園にて大学より香積事務局長、同窓会本部より津秋副会長、水納事務局長のご臨席を仰ぎ、地元会員27名が参加のもと開催いたしました。

淡路は明年3月、神戸淡路鳴門自動車道の淡路IC周辺を中心に淡路島国際公園都市が完成。「人と自然のコミュニケーション」をテーマに『淡路花博』が行われます。

花と緑の夢を架けるこの国際博覧会の開催は、次なる1000年へと向かう来るべき新しい世紀を迎えるにあたって、淡路が「世界都市・関西の形成」にどう貢献できるかが大きく問われることとなるようです。

支部長　宝川雅嗣（23）

『淡路花博』の開幕も間近

姫路支部同窓会総会について

姫路支部

昨年姫路支部長に就任し、2回目の総会をホテル姫路プラザで10月23日（土）に開催しました。

出席者は、いつもほとんど同じ顔ぶれが多いので本年度は、役員に若い方と女性を加え、約700

女性会員や若手会員の参加で華やぐ

名の会員に案内をしたところ、42名の出席があり、同窓会始まって以来女性会員4名や50回～62回卒の若い会員の参加もあり、非常に華やかな活気あふれる総会と懇親会を開催することができました。

特に懇親会の自己紹介では、自己P・Rだけでなく、政治・経済・学校・新幹線の高架橋破損の問題まで飛び出し面白おかしく話題が出て、後のカラオケ時間が短くなり心配する程盛り上がりました。

支部会員の皆さん一度同窓会に参加され一晩楽しい雰囲気を味わってみて下さい。

支部長　三木庸義（26）

一昨年全国39番目の支部として劇的に誕生

明石支部

我が明石支部は、昨年記念すべき明石海峡大橋開通の年に、関支部長はじめ有志の尽力により、兵庫県は明石の地に劇的に誕生しました。全国39番目、県下7番目の支部として。

昨年は60余名の参加を頂き、本年も去る平成11年9月17日にホテルキャッスルプラザにおいて47名の参加で第2回同窓会を盛大に挙行しました。

第1回同窓会の風景

当日は大学より渡辺大介経営学部長、同窓会本部より水納事務局長以下2名のご来場を頂きました。

まず関支部長より、最近の大学の厳しい現状とサンデー毎日に掲載された新学部構想などの明るい話題の披露がありました。次に大学側からも同旨の説明と協力要請がありました。

その後、乾杯、食事、ビンゴゲーム、学歌斉唱、最後に万歳三唱という同窓会フルコース?を楽しみ散会となりました。

幹事長　市原孝志（40）

支部だより

岡山支部

世の中、マンネリ化が一番気になるが「ベストの意志決定」は難しく、多少でも「ベターの方向」にシフトすれば「多」とすべきだろう。国・社会は勿論の事、学校法人も然り。一昨年来母校並びに同窓会に於ても、改革改選が実施されましたが本部と同じく吾々支部組織も「全般の若返り」を図る中で「壮青老」を融和させながら、世話人（ボランティア）として、役割分担をすべきと志向する。「壮」が中心となり「青」が自発的行動で参加協力し、「老」の意見を容認参考とすれば理想は現実化する。「俺がやらねば誰がやる。今やらねば何時出来る。」然し、「言うは易々、現実は厳しい」内容の薄い、貧乏忙しい世の中です。

「壮青老」の融和をめざして

◎平成11年度支部総会は7月3日（土）まきび会館で開催した。

◎支部津山会は8月27日（金）桐生苑にて11回総会を開催した。

支部長　村上一夫（12）

津山会の総会報告

岡山県支部津山会

11年度の津山会は、8月27日（金）に開催し、大学より香積事務局長、同窓会本部より陰下新会長、萩原前会長、そして県支部より小野副支部長のご出席をいただき、盛会裡に開催しました。

特に、今回は初めての参加者が7名あり、幹事一同大変な感激でした。

初参加の7名をまじえて

幸いにも、同窓会誌「澱江」に津山会の記事を毎年掲載していただいており、これが大きなPRになっております。

懇親会では、初参加の7名はコンパニオンに囲まれ、初めてとは思えないほど和やかであり、来年からは出席は勿論のこと、知り合いの同窓生にきっと声をかけてくれるものと確信しています。

代表　竹本　巧（37）

目ざせ日本一！創立70周年に想う

広島支部

紙面の都合上一つだけ、提案いたします。それはまたかと思われる事ですが、野球、サッカー、ラグビー、バレーボール、マラソン以上5種目の中で日本一のチームをつくり上げる事です。そのためには勿論前提条件はほかにありますが、最も大切な事は人の問題、監督の問題です。本当に優秀な人材がOBの中にもいらっしゃいます。大学も同窓会も念願の新体制になりましたので具体的に推進していただく様お願い申し上げます。勿論人件費もかかる事と思いますが、大学側にもお願いし、同窓会も応援する共同体制で実現可能です。

支部の活性化に向けて

島根支部

活力ある支部づくりを誓いあった

敢て大学経営の死活問題だと強調する次第です。

（5つの部にしぼったことは同窓生諸君にとって許しがたき事もあるかと考えますがお許し下さい）

支部長　佐々木一義（9）

諸般の事情により休んでおりました支部総会を、平成10年11月15日、県の西部、江津市において、開催いたしました。

渡部弘一郎支部長（9）以下17名が出席、会員の交流と親睦を深めました。

総会の議題は、①母校の充実発展と卒業生としての役割　②当支部の活性化と総会の持ち方について、の2点に絞りました。

本部からは、陰下副会長のご参加を得、「大学の現状と将来について」の報告をいただきました。

今後総会は2年に1回とし、当面30名出席を目標に頑張ってゆこう。

そして会員の増加を通して「活力ある島根支部」づくりに努めることを誓いあいました。

事務局　宮原史郎（21）

母校への危機感

鳥取支部

先般、同窓会の全国支部長会と同窓会理事会に出席しました。

近年、いろいろな問題提起がされている様子は耳にしていましたが、予想以上の熱気に活気溢れる会となり大いに盛り上がりました。

近年、大経大の人気（偏差値）が著しく下がっているのは何故か、大学執行部が手をこまねいて何等の対策も実施しないのは何故か、教授・講師も大学職員もサラリーマン化していないか、役員が超高齢化して責任を果たしていないのではないか、等の意見が続出し、また逆に現状を擁護する反論も出るなど、すばらしいディベートが繰り広げられました。

今回、多くの同窓生が抱いている母校への危機感を大学執行部にしっかり受け止めてもらいたいと強く願う次第です。

支部長　西山林一（35）

山椒は小粒でも…

山口支部

昨年、江村先輩から突然小生へ支部長を指名され、今回が小生が支部長に就任しての初めての総会。後藤事務局長と相談し、地区幹事を決めての動員策が功を奏し、9月11日の総会には33人が出席。総会では母校紹介のVTRを鑑賞。母校の来賓から現況を聞いた後、現在テレビ新広島でニュースキャスターをしている笠間雅一氏（1981年卒）からFNNシドニー特派員としての経験談をVTRを交えながらの卓話で、会は盛り上がりました。山口支部は現在会員は230名ほどの弱小支部ですが、当日の参加者には地元有力企業のオーナー、大学教授、ニュースキャスター、市議会議長など、あれ！この方は先輩でしたか？などと和気合々、大規模支部に負けない人材が豊富なのであります。

支部長　小林真人（32）

大規模支部に負けない豊富な人材

徳島支部の発展を

徳島支部

田中良昌支部長（61歳）がFMラジオ放送局㈱エフエム徳島（資本金6億円）の代表取締役社長に就任（6月24日）。支部会員有志22人が集まり7月13日徳島市内の料亭で祝賀会を開いた。野々宮充造事務局長（37回）が司会。阿部好宣副支部長（30回）が「徳島新聞時代の経験を生かして頑張って下さい」との一本の電話でパニック状態。本来一部免除の規定は国家公務員（税務署職員）の為でよもや地方公務員が申請するとは予想もしなかった様で前例がないからの一点張り「経大魂」を発揮し解釈を巡ってやりとり数回本年3月正式に決定通知書を頂戴致しました。早速、永年応援して下さった小池備後支部長に報告に行きやっとのことで安堵した次第です。

田中支部長のエフエム徳島代表取締役社長就任を祝う

話題の同級生

税理士資格を取得して

安村富彦（37）

卒業以来、福山市役所税務職員として働きながら税理士を目指し、税理士学院に通って一部科目は合格しておりました。仕事柄税法については職歴で免除出来る事を知り、税理士審査会に申請書を提出し、やっと夢が実現すると喜んだのも束の間「取り下げて下さい」

さい」と激励。山口勝敏氏（32回）から記念品を贈った。樫本孝県議（35回）の乾杯で祝宴。楽しいひと時を過ごした。

田中支部長は「地域情報発信基地としての役目を果たしたい。どんな祝賀会より今日の祝賀会が嬉しい」と感激していた。

10月2日、サンピアゴルフ場で親善ゴルフコンペ。16日に山田文明助教授、津秋同窓会副会長らを迎え総会を開催。

青年部幹事　吉田稔光（55）

しまなみ海道開通

愛媛県支部

平成11年度（第16回）愛媛県支部総会は、しまなみ海道開通を記念して、1泊2日の予定で7月10日大三島町にて開催致しました。総会の会場・旅館の設定から、翌日の名所旧跡の案内まで、すべてを大三島商工会の会長をされています菅憲明さん（33期）にお願い致しました。お陰を持ちまして、本当に楽しい一日を過ごさせて頂き、誠に有り難うございました。大三島沖には〝ひょっこりひょうたん島〟のモデルになったひょうたん島があります。次回大三島を訪れる折りには、ドン・ガバチョに会いに、ひょうたん島へ渡ってみようと思っております。

尚、本年度は、役員改選の年に当っており、総会の席にて改選を行いました結果、小野支部長以下、18名の役員が再任されました。今後3年間、よろしくお願い致します。又、20周年をめどに、新たな名簿作成を考えておりますので、同窓生の皆様のご協力お願い申し上げます。

事務局長　宮崎　望（37）

天草にて総会を開く

熊本支部

第10回目の節目の年、10月9日歴史とロマンの島、天草西端の牛深にて17名の会員参集の下、支部総会が開催され、楽しい一夜を過ごしました。遠路参加頂いた支部会員の方々も美しい夕陽に一時の涼を感じて頂けるものと思います。世の中、リストラの嵐が吹き荒れ就業すら難しい時代となっております。大学も厳寒の時代、我らが母校大経大も存亡の危機をむかえ

ております。白亜の殿堂なるは夢も又、夢歴史は古きが故に尊からず。母校も真の意味での再構築が必要です。六万余の同窓生諸兄、今こそ全国より叱咤激励、注視し、声を挙げる時ではないでしょうか。主体的に同窓会活動に参加頂き、誇れる母校として発展を共に支えていきたいものです。

支部長　濱　忍（35）

日向灘を眼下にして親しく語り合う

南九州支部

自然界が花に彩どられた春4月3日（土）、南九州支部総会を日向灘がすぐ東に広がるサンホテルフェニックスで開催いたしました。

折しも、会場近くでは、グリーン博みやざき'99が始まったばかりで、日頃は静かな地方都市宮崎も幾分かにぎわいをみせていました。グリーン博見学ついでに多数の会員の出席が望めるものと考え計画しましたが、思いの外、出席者16名という例年並みの集いになってしまいました。

当日、熊本支部の濱忍さんもご出席され、ご挨拶の中で九州3支部合同の総会をご提案されるなど、今後の支部活動のあり方に1つの

支部活動のあり方へのご提案も

方向性を与えてくださいました。

なお、私達の不手際もあって支部総会が大学の入学式と重なり、大学当局からおいでいただけなかったことが残念でなりません。同総会本部から副会長の陰下嘉典学兄と財務副部長の中村敏啓学兄のご臨席をいただき、大学や同窓会の現状をつぶさにご報告いただくことができました。

18歳人口が減少の一途をたどる中母校大阪経済大学が小規模ながら都市型大学として着実な歩みを続けていることを知り、出席者一同ほっといたしました。

願わくは、今後のサバイバル戦で淘汰の憂き目を見ることなく、更に充実発展するよう祈る思いでいます。

来年度の支部総会は鹿児島市が会場です。支部会員の皆さん多数ご出席ください。

大盛豊一（23）

訃報

松川圭一君を悼む

去る7月7日午前4時30分、逍遙歌の作曲者である松川圭一君がこの世を去りました。訃報に接し、何とも言えない寂寥の念と共に惜しい人物をなくした無念さで一杯です。

思えば私共はあの忌わしい戦争の最中、昭和20年3月に旧制中学を卒業（彼は私の1年下で4卒）同年8月15日に終戦を迎えたのです。

松川君とは昭和21年4月に大阪経専に入学、戦争の傷跡の残る学舎で共に学び、食糧難の中で苦労し乍ら3年間を過したのです。在学中は彼は音楽部、私は軟庭部で又ゼミも違いましたので余り接触はなかったのですが、卒業後同期会や13～15期或は12～15期の合同同窓会の世話役を彼と共にやらせてもらったのがきっかけで、会の運営・打合せ等で親しくおつき合いが出来る様になりました。何時も中心となって会を進めた彼の責任感と行動力には頭がさがりました。彼が居ると何となく会がなごやかになり、あとの締めでは箸のタクトで逍遙歌を合唱したものです。

その彼が昨年11月3日の同窓会総会に病中にも拘らず終宴の前にやって来て、やはり箸のタクトでグリークラブを指揮し、逍遙歌を合唱、傷々しかった彼の姿が何時までも目に焼きついております。

本年3月13日は、私共15期の卒業50周年記念だったのですが、前々から彼は「50周年は派手にやろうよ」と口癖の様に言っていました。その打合会には入院中のため出席出来ず、私と大川、中山、本田の諸氏とで打合せを行い、母校のホールでやる事に決め、同窓会の水納事務局長のお世話で、松川君の言う派手さは欠けていたのですが、懐かしい諸氏の出席を得て終始和やかな会となりました。その時も病院をぬけ出してまで出席し、会の最後に箸のタクトを振ってくれたその精神力に感激致しました。

何時も会が終った後は必ず2次会で飲んだものですが、さすがその日は彼は2次会に行けず、経大前から大阪駅まで岡田幸也氏と一緒にタクシーで見送ったのです。それが彼との最後となりました。

思い出は尽きないのですが、今回は彼の責任感と精神力の強さをお伝えして、ご冥福をお祈りしたいと思います。彼の名は永遠に残ることでしょう。

合掌

黒田　稔（15）

訃報

横田憲介 前高知支部長を偲んで

高知支部の創設者であり、また我々の心の支えで人生の師でもありました横田先輩が療養の甲斐もなく3月8日にご逝去され、同月11日に故人の愛唱された賛美歌が静かに流れる中、しめやかにキリスト教による密葬が執り行われました。

先輩は高知県の経済界では知らない人は皆無だと断言しても決して過言ではないほど、各分野ですばらしい実績と名声を残された方であります。当日参列された多数の顔ぶれにそのことが偲ばれました。

本学を昭和16年3月に卒業後、同志社大学も卒業され、昭和20年に実社会へ出られてからの職歴はとても紙面に書き尽くすことは出来ません。その上、公・団体職歴もまた多数であり、財界からスポーツ界まで実に幅広い活躍をされました。昭和58年に藍綬褒章、平成2年には勲4等瑞宝章を受けておられます。

若輩の私たちに時には厳しく、時には優しく何かとご指導を賜りました。山あり谷ありの人生訓は「人間万事塞翁が馬」であり、お好きな言葉は「運は天にあり」と「禍福はあざなえる縄のごとし」で、良く聞かせていただいたものでした。もう、そのお話も聞けなくなり誠に残念ですが、お教えいただいたことを忘れずに頑張ろうと思います。

生前いただきましたご指導にお礼を申し上げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

高知支部長　野崎邦男（32）

平成11年中に開催された支部総会一覧

開催月日	支部名	開催場所
1月23日（土）	熊本支部	火の国ハイツ
4月 3日（土）	南九州支部	サンホテルフェニックス
4月10日（土）	岐阜支部	岐阜キャッスルホテル
4月16日（金）	尼崎支部	ホテルニューアルカイック
7月 3日（土）	岡山支部	まきび会館
7月 3日（土）	広島支部	広島弥生会館
7月10日（土）	愛媛支部	旅館さわき
7月18日（日）	富山支部	ホテルニューオータニ高岡
7月18日（日）	香川支部	リーガホテルゼスト高松
7月24日（土）	西宮支部	甲子園都ホテル
8月27日（金）	岡山支部津山会	桐生
9月 4日（土）	淡路島支部	四州園
9月11日（土）	山口支部	ホテルみやけ
9月15日（水）	和歌山支部	JR農協会館
9月17日（金）	明石支部	ホテルキャッスルプラザ
9月19日（日）	静岡支部	ホテルアソシア静岡ターミナル
10月 9日（土）	熊本支部	山松旅館
10月13日（水）	東京支部	野村クラブ
10月15日（金）	北海道支部	札幌第一ホテル
10月16日（土）	徳島支部	グランドパレス徳島
10月17日（日）	豊中支部	ホテルアイボリー
10月17日（日）	泉南支部	全日空ゲートタワーホテル大阪
10月23日（土）	姫路支部	ホテル姫路プラザ
10月24日（日）	池田支部	池田市民文化会館
10月24日（日）	丹有支部	ユニトピアささやま
10月30日（土）	福井支部	ユアーズホテル福井
11月 7日（日）	奈良支部	奈良ラインハウス
11月 7日（日）	三重支部	和田金
11月10日（水）	大阪市役所支部	桜ノ宮会館
11月12日（金）	神戸支部	神戸東急イン
11月19日（金）	高知支部	高知新阪急ホテル
11月26日（金）	愛知支部	名古屋国際ホテル
12月 8日（水）	京都支部	京都ホテル

各支部とも支部総会や懇親会と親睦を深めています。支部長、支部の役員の皆さん、支部の構成員の皆さん、本当にありがとうございます。益々のご発展を願っております。本年も澱江にご協力感謝しております。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

同窓会支部長一覧

支部名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	田中　喜三郎	10	[illegible]	[illegible]
東京	松谷　嘉隆	22	[illegible]	[illegible]
富山	重松　尚	23	[illegible]	[illegible]
石川	柚木　繁	21	[illegible]	[illegible]
福井	内田　甫	6	[illegible]	[illegible]
岐阜	長崎　和夫	29	[illegible]	[illegible]
静岡	磯田　郷一郎	26	[illegible]	[illegible]
愛知	阿部　淑子	13	[illegible]	[illegible]
三重	中尾　大輔	5	[illegible]	[illegible]
滋賀	正村　公一	27	[illegible]	[illegible]
京都	南　和男	35	[illegible]	[illegible]
大阪市	太田　一澄	17	[illegible]	[illegible]
大阪市役所	角谷　泰秀	29	[illegible]	[illegible]
北摂	石川　裕	28	[illegible]	[illegible]
豊中	林　博	12	[illegible]	[illegible]
池田	渡辺　泰敏	21	[illegible]	[illegible]
泉南	朝倉　進平	25	[illegible]	[illegible]
尼崎	小谷　芳男	24	[illegible]	[illegible]
西宮	中山　隆	15	[illegible]	[illegible]
神戸	木村　正人	24	[illegible]	[illegible]
丹有	梶村　文弥	8	[illegible]	[illegible]
明石	関　清永	22	[illegible]	[illegible]
東播磨	永井　宏	19	[illegible]	[illegible]
姫路	三木　庸義	26	[illegible]	[illegible]
淡路島	宝川　雅嗣	23	[illegible]	[illegible]
奈良	白井　武夫	20	[illegible]	[illegible]
和歌山	宇藤　博文	28	[illegible]	[illegible]
鳥取	西山　林一	35	[illegible]	[illegible]
島根	渡部　弘一郎	9	[illegible]	[illegible]
岡山	村上　一夫	12	[illegible]	[illegible]
備後	小池　勝章	32	[illegible]	[illegible]
広島	佐々木　一義	9	[illegible]	[illegible]
山口	小林　真人	32	[illegible]	[illegible]
徳島	田中　良昌	26	[illegible]	[illegible]
香川	岡野　敦	31	[illegible]	[illegible]
愛媛	小野　茂樹	26	[illegible]	[illegible]
高知	野崎　邦男	32	[illegible]	[illegible]
北九州	植田　達三	52	[illegible]	[illegible]
熊本	濱　忍	35	[illegible]	[illegible]
南九州	伊伏　彰	23	[illegible]	[illegible]

なつかしい声・声・声

OB NETWORK OBネットワーク

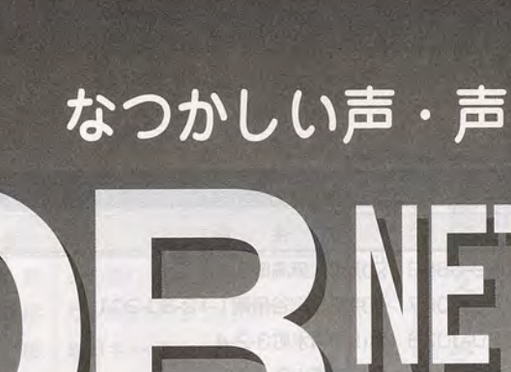
最後の昭寿会・江田島・教育参考館の見学

昭寿会（第4期生会）

昭和高商の昭和13年3月の卒業生数は94名でしたが、11年7月末現在、物故者59名・消息不明者17名・消息判明者18名になっています。昭寿会は昭和47年12月9日、有馬温泉、池之坊にて同期生会が結成され、其後一時中断していましたが、昭和57年より再開昭和63年10月19日の下津井、国民年金保養センターからは小生が世話人として、もっぱら、かんぽセンターをメインにして開会してきましたが、年々参加者が減ってきて、今回は5名でしたので5月22日の安芸能美かんぽセンターを最後に解散しました。5月23日は江田島、旧海軍兵学校、教育参考館を見学、海軍特攻隊員の遺書を読んでいた見学者の中、年輩の婦人はハンカチを出して感涙にむせんでいました。

小生も昭和17年1月12日に、船舶高射砲兵として大平洋戦争に従軍。基地宇品港より出港。2月28日バンダム湾附近の戦闘に参加。以後、シンガポール・ラングーン間、軍需物資の輸送に従事。其後昭和19年1月、大阪姫島高射砲陣地に転属。要地防空に従事。同年7月、現役満期除隊しました。苛烈な戦争を経て、戦後の苦難時代を過した者として、今眼前に見る自らを犠牲にして國のため散っていった若き海軍特攻隊員の遺品・遺書には深い感銘をおぼえました。現在84歳ですが地域社会のお役にたてればと地区の老人会長をしています。最後に大阪経大並びに同窓会の益々のご発展を祈ってペンをおきます。

三木　薫（4）



最後となった同期生会

秋晴れの京都に集う

昭六会（第6期生会）

回を重ねること13回、今年からの昭6会は会員が80歳を越えたこともあり、従来の一泊観光をより集い易い日帰りの会に改めて、10月25日京都のホテルセントノームで開催した。

今年は常連の一人で京都での世話人を買って出てくれた伴野君が亡くなった。彼は生前から会のことを心配し、最後に寄せられた責任感旺盛な手紙にいたく感動した。ここに皆と共に心から冥福を祈りたいと思う。又常連の出席者、戸

和やかに旧交を温めた

田、三好両君が病気欠席、一抹の寂しさを覚えたが榎本君が久し振りに参加し出席者は同窓会会長を含め15名となった。

会は記念撮影後、陰下同窓会会長から新任の挨拶、冬の時代が予想される大学の現状と会の運営について力強い抱負を聞き大いに意を強くした。次いで会員からは在学時代の懐旧話や後輩諸君への希望、健康問題から果ては人生論まで諸論風発和やかな一時を過し旧交を温めることができた。来年は大阪で集まることを約し名残を惜しみながら解散した。

尚、今回の会で特別お世話になった竹村、土手、井上諸君に対し厚く御礼申し上げます。会員の出席者は竹村、土手、坂本、黒川、大河内、長谷川、河内、松井、宮川、小野、大森（森）、榎本（中村）、町井、井上

大森侃二（6）

頑張れ母校

七生会（七期生会）

本年5月12日有馬温泉兵衛向陽閣にて七生会総会を開催致しました。出席者15名。来賓として陰下会長、水納事務局長ご両氏のご臨席を得て盛り上がりました。80歳の姿に感じ微力ながら協力しなければと肝に銘じました。七生会存続の要望があり有難く拝聴致しました。

高垣　収（7）

学生時代に思いを馳せた

今年も会えたという満足感で再会を約した

第25回八期生会

八期生会

案内出状100名…出席15、欠席85（理由…健康43、其他30、返無13）。

激しかった雨も止み懐しい顔が明石海峡大橋が一望に見える舞子ビラに集った。バレーボールの名手だった岸本貞次郎君、好打の外野手で鳴らした島田孝君の訃報が報告され謹んでご冥福を祈って会をスタート。陰下同窓会会長から学校の現況と将来の展望を伺いその厳しさに強い危機感を覚える。

会も出席者が殆んど決ってしまったが、何人になっても一年に一回は会いたいと思う。今後の運営については、関東昭八会、関東ボタン会や地方在住の方々の意見を集めて何とか維持出来るように取計らいたい。今年も会えた、という感動と満足感…再会を約して朝食後解散。

参加者…足立、浅野、橋本、林、河田、琴野、近藤、川村、大橋、岡田、柴田（秀）、田中（高）、田中（史）、橋爪、長尾

長尾　晃（8）

"二度と行くまい 丹後の宮津 縞の財布が空になる"

九友会（9期生会）

9期卒業の同期会、九友会は梅雨をさけて5月の末、列島横断、日本海側へ今年も、南部、松山

近況報告の後、楽しく談笑した

両氏のお骨折りにより、宮津ロイヤルホテルに5月28日集合。

喜寿をクリアーした年配だけに、なかなか集まり難い条件も増えてきてはいるものの、ご同伴4組、単身9名、計17名が集合。

各自、近況報告の後、談笑に時間を忘れ、支配人の高配による舟盛も出て、海の幸に舌鼓を打った。

来年は、さらに西へ向かい「大山」地区を計画して散会。

翌29日、この方面には珍しいほどスッキリ晴れた青空の下、エネルギー研究所での水族館見学のうえ、ビューランドに登り、日本三景の一つ『天橋立』を眼下に俯瞰、あと、三々五々、橋立、文殊公園を散策の後、13時前後、大阪行京都行と天橋立駅をあとにした。

来年は『大山』方面の企画が進められており、同期の皆さんの参加をお待ちしております。

横山宏一（9）

今年も盛会に
第11期生会

平成11年度の第11期生会は、7月3日お馴染みの梅田「ラ・クール」において、ご来賓の桑津理事長、萩原前同窓会会長ご臨席で開催しました。

当日は梅雨末期の悪天候故、出席者を心配しておりました。幸い初参加の松崎氏、久しぶりの田中(行)氏と松阪の加藤氏また遠路の森原氏と谷氏及び常連の諸氏を含め20名の参加があり盛会裡に終了しました。ご協力のお陰と感謝致しております。会合は在学時代や卒業後の思い出話、近況報告等全員の発言があって雰囲気は青春の若さと活気に満ち、時の経過が早く感じられました。次回は平成12年7月1日が開催日です。親交のある同期生をお誘いの上奮ってご出席下さるようお願い申し上げます。

（出席者…井上、伊東、岩谷、岸、加藤、坂井、坂上、重里、谷、武田、田中、伊達、林、北条、松崎、村田、森原、吉岡、筒井）

筒井英夫（11）

悪天候の中、盛会裡に終了

悲しみを乗り越えて
ひとみ会（第13期生会）

私達は昨年来、畏友能勢信子さんと、戦時下学徒動員で私達を守って下さり以来心の支えであった久野先生を失うという最大の痛恨事と、公認会計士界に大きな足跡を残された松浦圭子さんの勲五等宝冠章受章の慶びをもった。本年のひとみ会はこれらを胸に6月24日、35名の出席者を得てエクシブ琵琶湖で開催。谷田さんの発声でお二人の御冥福を祈り、ついで松

明るいスピーチに励まされる

浦女史のご挨拶と、その業績を讃える大城戸女史のご祝辞に一同心より祝福を送る。ついで出席者の近況報告で、第一線で活躍の方々、薬で病状を緩和させ、あるいは介護の間をぬって御出席の方々の明るいスピーチに互いに励まされる。今後もひとみ会は年1回の集いをきっかけに交流を深め支えあう場として、また、師の教えを問い続け、伝えてゆく場として働くことを強く願っている。尚、本会開催全般に亘る阿部椒子さんの御尽力に感謝します。

藤澤（高原）みほ子（13）

久野先生に学んだこと
―日曜クラブ開催―
東京ひとみ会（第13期生会）

私たちが伊豆で、久野先生の88歳と「久野収集」全5巻の出版を祝ったのは、つい昨秋のことでした。あの時あんなにお元気で、あんなに冴えた弁舌で皆を沸かせておられた先生でしたのに。突然の訃報は足元が崩れて行くような衝撃でした。でも先生は生前「元気なイメージを残したまま去りたい」と言っておられ、その言葉通りに逝かれたのでした。

5月15日、先生が古くからの会員で何回も講師もつとめられた「日曜クラブ」で、先生のことを偲び話し合う会を開きました。関西と東京のひとみ会の友、先生を慕う大ぜいの人たちで会場は溢れました。「久野先生に学んだこと」でまず佐高信さんが、次に藤澤みほ子さんが戦中の先生を語られ、若い人々も発言されました。先生の学識、見識、思想、信念、行動力、座談がいかに多くの市民の心をとらえ、稀有な大きい哲学者であったかを改めて知らされた会でした。あとでひとみ会一同は芳子夫人を囲む一献を傾け、また身近な先生像を語って追悼し、夫人をお慰めして別れました。（出席者…安藤、江川、北住、久野、桑江、西村、藤澤、前田、松岡、三好、山崎、山田、米田、小駒）

小駒（佐々木）葉子（13）

第14期生宇治に集う
第14期生会

5月28日、第14期生同窓会を宇治黄檗山萬福寺に於て、開催しました。出席者28名。

萬福寺は隠元禅師の開山になる中国式禅宗のお寺です。僧侶の説明をお聞きし、普茶料理をいただきました。随所に中国の雰囲気を持つ広い境内を散策のあと、宇治市内へと移動し、源氏物語ミュージアムでは、王朝文化の薫りを満喫し、又日本最古の神社であり、世界文化遺産である宇治上神社へ参拝のあと、平等院へと足を運びました。宇治川の流れは滔々と淀みなく、山々は青く、王朝人が別荘とした宇治は、世界に訪れる所と感嘆しました。

少しハードな一日でしたが、70歳は元気、和気藹々のうちに次回の再会を期待して散会しました。

山崎（竹村）喜美子（14）

広い境内を散策した

5015期生卒業 50周年記念同窓会
大阪経専15期生同窓会

50年前の卒業式と同じ日に集う

「やあー久しぶり」と言い乍ら集いし者28名。50年前の卒業式と同じ日（3月12日）母校同窓会ホールで開催。すっかり変貌した母校の構内見学では在学時代と比べようもなくただただ感心するばかり。

同窓会では物故者（判明せる者43名）に対する黙祷にはじまり、桑津大学理事長の挨拶、記念館前での写真撮影、乾杯につづく懇談での自己紹介、「君は誰」「彼は誰」など、何しろ50年ぶりに出席した同窓生もあり、懐しがることひとしきり。終始賑やかな同窓会となった。最後は逍遙歌を作曲者松川圭一君（この後7月7日急逝）の指揮で合唱、明年の再会を約して散会した。当日出席の各位は勿論欠席者も明年はぜひ!!

本田精一（15）

同期会短信 16・18回同期会

5月9日・10日の両日、本邦最古の歴史を持つ山峡有馬温泉「V（ヴィ）iV（ヴィ）i有馬」で開催した。関西在住を中心に、関東・中部・中国方面から20名が参集し、懇親会では、各自の健康、大学の現況と将来・運動部の活動状況などが話し合われた。閉宴後は、麻雀、カラオケに興ずるもの大半。10日朝には、来年の再会を約し、ゴルフ組（6名）が先発し、その後流れ解散となった。

閉宴後も麻雀、カラオケなどで楽しんだ

この同期会は、毎年5月連休後の最初の日曜、月曜を定例日として場所を変えて実施している（もう10年近く継続して行われている）。毎年150余通の案内状を出しているが、出欠の返信率は50％前後。折角時間と労力をかけて準備しているのだから近況ぐらいは。

酒井克己（16）

第21回同期生のみなさんへ「入学50周年同窓会を」 第21回同期会

来年（2000年）は昭和26年に私達が大学に入学してから50年になります。その年は第二学部が新設され、前年には別科（夜間一年制）がありましたが新制大学の基礎が着々と進められていた時期でした。半世紀を経た今日の母校の発展には誠に素晴らしいものがあります。

今年の12月11日（土）に第二学部の諸兄にとって初めての同期会が、大阪グランヴィアホテルで計画されており母校の特殊講義の講師を務める新堂友衛氏ほか30人ほどの参会が予定されている案内が届いております。

来年は入学50周年の第21期生会の声が出ていますので是非ご予定にお組み入れ下さい。

藤山忠久（21）

23期生の集い 第23期生会

今年も14回目の集いを、萩原同窓会長、水納事務局長をお迎えして開催しました。今回初参加者は河田、西山、野畑、橋本、村河、の5氏で加えて35名となり大盛況でした。萩原同窓会会長と水納事務局長の御挨拶を戴き、西本代表幹事の挨拶の後、例により全員の自己現況報告がありました。今年

遠路からの参加者も多かった

は鳥取や高知、岡山等遠路からの参加者が多く、久し振りの会談に時の過ぎるのも忘れる程でした。更に玉岡氏の特別な計らいでビンゴゲームがあり、多数の方が商品を手にされました。卒業して42年、全員が65歳以上になった現在年に一度はこうしてなごやかに半日を過ごしたいものです。来年の2月11日も是非参加して下さい。お待ちしております。

酒井弘光（23）

瀞江27期会総会 第27期生会

日時　平成11年10月15日金曜日
場所　大阪東急ホテル

花の27期会35名が10月15日の金曜日に大阪東急ホテルに於て盛大に総会を開催いたしました。卒業後38年経過し迎歴を迎えての総会でした。同窓会より常任相談役の磯野斉先生、学校より岡本昌夫先生のご出席を賜りました。滋賀県同窓会支部長正村公一様、豊中支部長山本雄三様も参加してくれました。

議題は大学の今後の発展は如何にということになり、近畿一円のOBの決起の為に支部の活動を一層活発にしようということで27期会諸君は支部活動の支援、又日本臓器役員の岸野英雄様は休会中の高槻支部を再起することを約束してくれました。又名取信也様菱陽商事㈱大阪支社取締役支社長が伊丹支部を作りたいと名乗りをあげてくれました。大阪支部では角本喜八郎様（㈱角庄取締役社長）が頑張ってくれます。

久し振りの再会にて話がはずみ時間の過ぎるのが大変早く感じました。

支部の発展同窓会の拡大が大学の発展につながると考えております。

来年は10月20日金曜日に午後6時東急ホテルにて開催する予定です。27期卒業の皆様の参加をお願いします。

車野修三（27）

平成11年度 OB総会だより 自動車部OB会

残暑もまだ厳しい8月28日（土）に今年度のOB総会を開きました。

長年6月に行なっていたので、皆さんの都合がつきにくかったのか例年より参加人数が少なく、15名での小じんまりとしたものになりました。

でも今年は現役生の試合模様やクラブが出演したTV番組のVTR鑑賞等、いつもと違ったこともとり入れました。

そして会議では、たまには親睦会を兼ねて大阪から訪れた人も来易い様な所へ出張OB会に行こうという事で意見がまとまり、早速実験的に来年はそうしようという事になりました。

皆さんお楽しみに!!

また例年より多くの方の会費お振込、ありがとうございました。

大平雅彦（46）

来年は出張OB会を企画

バスケットボール部創部50周年記念総会開催 バスケットボール部OB会

バスケットボール部先輩の皆様、卒業後各方面にての御活躍御同慶に堪えません。

扱い主題の件、昭和24年より半

伝統の継続を誓う

世紀に亘り体育会運動部として活躍して参りました部が平成12年に創部50周年となります。これを一つの通過点として未来永却この輝ける伝統を継続して行きたく思います。これには大勢の先輩の御協力なしでは達成出来ません。改めて「OB緑淀会」の運営の在り方を検討する良い機会と思います。現在の現役選手は一部リーグ第4位と頑張って居り、この「澱江」が発行される時期にはインカレに出場し関東勢に一泡吹かせたいと念じております。「OB緑淀会」より度々現役情報を郵送しておりますが所在不明先輩が多数おられます。この「澱江」の紙面をお借りして御連絡をお待ち致します。平成12年創部50周年記念総会には、同期生お誘いの上是非出席下さる事を楽しみにしております。(開催日は追って連絡致します)

何卒今後共よろしくバスケットボール部の御支援をお願い致します。

井上　寛(21)

吹奏楽総部OB会 吹樟会総会開催

吹樟会(吹奏楽総部OB会)

平成11年5月29日、中之島のリーガグランドホテルにおいて吹奏楽総部OB会(吹樟会)を開催しました。

近況報告と昔話に花が咲いた

当日は創部以来30年来にわたり御指導いただいております大阪市音楽団名誉指揮者の木村吉宏先生をお招きし、これまでのご指導に対する感謝と今後のご活躍を願い、記念品を贈呈いたしました。

昭和42年に自由な音楽活動を目指し独立以来32年が経ち、OB数も350人を超え現役部員も70名の大所帯となりました。

当日は月末の忙しい時期にも拘わらず、OB会長八代英太朗氏(33)をはじめ、45名の参加を得ました。参加できなかったOB各氏からも近況報告が寄せられました。

地元市民バンドで現役プレーヤーとして活躍されている方、教育現場でバンド指導にあたっておられる方等、吹奏楽の楽しさと裾野の拡大に頑張っておられるOBもおられ改めて感激しました。

お互いの近況報告と昔話に花が咲き、あっという間に閉会の時間となり、5年後の再開を約して解散しました。今回参加できなかった方も次のOB会にはぜひご参加ください。

山口憲一(37)・松島和味(38)

創立30周年記念 OB総会盛大に開催

法学(律)研究部OB会

'99年6月26日、バブル不況の嵐が吹き荒れる昨今、母校の近く「新大阪シティプラザ」にて記念総会が開催され、当日は全国から20名のOBが参集しました。物故OB会員への黙祷の後、故郷で「村おこし」運動を始めた笹山(40)による開会宣言、星加会長(27)による祝辞、濱(35)による乾杯の言葉で始まった懇親会のムードは最高潮に達し、旧交を深める酒杯とユニークな近況報告が続いた。記念撮影の後、恒例の「逍遥歌」を合唱、万才三唱、団塊の世代を代表して前田(38)が力強く閉会宣言。翌日は豪雨の中、12名で変貌著しい母校を訪問し、2年後は熊本での再会を約束して散会しました。今回も同窓会事務局様には大変お世話になりありがとうございました。

奥　正信(36)

恒例の「逍遥歌を」

安藝の宮島に集う。

奇多郎会(柔道部OB会)

去る平成10年10月24日(土)25日(日)の両日紅葉には少し早い宮島の旅館「岩總」に於て、第14回奇多郎会を開催致しました。

ライトアップされた朱塗りの大鳥居、回廊に吊るされた灯籠の明りが海面にゆれる幻想的な風景はさすがに日本三景の一つの感がありました。今を去る41年前、昭和32年の春、広島の宇品警察で合宿を行い、その帰途この宮島に立ち寄った想い出が、まるで昨日の如く想い出され、懐かしい話に夜の更けるのも忘れて話し込みました。

日本三景の宮島に集う

今回は上野君、井上君、車野君、西君が、仕事の都合で欠席となりましたが、地元広島より、伊澤君が出席し、大変楽しい有意義な一時を過しました。

明る10月25日(日)は錦帯橋を観光、昔と変わる事の無い風景を満喫し、来年も又元気で参加することを約束して散会致しました。

吉田文雄(24)

フレー、フレー経大

川西市役所大樟会

本会は兵庫県川西市役所に関係する仲間が集う会員数30余名のグループです。

平成11年1月28日に20名の会員の出席を得て親睦会を開催し、なつかしい昔話に話の華が咲きました。同窓会からは萩原同窓会会長、水納事務局長においでいただき大学や同窓会の近況についてのお話しを伺い、大学は最近の少子化による受験者数の減少等厳しい状況の下で、魅力ある大学、個性が輝く大学へと生き残りをかけた努力をされていることを知り、「フレー、フレー経大」と一同がエールを送りました。また、終宴の頃には全員で学歌などを大声で歌い、会員の今後の活躍を祈念するとともに、会員相互のきずなを深めることができました。最後になりましたが、大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

岸上(井谷)芳夫(46)

一同がエールを送った

総会に47名集結す。

ワンダーフォーゲル部OB会

今回の総会は、姫路在住の冨士本氏の音頭によって、赤穂にほど近い新舞子において奇しくも浪士を同じ47名の参加にて盛大に行われました。特別参加に山岳部OG大隅さんの参加を頂きより盛り上がりました。総会議事が無事終了した後の親睦会においては、全員現役に立ち帰りそれぞれの代、近しい代の皆さんと話もはずみ、時には、代のはなれた先輩の話を伺い、寝る間もおしんで話にくれました。翌朝は、昨夜の余韻を残し

現役に戻って話がはずんだ親睦会

ながら、冨士本氏の案内にて姫路城見学組、室津の港組、話題の赤穂組などに別れて、それぞれの目的地へ出発し、無事解散。次回の総会の盛況を誓いつつ会場を後にしました。

高橋浩行（49）

東大阪市役所 大阪経大会総会だより

東大阪市役所支部

平成11年2月24日、大阪市心斎橋麒麟亭にて学校から濱本泰経営学部長、同窓会本部から萩原市郎同窓会会長、上野欽示東大阪市議会議員のご来賓の皆さまをお迎えして総会を開催いたしました。

本会は昭和42年に3市（布施市、河内市、枚岡市）合併により東大阪市が誕生して以来32年の歴史をもっています。当初は30余名の会員も、会員の退職により年々減って現在16名の職員と4名の特別会員で構成されています。

今年の総会は、初めて大学関係者のご出席をいただき学校の現況報告を受けまして、本学のますますの発展をうれしく思いました。

本市は「中小企業のまち」として知られていますが、本学との関わりも深く話もはずみ盛況裡に終え、次回の再会を楽しみに閉会となりました。

田中忠良（30）

学校の現況報告もあった

新しい会の発足

香川支部高等学校商業科教職員会

平成10年度の四国商業教育研究大会（徳島市）において数名の同窓教員から「一度、経大卒の教員で会を持とう」という話が出て、それがきっかけで1月29日（金）に高松市内の「わたや旅館」において経大卒教職員12名が集まり高校商業科教職員会を持つ運びとなりました。香川県下の経大卒商業科教員数は16名在籍しており、これは県全体の1割にあたります。

会の会長には合田龍夫氏（観音寺中央高教頭）としました。当日はJRが不通、強風という天候の中、12名の同窓生が駆けつけ、大学時代の思い出話や母校の話題で大いに盛り上がり、同窓生の親睦と結束を深めることができました。そして次回の会も来年2月上旬に開くこととし、この会のさらなる発展を誓い、学歌を斉唱して無事終了しました。

大畑年範（51）

親睦と結束を深めた

税理士大樟会 第8回定期総会開催

税理士大樟会　広報部

税理士大樟会第8回定期総会が7月2日「ホテル日航大阪」で開催されました。来賓として大学より桑津昇理事長、泉谷勝美教授、渡辺泉教授、また同窓会より陰下嘉典会長、萩原市郎前会長のご臨席をいただき、福長俊之総務部長の司会により5時38分開会しました。福元輝雄会長挨拶の後市原孝志氏を議長に選出し、1号、2号議案すべて異議なく承認されました。ご来賓より桑津昇理事長、陰下嘉典同窓会会長のお言葉をいただき、6時10分佐藤吉春氏の閉会の言葉で、無事終了しました。

なお、当日3時30分より泉谷勝美教授の「税効果会計の概論」についての研修がありました。

泉谷教授

“忠恕”と“闘争心”

㈱日興商会代表取締役社長
藤縄健一 氏（37）

高校卒業後鳥取からでてこられた。3人姉弟の長男として、現在、日興商会代表取締役社長でいらっしゃる。学生時代は、経営管理論の原田先生のゼミに在籍し、現在の経営手腕を磨かれた。当時、鳥取県の学生寮で、生活されていましたが、たまたま近所に原田先生がお住まいで、よく遊びに行き食事をご馳走になったのが、懐かしい思い出だそうだ。

同窓生の応援団の団長と入社が同期。32歳で、代表取締役社長に就任、現在に至る。先代の社長は、ワンマン経営だったが、2代目は、合議制を主張され現在に至る。

座右の銘は、「忠恕」、高校時代の先生から言われた言葉で、平成天皇の在位の時にもおっしゃられていた。

甘いと言われるかもしれないが、合議制で会社を運営していくうえで、「和を似って尊しと為す」「おもいやりの心」は、大事にしていかなければならないと思っておられるそうだ。

本学の卒業生も積極的に採用していただき、ここ数年、毎年数名採用いただいている。最近は、不景気の風が吹き荒れている中、トップセールスということで、率先垂範。遠くは、東京、広島、多い時には、日に5・6社の得意先訪問を行っている。採用する基準として、はっきりと自分の事が言えて、各種情報の引き出しをたくさん持っていること。そして、礼節を身につけた「闘争心」のある学生さんの来社を待っている。

（大門由秀記）

熱血先生 はいまも人気者

学校法人清風学園
中学・高校六カ年コース教頭
奥本敏雄 氏（24）

昭和33年春卒業後、かねて希望していた教職の道に入られ、現在も現役で学校法人清風学園の中学、高校六カ年コース教頭の要職を務めておられる。清風高校といえば兵庫の灘高校、奈良の東大寺高校などに迫る大阪でも有数の進学校。ただ奥本さんが教壇に立たれた頃は、それは大変な学校であったとか。後に経大に入学してきた清風高校卒の学生が「毎日サラシをまいて学校へ通っていました」と話していたことからも、当時の学内事情をうかがい知ることが出来る。そんな中で、現在の進学校として大成功を遂げる清風学園の一大原動力となり、活躍された功績は、計り知れないものがある。

その熱血漢ぶりは、いまでも通用するかどうかは別として、練習をサボったテニス部員に奥本先生の鉄拳が容赦無く飛ぶ。この猛烈監督のおかげで清風高校のテニス部はやがて全国制覇へと進む。同期の先生方が公立高校へと転校していく中で、一貫して私学の教諭を貫いた背景には、教え子と熱血教師との間に根づいたコミュニケーションの深さと、何事も徹底してやり抜く奥本先生の心意気がそうさせたといえよう。

だから、生涯の趣味である山登りのトレーニングがわりにはじめたテニス（硬式）でも、母校経大硬式テニス部の監督として、いまも現役の面倒を忘れない。

「母校に対して日頃感じておられることは」と話を向けると「仕事柄多くの学生を大学に送り出しているが、残念ながらいまの経大は魅力に乏しい。感動もない。昔はもう少し進取の気風があった。2002年に創設70周年を迎えると聴いているが、思いきった大学改革を断行し、特徴を持った大学になって欲しい」と熱っぽく話される。幾年になっても『熱血漢』奥本先生は変わらない。

（森川義一記）

非市場活動の国民経済計算

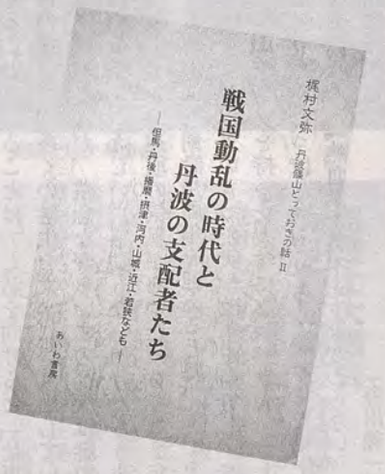
能勢信子（13） 著

このタイトルにはどういう意味が込められているのか、非常に興味があった。特に『社会経済計算』が目を引いたことである。

今、書物は、洪水の如く、溢れている。しかし、そのうち、どれだけが『永遠の価値』のために骨身を削って出版されたものか。日本では、本の重版の比率が激減しているという。世界的に見てもかなり悪いらしい。版を重ね、長く読み継がれる良書が少ないから、すぐ次の新刊を出さないと経営が苦しい。だから、どうしても粗製乱造になり、悪循環になってしまう。本は人なり、人で決まる。どんな本を出しているか、どんな本を残そうとしているのか。それは、出版人の『魂の表現』であろう。一冊の本が世に出るには、それだけに努力が必要である。今、社会は、『魂の栄養失調』に陥っている。この本が、教育・文化、福祉・環境などの非市場活動の国民経済計算という形で、見えにくい社会の問題を、筆者が明解に回答している。何回となく読み返していると、全編は計算体系として組み立てているが、筆者の本当の言いたいことを発見したように思える。政治も経済、社会の危機も重大である。しかし、教育の危機ほど恐ろしいものはない。教育は人間の基本にかかわるものであり、その荒廃は、人間性を破壊し、人類の永遠の破滅に通じる。故に、教育こそもっとも重要な事業と受け取れる。一方、環境というグローバルな課題に対しては、各国が個別に対応するだけでは不十分である。国を越え、大陸を越えて話し合い、協力していくことが肝要と言えるだろう。その意味から、強い実行力をもつ地球的規模の機関が重要であり、環境問題へのさらに広範な取り組みが重要になってくる。取り留めない書評になってしまったが、是非読んでほしいと念願する。『良書を後世に！』それが一番言いたい。

丹波篠山 とっておきの話Ⅱ

戦国動乱の時代と丹波の支配者たち
―但馬・丹後・播磨・摂津・河内・山城・近江・若狭なども―



梶村文弥（8） 著

昨年は「丹波篠山とっておきの話Ⅰ」を出版された梶村氏が、引き続き「Ⅱ」を刊行された。3部作の第2部に当たり、その内容は「主として、いわゆる戦国時代の始まりとされる、室町期中頃の状況と《応仁の乱》から……丹波の覇権をめぐる守護・守護代のほか、各層の支配者たちと世情、当時の中央集権の概況、それに関連のある地域の人物や出来事などにも言及し……」とし、わかりやすく記述されている。

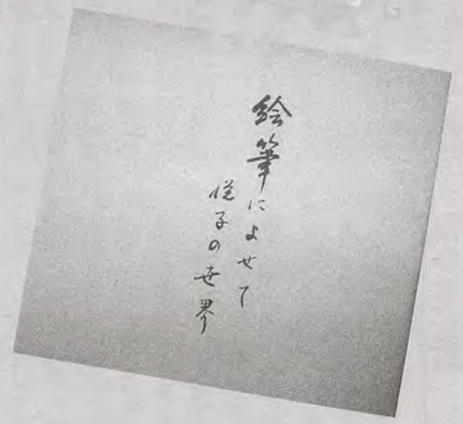
歴史、特に日本歴史の好きな方には、両手を挙げて歓迎される書物である。梶村氏は著書の中で、「登場する人物と同じ姓氏の方々が各地にいらっしゃる」ことを慮り、「その当時の人物の行為を現代の規範に結び付けて判断することは適当でない」と考え、「くれぐれも誤解のないようお願いいたします」と頭を垂れておられるのは感服するほかない。

過去の歴史書の中で、現代に通ずる人の心内を考慮された書物はなかったであろう。

今後の第3部の完成が待たれるところである。

「丹波篠山とっておきの話Ⅱ」
梶村文弥（8）著
あいわ書房
兵庫県多紀郡篠山町東新町87
TEL（0795）52-6090
FAX（0795）52-4050
振替口座
00910-5010640

絵筆によせて 悦子の世界



前田悦子（13） 著

いま澱江を読まれている経大同窓生の中にはご存知の方も多いだろう。前田悦子氏は、47年に旧制の大阪経済専門学校を卒業、その後55年から93年まで大阪経済大学に奉職、図書館司書、広報職員として事務畑を歩んで来られた。

また69年から99年まで同窓会の常任理事を務めるなど、経大の発展に尽力された。

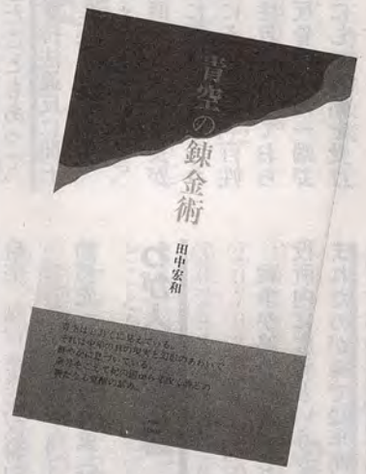
ここに紹介する画集は、著者が退職後趣味として始めた水彩画から32点を選び今回出版したものである。はじめに1点、92年に描かれた〝廃屋〟という題の水彩画が含まれているが、これは定年後の参与時代に作品として初めて挑戦した記念すべき1点となっている。

高山の朝市・泉州の漁港・永平寺・紅葉の高雄・コスモス・ベゴニア・イガクリ・醒が井のマス・祭り……著者の興味のおもむくところは多岐に富んでいる。

この画集は、作品1点ごとにエッセーが対になっていて、作品が生まれた背景や創作中の作者の視点が良くわかり、読んでいるだけでも楽しい。ぼんやりと見ているうちに心がなごむ不思議な雰囲気を持っている。

「絵筆に寄せて」
前田悦子（13）著
ジービー
70P

青空の錬金術



田中宏和（35） 著

昔、文学少年になりたいと思っていた私にとって、「詩を書く」のは、晴天の霹靂、田中宏和さんほど才能のある人が、詩を書くことに悩んでいるとは、きっと「夢の中の夢」で、めったに会わなくなった彼女の「ティー・カップ」のことを反故にするみたいに、詩欲にとらわれているんだろう。只、ご両親が亡くなられて、最近、詩作を見合わせられているのは心配の限りである。

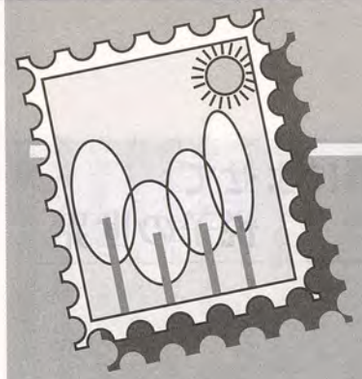
『青空の錬金術』は、田中氏20数年間自作詩集「ラブゲーム」・「月の女神」・「東京南京西瓜北京」・「欲情するトマト」・「笑う月に果実の皮をぬぐとき」の総集編である。

初期『ラブゲーム』では、少年の時に、石で砕け散った水晶の思い出と詩作がダブル。次作『月の女神』は、宇宙に魅せられ、自身の詩作をライトヴァースなものと考えている。『東京南京西瓜北京』では、素直な自分と向き合う、「時は」・「あ※い」・『欲情するトマト』は、生と死に対する畏怖、畏敬、近作『笑う月に果実の皮をぬぐとき』は、あこがれを歌った「ぼくは、なりたかった」等々…。

全編に流れる独特のリズムは、昔、中原中也の詩に触れた時のことを思い出す。これからも、すばらしい詩作を重ねて、僕たちに新風を送り込んで頂きたいと思う。

「青空の錬金術」田中宏和（35）著
白地社　1999年8月20日発行
180P
2000円

North To South
同窓生からのメッセージ



北から南から

同窓生の皆さんのご投稿をお待ちしてます。
こんなテーマで送ってください。

- ●母校への提案
- ●今年一番嬉しかったこと
- ●社会にでて思うこと
- ●私の下宿生活
- ●今でも持っている学生時代の品
- ●私の近況報告

etc.

黒正イズムと久野収先生

山本芳樹（8）

久野収先生が、この2月9日に88歳で亡くなられた。新聞各紙は「戦後日本の平和・市民運動に理論と実践面で大きな影響を与えてきた哲学者」「硬骨の思想とともに大阪人らしい飾らぬ人柄と好奇心あふれる、かったつな対話、座談の名手」「たんに言論で訴えるだけでなく、若者たちとともにデモをし、座り込みすることをいとわなかった」と報じている。

この行動する日本の碩学久野先生が、かつて昭和高商の図書室におられ、われわれ剣道部の顧問をしておられたことがあると言えば、皆さん「エエッー」と絶句されるでしょう。

久野先生はかつて京大の「滝川事件」に関係したこともあって、1937年治安維持法違反に問われ、2年間獄中生活を送られた。出獄後、就職のあてもないとき、その当時昭和高商の黒正厳校長が久野先生を学校に招いて庇護されたのである。既にそのとき「百姓一揆の研究」で注目を集めておられた黒正校長の反骨精神の一端でもあろうかと今にして威銘を受ける義挙である。

昭和15年当時のわれわれは、そんなイキサツは知らない。何だか痩身白皙の若い先生が図書室に通って来られている。そして私たちが話しかけても、まことにザックバランで気取りのない方であった。

上新庄駅から学校までの田園の細道を黒正校長と肩を並べて久野先生が歩きながら手に持った本を開いて何かを黒正先生に話しかけると、黒正先生も「ええー」という仕草で立ち止まって、その本をのぞき込むようにして話をしておられた光景が今も鮮やかに思い出される。そして卒業記念の剣道部の集合写真の中央にあのトンボ眼鏡の久野先生が。そのすぐ近くに私が座っている。

あれからもう半世紀以上。そして今私の傍に「久野収集」全5巻がある。

自宅　神戸市垂水区狩口台
4—42—502
勤務先　㈱神戸凪月堂（社長室参与）

わが人生の足跡

林　俊男（11）

戦争が終わり復員し仕事を探し役所内に広報というジャンルが生まれたのが縁で32年間その禄（ろく）をはんだ。「高松市報」第1号にタッチする。観光課時代、郷土の文豪菊地寛の銅像建立にたずさわる。「二十四の瞳」などのロケ隊が訪れ映画ファンだった私はその職務に東奔西走する。若いころはロマンチストで地元新聞に映画評を執筆したのもそのころ。

最も嬉しかったのは母校が関西6大学リーグで優勝したこと。市役所の経大会長も委任され同士の絆を固めた。その後、公平委員会室長、中央公民館長を経て、市立図書館長を最後に定年となる。

自宅　高松市御坊町3—8
勤務先　菊池寛顕彰会（理事）

元気です。

奥村（山路）美智子（13）

私の在学中は戦中・戦後の激動期で、動員・空襲・終戦・食料難等様々な事がありました。

その中で培われたガンバリズムと体力は今も健在、旅行・テニス・プールにと楽しんでおります。

今年は公開講座にも出かけ、懐かしい建物は支那経済研究所だけになったけど見違えるばかりのキャンパスにて、学生気分にひたっております。戦後得た自由と平和が来世紀も続く様願いつつ……。

自宅　芦屋市松ノ内町9—18

春の園遊会

松浦（木田）圭子（13）

テレビの画面でしか見ることのなかった天皇、皇后両陛下主催の園遊会に招かれるという栄誉をうけ出席させて戴きました。

5月19日は生憎雨でしたが、雨の赤坂御苑は緑がひときわ鮮やかで玉砂利を踏む靴音だけが静寂な森に響いていました。

御苑内の散策は自由で、いたるところに張られたテントのなかには酒肴や茶菓が用意され自由に楽しめるようになっていました。1500人もの出席者のざわめきをのみこんで美しい緑の水をたたえた静かな池のほとりを散策しながらしばし王侯貴族の気分でした。

小雨の降る中を天皇、皇后陛下をはじめとする皇族の方々が会場を一時間程お廻りになる道筋で、宇宙飛行士の向井千秋さん、女優の森光子さん、松坂投手の横浜高校野球監督の渡辺元智さんに話しかけられたほか、どなたとも気軽にお話し下さるという雰囲気でしたので思い切って美智子皇后に「本日お招き戴き有難うございます」と申し上げましたところ「雨で大変ですね」と優しいお声でお返事いただきました。

もっと話題を用意すべきだったと残念な思いで三時間程散策して帰路につきました。

自宅　大阪府吹田市千里山西
6—22—7
勤務先　松浦圭子事務所
（公認会計士）

いい場所にある経大「白馬山の家」

柴田悦子（14）

6～7年前、経大白馬山の家改修記念の集まりに参加した。よく知られている梅池スキー場と梅池自然園の中間、いい場所だ。今年、久方ぶりに白馬大雪渓を登り、白馬岳（2933メートル）周辺の高山植物群と出会ってきた。山頂は若ものから中高年、子どもまで多勢でにぎわっていたが、汗して自分の足で登ってきた気分はいいものだ。

経大山の家が、こんなにすばらしい場所にあることはあまり知られていない。ここを基地に自然と触れあい、夜はランプの下で人生を語りあう—学生時代にしてほしいことの一つである。

自宅　芦屋市大東町6—11
勤務先　名城大学商学部

ある「電話番号」

酒井克己（16）

①0797-31-0501
②0797-91-0301
③0797-31-0301

①～③の電話番号は一見すると、どことなく似ていてプッシュ（ダイヤル）を間違えがちである。

①②は兵庫県所在のゴルフ場であり、③は拙宅（兵庫県芦屋市）の電話番号である。このため間違い電話による最大の被害者でもある。

少なくとも週1、2度、それも7割は早暁の降雨・雪の場合、またスタート予約の先陣争いである。品位を重んじるゴルファーである筈なのにきわめて乱暴な言葉づかいにも呆れることもある。振鈴により応答しても相手を確かめることなく、いきなり用件をブチまけ、間違いではと言うと、プッー。

自宅　芦屋市潮見町4—12—3

更なる母校の発展を願って

栗本邦人（19）

満足度の高い大学とは、リクルートの調査では、偏差値の高い大学が必ずしも高くなく、しっかり教育をしてくれる大学だという。

大学制度が成熟していくと、入口型から出口型に変っていくといわれ、その時期に今来ている。小回りのきく小規模の私学でこそ、思いきったシラバスを採用し、確たる個性が発揮できる学問を提供でき、その結果、いい学生を多く巣立たせていくことが、受験生に認められる大学になるのではと思う。

自宅　和歌山市梅原413
勤務先　智辯学園和歌山高校
（英語科教員）

母校の発展を願って

前田行信（20）

昭和29年卒業、地元中学校に就職、爾来、明石市を含め38年間公立校勤務、定年退職後4年間私立女子高校勤務、私立高校では大経大卒業生が5名在籍、経大会をつくり、協力して生徒の指導に励んできた。経大卒業の教え子は可成りの人数になると自負、その大学も今や18歳人口の減少、少子化時代となり「大学冬の時代」となった。母校の伝統「実学」を基本として時代を先読みした。「コンピューターネットワーク」等情報教育の実践を充実し特色ある大学づくり、社会に役立つ人材を送り出すことが母校発展の要諦であろうと確信しています。母校の更なる繁栄と同窓会員のご健康を祈念いたします。

自宅　兵庫県加古郡稲美町岡
1630

経大テレフォンカードの思い出

川北義雄（21）

ここに1枚の母校のテレフォンカードがある。私の勤めていた会社も社員の高齢化が進み、会社全体をリフレッシュする為、若い血を導入すべく人事担当部長と課長が連日関西の各大学を訪ねたが、当時は所謂「売り手市場」で150名程度の中小企業には応募者はなく、遂に私と課長（両名共経大卒）に白羽の矢が立ち夏の暑い日何十年振りかで母校を訪ねた。立派になった校舎に驚きと同時に誇りをもち、帰り際に戴いた母校のテレフォンカードが今も大切に私の手許にあり、時折ありし日の出来事を思い出させてくれる。残念ながら学生の会社への訪問はなかった。

自宅　京都市西京区
嵐山西一川町5—20

想い出あれこれ

松尾宏志（21）

5日29日に孫娘が結婚をした。今年最大の喜びと共に、もうそんな年齢になったかと驚く。復員してから家業の伸線業を手伝いながらの勉学、卒業生も400名足らずでお分りのように毎日の出席者となると労働と空腹でごくわずか、校門前の道路は舗装もなくバスがくると猛烈な砂ぼこりの悪路であった。

夏休みが終わって登校すると机の中にヘビがいて大騒ぎとなったような、今では想像もつかない環境での勉学の毎日であった。少ないだけにまとまりもよく、期末テスト後は、教授と天六へ繰り出し、お好み焼屋でビールを飲みながら語り合ったのもいい想い出。諸君、若い時にしっかり勉強して下さい。

自宅　枚方市楠葉美咲3—17—8
勤務先　大阪水交会（専務理事）

大学冬の時代と、今年一番嬉しかったこと

玉岡良夫（23）

最近も良い先生達が多くおられると思います。しかし現在はご存知のように一流企業、NTT、日立、東芝等、3社は、リストラワーストで減員数トップです。いかに一流企業でも収益改善のためのリストラをしている。一部の先生と思われますが、自分の事だけ考え、例えば高給料を要求し学校、学生に迷惑をかけるような先生達をリストラの対象にしないと授業料にも影響し、高くなり、大経大の受験生が他の大学に流れて減少の原因になると思います。一流、中小企業でもリストラを考えている時代です。大経大も考慮されたい。うれしい事ですが、毎年、当社で同窓会を開催され、幹事の西本、酒井氏のお陰で多数出席されています。色々な情報を得、友達は有難いものです。金では買えない経験を味わっています。教授、同窓会長も出席いただき感謝の気持でいっぱいです。有難うございました。

自宅　大阪市中央区心斎橋筋2—1—5
勤務先　富久家（ふくや）ホテル

“ネバーギブアップ”精神

松井正近（25）

卒業生の皆様お元気でご活躍のことと存じます。小生34年卒、㈱大林組に勤めて40年、大阪を振り出しに、高知・松山・高松・神戸

と殆んど営業の最前線で持ち前の“ネバーギブアップ精神”で談合問題も何のその駆け抜けて参りました。

会社勤めも終わりになり、最近は偶に当社の千葉君、大林道路の青木、山本両君、神鋼興産の大橋君など後輩の皆さんと一献傾けたり、ゴルフをして楽しんでおります。

自宅　神戸市北区鳴子2—24—8
勤務先　㈱大林組

「耳よりな情報」“びっくり満足”

高柳昭三（26）

●大阪駅構内、TOKK（阪急情報誌）等々大経大広告を随所に見かけ「びっくり」

●小生「定年」で大経大の市民教養講座、公開講座等々を受講中、9月以降もびっしりのスケジュール、講座内容に「満足」

●講師（教授）も200名からの聴講生（老人）に「びっくり」「こんな大教室で満員の生徒を教えたこと、今までにありません」

●諸先輩何はともあれ、大経大に行って見なはれ、昔なごりのコンクリート教室はD棟のみ、りっぱな赤レンガキャンパスにはクーラー水洗付教室！「三度びっくりの満足」です。

自宅　茨木市沢良宣西3—9—26

私の住む町寝屋川

花岡任宥（27）

寝屋川市は、大阪府の東北部淀川左岸に位置し、大阪市の中心部までは約15㎞、京都市の中心部まで約30㎞で近畿圏の文化・産業のかなめ、歴史のまちであります。歩こう寝屋川発見の旅10コースの代表的なものとして、淀川の自然を遊歩する〈淀川コース〉、巨樹大クスにであう〈大楠コース〉、古代の丘を漫ろ歩く〈高宮廃寺コース〉、緑の中を散策する〈みどりの道コース〉、石の古墳の時代へ行く〈石の宝殿コース〉などがあります。コース全ガイドおよびマップは市の教育委員会文化振興課（0720-24-1181）で入手できます。小生も平成10年6月の定年を機に漫ろ歩きを実施して寝屋川発見の旅を満喫している昨今である。

自宅　大阪府寝屋川市太秦
1090—1—309

大学に望む

櫻井富雄（28）

企業の業務活動を俯瞰できる3本柱は、情報と、経理と、人事である。

そのために、情報リテラシー教育、簿記実務知識習得、哲学と生命科学の研究に大学の力を注いで欲しい。

それとともに、広く社会に門を開けた大学として、地域社会とも、国際社会とも常に連帯した行動をとり続けてもらいたい。

自宅　海老名市国分寺台1—1—17
勤務先　武蔵国際総合学園神奈川校

一OBの願い

西田諄司（28）

働きながら学んだ私も今は現役を引退してはや3年になる。「澱江」をみるたびますます立派に大きく飛躍してゆく母校の姿を懐かしく、そして頼もしく思っているのは私だけではないだろう。

今、OBの一人として後輩に望むのは現在我が国の大学生の評として世間ではよく「入学は難しいが卒業は簡単」とか「勉強はよく出来るが人間的には半人前」と言われているが、そんな悔しい話は経大には当てはまらないということを実証してほしいということである。荒削りでもいい、基礎をしっかり身につけたどんな苦境の際にも臨機応変に対処できるスケールの大きい人間になってもらいたい。

自宅　交野市天野が原町5—2—8

〈経大スピリッツ〉心の財

青木繁雄（30）

昭和39年卒業以来、母校およびラグビー部関係の会合には一切参加せず、またその度ごとの連絡を頂きましたことに対しまして、失礼とは存じますが誌上をお借りしまして、おわび申しあげます。

とりわけ岡本昌夫先生には卒業時に、「世の中は厳しい。君たちは頭が弱くても決して卑下することはない。苦しい合宿を乗り越えた体力とラガー精神を発揮すれば人生は負けない。また仕事のきつい時は合宿を思い出せ。ラグビーを思い出せ」と言われたことが、いまだに忘れられません。良き監督、先輩、同輩後輩に巡り会えたこと感謝の念に耐えない次第です。

さて私事ですが、卒業を間近に控えて就職活動も思うようにならず悩んでいたとき、神戸新聞社の追加試験に応募したところ入社でき、現在、僚紙のデイリースポーツ編集局校閲部に平成5年より勤務しています。ご愛読お願いしま

す。55歳になってから仕事上、パソコンを始めましたので四苦八苦しているのが現状です。

私が57年間生きてきて何としても忘れられないのが阪神・淡路大震災です。おかげさまで多くのことを学ぶことができました。日蓮大聖人のご聖訓に「蔵の財よりも身の財、身の財よりも心の財第一なり」とありますが、住宅ローンもようやく終わり、娘も結婚して孫もでき、ホッとした時の震災。

しかし避難所・義兄宅・仮設住宅の2年2カ月間の生活は、私にとって少しばかりの財をなくした代償として、多くの方々からの心の財を得ることができました。

「心こそ大切なれ」20世紀も終わろうとしています。新しい世紀は心の世紀とも言われています。

最後に母校と経大生OB・現校生の増々のご発展とご健康をお祈り申しあげます。

自宅　兵庫区都由乃町2―5―9
勤務先　デイリースポーツ社

私の住む町

小西和夫（30）

私の住む町、宝塚市は歌劇と湯の町として知られ人口約20万人の住宅都市であります。歌劇は今も盛んでありますが、湯の町の方は昭和40年代を境としまして今では数軒のホテルのみとなっております。又一方安産の神様として有名な中山寺と商売の神様の清荒神は今も昔も変りなく賑わっております。私は昭和42年より税理士事務所を開業し現在に至っておりますが、平成11年4月に宝塚商工会議所が発足し現在常議員を拝命しております。

自宅　宝塚市伊子志2―1―2
勤務先　小西会計事務所

私の住む町垂水

田中洋三（31）

神戸市垂水区は神戸市街地の西端に位置し、市内最大人口の住宅地であります。南は明石海峡を見下ろす南斜面の素晴らしい環境で平成10年4月に開通した明石海峡大橋のライトアップされた姿は最高です。

この橋の開通に伴い各高速道路が整備され垂水JCTを経由して四国や中国地方へのアクセスが便利になりました。

また、区内の歴史的に有名な所としては、2万年前の旧石器が出土した大蔵山遺跡、4世紀から5世紀にかけてこのあたりを支配した豪族が築いた五色塚古墳があります。

五色塚古墳は史跡公園として現在公開されており、入口は古墳の西側の中央にあり、石段を登っていくと前方部の上へ、さらに登っていくと後円部の頂上へ登ることができます。

ここからも明石海峡が一望でき、当代の大橋を眺めながら古代の歴史に想いをはせるのもいいのでは…。

自宅　神戸市垂水区西舞子
8―7―3
勤務先　真柄建設㈱　大阪支店

経済大学振興に向けてのエール

三崎洋二（31）

失礼ながら大学の現状を外から眺めているとまるで阪神タイガース球団の実状と同じように思えてなりません。大学自体に元気が無い、大学振興の的がよくわからない、長期プランがはっきりしない等々です。（中略）

勝手な言い分ですが、これからも大学関係者の皆さんが大学を良くしていこうとする「意志を集中させ」内在する「力を集中して」実のあるものにしていただきたいと願っております。私の様なミーハー族は球団が大学が強くなればすぐにでも「私は根っからの熱狂的ファンである」と「優秀な卒業生である」と胸を張って言います。

自宅　大阪市福島区鷺洲
3―1―2―1306
勤務先　大阪市建設局

大学冬の時代への提案

山本昭夫（31）

1、大蔵省幹部や銀行のトップの不祥事等、偏差値重視の超エリート達の築いてきたあらゆる常識が狂ってきた。まして「学ばず遊園地化した駅弁大学的教育」は少子化時代、インターネット留学可能な時代には、その存立さえ危うくなってきている。

2、「ものを考える能力」「自分の意見や、やりたいことがはっきりしている」学生の育成、一案としてビジネススクール制の導入、等を通じ大学の存在価値、社会的使命、特色ある大学づくりビジョンと経営安定とのバランス等について大学経営者、教授会、同窓会は一致努力する時代。

自宅　生駒市西菜畑町
1791―4
勤務先　医療関連コンサルタント

私の住む町

矢幡国行（32）

私の住む町・大分県日田市は九州の丁度真中に位置し、九州の小京都ともいわれ、周囲を山にかこまれた盆地で、夏は天然の鮎や、ウナギが豊富に獲れる、すばらしい環境にあります。

江戸時代は天領として栄えた町でもあり観光資源も多く、そこに暮らす人々は人間味あふれる、すばらしい人々です。

このような町に暮らせることを心から喜んでおり、幸せを感じています。一度観光に来て下さい。ご案内致します。

自宅　大分県日田市亀山町4―20
勤務先　日田高等学校定時制

史跡めぐり

山仲義秀（33）

両親共、体の調子が悪く毎日面倒みている状態です。楽しみは時間の出来た時にあまり遠くない史跡めぐりです。現在猪名川町史跡保存多田銀山顕彰会（兵庫県）に入っております。これらに興味のある方、又近くの史跡を紹介して下さい。

在学時代は4年間野球部におり学校を通りこしてグラウンドへ直行。雨の日にはマージャン、パチンコなどでテストの時教室がわからず聞きまくっていたのを思い出します。でも4年間いろんな人と付き合いが出来、自分の為になったと確信しています。お願いとして全国各支部の写真をもうすこし大きくのせてもらったら、知人の顔をみつけるかも知れません。頼みます。経大の発展を祈ります。

自宅　兵庫県三田市三輪1―11―1

卒業生を対象に経済講座を

内藤靖史（34）

昭和43年卒以来、31年。その間大学を訪ねたのはゼミOB会で一度のみ。秋の同窓会も、日曜日・祝日勤務の為欠席。疎遠です。入学後、暫くはクラブに入ったりもしたが受講にバイト、遊びと極平凡な学生であった。卒後、経大出であることにさして誇りを持てずにおりましたが（先輩諸兄に叱られますが）新聞紙面等で大学野球をはじめスポーツの試合結果には自然と目がいき、やはり気になります。ところでこの頃、それ程認識の無かった他大学が今ではメジャー（？）になっているにつけ、経大の存在感が薄らいできたように思います。私事ですが、高3の受験生がいますが経大の知名度は今、一つです（親たる私自身のPR不足も）。

さて、今や未曾有の経済混乱のなか、とりわけ経済の専門学府としての役割に大きな期待がかかっています。実社会にいる我々OBに今こそ、実践の経済講座を開いて欲しいものです。卒業生へのアフターサービスです。そういう事が卒業大学とパイプを持てる事につながるのではないでしょうか。

自宅　大阪府池田市伏尾台
3―10―22
勤務先　積水ハウス株式会社

教育へのスピードアップ

片山剛征（36）

ビッグバンに代表される様に昨今の企業経営のスピード、社会の変化は凄まじいものがあります。特化した戦略の重要性が増し本当の意味でのマーケットインの時代に入っています。

資本市場を見ても、金融機関との持ち合いの構図が崩れ、間接金融から直接金融の時代に入りつつあり、IR（投資家向け広報）の必要性、ツールの充実が叫ばれています。アニュアルレポートの制作、海外への電子配信事業など大きな飛躍を遂げている企業もあります。こういった面でも大学の果たす役割は大きいと思います。冬の時代といわれて久しいが、特色ある大学をめざし、教育のスピードアップをはかることは次代の要請でもあります。

自宅　西宮市苦楽園1番町1―6
勤務先　凸版印刷株式会社

山登り

友谷義明（36）

中高年の山登りが流行している。50歳を超えた私も知人に誘われて今年の4月より始めている。山に登るのは約30年ぶりである。初回は山口県の東の端にある「寂地山」（1337m）で山頂付近に生えている「かたくり」の可憐な花を見てきた。

それ以来、2週間に一回の割合で広島近郊の山を仲間と一緒に登っている。実に楽しい。健康にも良い。費用がかからない。山登りの魅力にとりつかれ、完全に嵌まってしまった。

自宅　広島市佐伯区藤の木
1―14―28
勤務先　友谷社会保険労務士事務所（自営）

大経大を誇りに

西村　豊（38）

最近思うこと二つ。

1、あと10年若ければ

情報化社会、デジタル化、パソコン万能の社会になってなかなかその応用が利きません。

若者との対話が成り立ちません。

サラリーマンとしては辛いものがあります。

学生時代があと10年後であればかなり自信が持てたかも。

2、しかし、悔いはありません。

昭和43年からの4年間の学生生活はやはりよかった。

学生デモが日常のまさに激動の時代。周囲の状況に圧倒されつつも悩み、考えました。法学研究部との出会いも忘れがたい。

時代なのか、大経大のキャンパスなのかわかりませんが、それなりの考えを持ち、意思表示が出来るように育んでいただいた大経大に感謝とその学生であったことに誇りを持っています。

団塊の世代と違い今は少子化の時代。そして、一方に大競争の時代が扉を開けて待っています。今こそ、さらなる母校の隆盛をお祈りいたします。

自宅　兵庫県養父郡関宮町
関宮1838
勤務先　ナカバヤシ㈱　兵庫工場

卒業27年・随感

荒井五郎（39）

小生は、金融機関に勤務して27年、本年6月には予期せぬ挫折を経験しました。現在（7月）は資産譲渡に向けた仕事に従事しておりますが、今後に対する不安は万感胸にせまるものがある現況です。

しかし団塊世代に生まれ、大経大精神を人生の礎として頑張る〝神戸っ子〟の小生としては、負けるわけにはいきません。

一喜一憂することなく現実を冷静に受け止め、家計のリストラと得意とする分野（法務・相続）に磨きをかけ「知命」を乗り切る覚悟です。

自宅　越谷市蒲生旭町4―31
勤務先　㈱東京相和銀行（管理部）

母校発展への提言

市原孝志（40）

1、総合大学へ早急に学部増設を!!（最低6学部）

最近、総合大学に人気が高まっており単科大学の評価は低い。

2、役割分担の徹底＝教授陣→優秀な生徒の育成

経営陣→民間からの導入など大学運営のスペシャリストの登用

3、大学はもっと努力をして一つの方向にまとまる必要がある。

4、魅力ある教授の受入れと看板教授の育成

5、広報活動にもっと力を入れる

6、就職指導の充実とアフターケア

7、スポーツの強化＝著名指導監督、コーチ等の受入れ、育成

8、資格取得等の奨励等

お互い頑張りましょう!!

自宅　神戸市西区中野2―4―4
勤務先　市原会計事務所（税理士）

知覧にて

清重弘子（40）

出張のおりに「知覧特攻平和会館」へ立ち寄りました。凛とした眼差しや墨跡等の展示品にはしばし涙してしまいました。

豊さゆえでしょうか「自己の責任」や「心の荒廃」に気付こうともしない若者がふえつつある今。幼児教育に携る者として何をすべきなのか??「薩摩の小京都」とたたえられる美しい町並みに心やすらぎつつもちょっぴり自分に問いかけてみました。

自宅　徳島県名西郡石井町
高川原350
勤務先　社福さくら保育園（園長）

私の住む町

畠中善久（40）

山と湖（うみ）にはさまれ、緑と水にめぐまれた風光明媚な志賀町は、西に近江八景の一つ「比良の暮雪」で知られる比良山地をのぞみ、東に白砂青松の近江舞子の湖面にきらめく町です。

歴史にもめぐまれ、遣隋使として知られる小野妹子を始祖とする小野氏ゆかりの地であり、小野神社、小野道風（名筆家、三蹟の一人）神社があります。

JR湖西線開業25周年を今年7月に迎え、すっかり京都・大阪のベッドタウンとなっています。比良山地は「関西のアルプス」といわれ、JRを利用してのハイカー、スキーヤーで、湖は釣りや泳ぎを楽しむ人々で春夏秋冬にぎわっています。志賀町でぜひ一度アウトドアを楽しんでみて下さい。

母校の益々の発展を心よりお祈り致します。

自宅　滋賀県滋賀郡志賀町
今宿683―2
勤務先　㈱京都銀行

卒業25年を振り返って思うこと

万尾健雄（40）

卒業して25年、現在大阪で単身赴任中です。先日、兄（46年卒業）弟（57年卒業）3人で、母校を訪ねることがありました。

大学のキャンパスも立派に整備され、青春の思い出の経大が活気に溢れた学生諸君で一杯であったのに感激と喜びが込み上げたことを思い出しました。常に前向きに、積極的に努力しようという「チャレンジ精神」を持って、①新しい分野あるいは②出来るだけ得意分野で抜け出し「出る杭」から「出すぎた杭」に脱皮し、「骨太なタフ」さを身につけた経大生の育成を引続き期待しております。

自宅　習志野市津田沼
5―13―4―705
勤務先　㈱東京三菱銀行上六支店

母校への提案

松本孝裕（41）

経済・経営学問そのものの研究も大事であるが、なかなか学問どおりに実体経済は動かないもの。是非とも実体経済の究明に傾注したカリキュラムを取り入れることを望む。さらに、高度成長期、バブル経済期といった過去の経済を軸とした発想がなお根強く残っているが、こうした意識を早く払拭し成熟した経済下における経済成長を展望する感覚を志向すること。つまりしっかりした座標軸をつかむことが肝要でないかと思う。

自宅　奈良県生駒郡斑鳩町
目安北2―7―31
勤務先　銀行員

私の住む町

山本（酒井）淳子（42）

私は一度もこの土地を出ることは出来ませんでした。大学も長時間かけて通学し、ずっと続けてる仕事も車で30分のところです。

お城が美しくて緑があって、適当に田舎で（それでも48万都市）、ちがう世界ものぞきたかったなって感じです。思えば23年間は3倍モードで突走った毎日でした、娘は自宅通学の神大生、息子はちょっと希望がもてる受験生、自分の子どもがみんなと出会えた年齢になってるなんてびっくりよね、ほんとに!!

世界の文化遺産『姫路城』を見にいらっしゃいませんか。そして私を思い出したら連絡下さいね。素敵な年ごろだからこそ色々語りましょう。

自宅　姫路市花田町小川839―11
勤務先　㈳姫路市医師会

仲間募集

高田博史（42）

仕事の関係で東京、横浜、札幌と住んできましたがこの川口に移り住んで7年が過ぎようとしています。大学を卒業して以来関西とは縁がなく、半分以上が関東での生活になっており、食べ物の好み、生活スタイルまでが違ってきた様な気がします。時折、テレビなどで関西の有名店の紹介番組がある度に、家内に場所を聞かれますがサッパリ分らず情けなくなります。時々出張で神戸に行く際、新幹線の車窓より見る母校…気持ちが一瞬学生時代に戻りなんとも言えない気持です。仕事中心の生活で地元にも何の関わりもなく、過ごす日々です。近くに住む同窓の方でも御一報頂ければ幸いです。

自宅　埼玉県川口市戸塚鋏（はさみ）町24―18
勤務先　沢の鶴㈱　東京支店

私の住む町

湧沢　浩（42）

岡山県の東南部、兵庫県と県境を接する人口5400人余りの小さな町が私の住む吉永町です。北には国際交流にも利用されている八塔寺ふるさと村、南には私の家から歩いて15分ほどに国宝閑谷学校（備前市）がある自然あふれる田舎町です。

こんな町ですが、不名誉にも産業廃棄物問題で近年すっかり全国的に有名になりました。この問題をきっかけに吉永町では、環境への町民の意識が高まり、まずは自分の家からと家庭ゴミの分別を徹底して行おうと今年「環境の町宣言」が採択されました。

卒業以来、23年ほどになりますが、こんな田舎暮らしを楽しんでいます。

自宅　岡山県和気郡吉永町南方873
勤務先　備前信用金庫

子育てがんばっていますか?

井上克彦（43）

学級崩壊で話題の小学校に勤めて20年を過ぎ、子ども達を見て感じることは、がまんできない子、自分の気持ちを伝えられない子、集団の中で何を起こすかわからない子が増えたなということです。ストレスをうまく発揮できなくて、

エネルギーのある子は非行に走り、ない子は不登校になるケースが多いようです。子どもは自分に有利なこと、都合のいいことしか話しません。援助交際やオヤジ狩りをみても大人がナメられています。子どもに甘い社会が子どもを追いこんでいます。将来、貴重な私達の年金を稼いでくれる社会人になってくれるのでしょうか。所沢高校生のような逞しい子に育てたいものです。

自宅　岡山県総社市原1513
勤務先　総社市立秦小学校

新幹線の車窓から見る母校

長木（神原）栄里子（43）

25歳で結婚してこの20年間、6回の引っ越し（主人の転勤）を経て、愛知県の三河に居を構え、長男（金沢大1年）長女（高2）と年月の早さを感じています。私の実家は、経大から徒歩15分の所にあり、私の自慢は幼稚園から大学まで徒歩通学をしました。歴史のある経大の卒業生でも珍しいと思います。昨年の5月から今年の3月の10カ月間、新幹線で、名古屋新大阪間を30往復しました。末期ガンの実父の看病の為の帰省でした。新大阪駅に近づくと、経大の校舎を車窓から眺めていました。〝故郷は遠くにありて思うもの〟〝母校は遠くにありて思うもの〟母校の発展をお祈り申し上げます。

自宅　愛知県西加茂郡三好町
　三好丘桜2—5—12
勤務先　東海医療工学専門学校

頑張ろう銀行マン

長崎　諭（47）

経大の卒業生は私をはじめ多くが銀行で働いています。特に大阪地域は「金融パニックの火薬庫」とさえ言われており、日々気の休まる時がない状況です。私は年に一度必ず経大時代の仲間4人で酒をくみかわすことがあります。あと3人は美容室経営、建材会社経営、家電品販売会社経営と業種はバラバラですが毎日すべての頭脳を使い、経営指針を模索し苦しいながらも堂々と頑張っています。銀行だけが苦しく厳しいのではなく「浮利は追わず決して無理をせず、正々堂々の業拡」を心がけることが大切と考えております。

自宅　滋賀県神崎郡五個荘町
　奥455—1
勤務先　びわこ銀行竜王支店

第二の故郷「延岡」

人見直樹（47）

'81年に本学を卒業し、ダイエーに入社した。店舗勤務一筋で大阪から兵庫、香川、岡山、宮崎と転任し、今年4月に再び香川県内勤務となった。この中で思い入れが強いのが宮崎県延岡市である。'95秋に新店の店長としてオープン前に家族ともども赴任し、今年4月まで生活していた。初めての九州で宮崎県を訪れるのも高校2年の修学旅行以来であったが、延岡という土地は歴史の香りも深く、気候、人柄、酒とどれをとっても心地良い。オープン時に地元メディアに経歴を紹介された際、電話をいただいた地元在住の寺田先輩とのお付き合い等、思いもかけなかった経大の人脈に恵まれたことも、延岡第二の故郷と感じさせる所似である。

自宅　香川県綾歌郡宇多津町
　浜9番町144—9
勤務先　㈱ダイエー坂出店

今年一番嬉しかったこと

小林光男（49）

昨年末に40歳にして、初めての長男が誕生しました。言葉では言い尽くせないほど嬉しかったです。

それとともに、今は子育ての大変さを身をもって体験しています。

現在、教職の仕事に就いておりますが、これまでとは少し違った視点で子供をみれるようになった気がします。

気の早い話ですが、18年後には我が子もぜひ経大にぜひとも入学してほしいと思います。それまでに、経大がより一層ご発展されていることを心から願っております。

自宅　兵庫県氷上郡山南町
　上滝940
勤務先　県立有馬高等学校

私の住む町

田岡　弘志（49）

出向で高知に赴任し3年半、35年間大阪で生まれ育った私にとって初めての異郷の地、不安も有りましたが「住めば都」都会の様な刺激や情報は少ないものの、青い海と空、新鮮な山海の幸、温暖な気候と気質、そして坂本龍馬をはじめ、偉人や維新の志士を多く生んだ土地、観光県では有るものの全国的な認知度はまだ低い。

本四三橋時代を迎え、四国島内の高速道路も整備され至便になった今日、一人でも多くのお客様に高知の温かさを感じていただきたいと願っております。

自宅　高知市高須
　1915—3—207
勤務先　㈱高知新阪急ホテル

私の住む町

鵜飼泰正（51）

私は10年前に札幌へ来て暮らしています。北海道と言えば〝涼しい〟とイメージされると思いますが、今年の夏は少し様子が違いました。最高気温30℃以上の真夏日が連続7日あったりして、涼しさに慣れた体にはとても厳しい年となりました。また、とても寝苦しい夜が続き、大阪の夏を思い出しました。おかげで、ビールの消費も例年より多くなりました。皆様も機会ありましたら、おいしいものを食べに、北海道へいらっしゃって下さい。

自宅　札幌市厚別区大谷地東
　3—3—2—305
勤務先　ソニー生命保険株式会社

僕にとって貴重だった4年間

片桐正人（53）

卒業して早や12年が過ぎてしまいました。私は在学時、邦楽部に所属しており、日本の楽器を通して、いろんなことを学ばせてもらったと、卒業してから思えるようになりました。3回生の時などは自分の時間が持てなくて大変だったけど、その時のねばりや、がんばりが今、目に見えないかもしれないけど、生きてるんだと思っております。今は三重県の赤目四十八滝近くの観光ホテルでフロントをしておりますが、関西から近いこともあり、経大出身の方がお客様としてお見えになることがときどきあり、何かうれしい気持ちになります。お世話になった先輩、同期のみんな、後輩たち、ドライブなどで近くに来られた際には立ち寄って下さい。

自宅　三重県名張市
　つつじが丘南2—247
勤務先　青蓮寺レークホテル

今年一番嬉しかったこと

大熊達也（60）

昨年5月に結婚しバタバタとしながら一年余りが過ぎた。そこでやっと自分の趣味の時間がとれるようになった。

私は元来アウトドアが好きで現在カヌーに凝っている。まさに「サラリーマン転覆隊」なのである。自然に対し、面と向きあって遊ぶというのは実に素晴らしいことである。人間として大事なものを教えてくれる気がする。その自然と出会えたことが私にとって今年一番嬉しかったことである。

自宅　東大阪市若江南町2—4—14
勤務先　㈱泉州銀行

素晴らしい友と出会えた経大に感謝!!

小川一幸（61）

経大を卒業して5年の月日がたち、仕事のおもしろさ、やりがい、難しさを実感しながら、仕事に追われ忙しい日々を送っています。営業で経大の近くを車で走る度、学生時代の懐かしさが蘇ります。昨年、私の勤務する会社にも経大の後輩が入り、この時期毎年のように経大生がOB訪問で訪ねて来る度、経大での4年間が想い出されます。一生懸命打ち込んだサークル活動・青春18きっぷを使ってのハードな国内旅行・アルバイト…などを通じていろいろなことを語り合い、お互い刺激しあえる友人を得ることが出来ました。素晴らしい友を得、青春のエネルギーを注ぎ込めた、あの4年間が社会人となった現在の私の土台となっている気がします。最近は皆、忙しく、なかなか集まれる機会がありませんが、経大で得た、大切な仲間との交流をこれからも続けようと思います。

最後に、母校の発展と皆様の活躍を願っております。

自宅　大阪市阿倍野区阪南町
　2—21—6
勤務先　日商岩井石油㈱

私の住む町

栗林靖裕（62）

私は今、門真市に住んでいる。実家は大阪市旭区だ。実家へ立ち寄る際に、必らず千林商店街へ行く。千林商店街には、ダイエーの1号店があった。私は、小学校の頃から見慣れた千林商店街が好きだ。また、千林商店街には「オリジナル・ソング」があり、テレビ番組に紹介されたことがある。その唄は一度聞くと、自然に口ずさんでしまう。歌詞の一部はこうだ「イチ、ジュウ、ヒャク、セン、千林フレッシュな街千林…」

自宅　門真市宮野町
　13—32—203
勤務先　大阪府福祉部児童福祉課

ゼミ短信

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

SEMINAR REPORT

スピリチュアリティへ

伊田広行先生

スウェーデンに1年間留学していろいろ考えました。最近は、シングル単位論に加えて、思想的・精神的・宗教的な側面についても考察を加え、「スピリチュアル・シングル主義」という観点を打ち出そうと考えています。活動としては、労働における女性差別問題やパートや派遣労働などの不安定雇用問題にコミュニティユニオンを中心に取り組んできましたが、99年には阪神圏非常勤講師労働組合の執行委員にもなり、また大学におけるセクシャル・ハラスメントの対策作りにも取り組んでいます。今後は、日本の市民運動・フェミニズム・エコロジー関連の諸運動の大同団結（シングル単位と社会民主主義型福祉国家の理解）、日本における市民派議員のネットワーク活動支援、労働現場の実態に即した研究会活動の運営等に取り組みたいと考えています。

四国で勉強中です

池野重男先生

四国学院大学に国内留学しています。善通寺市といえば88カ所巡礼の地です。お遍路さんをよく見かけます。私も回りたいのですが、クルマがないのが致命的です。昔の人はすべて歩いたのですね。いま歩いて14カ所です。

文学部教育学科の先生や助手さんたちに親切にしてもらって勉強にも励んでいます。この不況の世の中で人と人とがむすび合って生きていける社会とは何か—がテーマです。

また月に1回大阪に出て経大で現代社会研究会を開いています。通信も出ています。参加してみませんか!?

秋には〝卒業生たち〟をテーマにした本を出します。連絡下さい。香川県善通寺市中村町1174の1の201

古稀を迎えて

泉谷勝美先生

ゼミ卒業生のみなさんお元気で活躍しておられますか。私は昭和28年春、23歳の一助手として大隅の土地をふんで47年、今年5月古稀を迎えました。体のあちこちの部品が損傷磨滅＝減耗償却して今更のように、健康の尊さをかみしめています。これまで続けてきましたイタリア会計史は「スンマへの径」にまとめ、昨夏、日本会計史学会賞を受賞しました。今は日本会計史に目をむけています。来春定年、しばらく特任教員として残りますが、たのしく勉強しています。学校の近辺、学生気質、校庭、何もかも大きく変わりました。45—6年当時の大学紛争が私の一生にとって1番印象的です。卒業生のみなさんお体を大切に!

伸びる若木

稲場紀久雄先生

私の教養演習の所属学生全員が昨年の大樟祭で上演した寸劇『ラーメン強盗の最期』は、愉快な作品だった。捕まった強盗は、環境ホルモンの溶出が疑われるカップ・ラーメンが大好き。古くなった食用油は、白髪を増やすとか。覆面をとった強盗は惨めな白髪頭。古いカップ・ラーメンをさぞや沢山食べたのだろうと言うわけだ。この着想は奇抜だ。なかなかセン

スがある。率直にそう思った。学生自らシナリオを書き、みんなで練習した。彼等は、良い友達になった。今もほとんど全員が大経大生協の環境リサイクル委員会で自主的に活動している。農業基本法を多角的に扱ったミニコミ誌『アース』は、水準を抜いた出来だった。若木は、すくすく育つ。

私の近況

井上達彦先生

大阪経済大学は古き佳き伝統を今でも残し、若手教員であってものびのびと研究できる大学のようです。

もちろん、学期中は教育活動やさまざまな雑用に追われ、じっくりと自分の研究を見直す余裕がありません。夏休みに入って、ようやく日頃読むことのできない文献に目を通し、データを整理し、文章にしてまとめる。といった作業にとりかかれそうです。経営学の分野でいい講義をするためには、常に企業の動きに目を配り、自分の研究をアップ・トゥ・デートしていく必要があります。

「良い教育のためには良い研究を。」これをモットーに研究に励んでいます。

経大〝魂〟を忘れずに

上田慧先生

皆さんお元気ですか。私は同志社大学に移籍して3年目になり、今春最後のゼミ生を送り出しました。後輩たちも最後まで向上心を持って卒業論文等に頑張りました。

移籍先でもゼミは情報処理実習室を利用し、卒業論文を重視しています。皆さんの製本した卒論、準硬式のウィニングボールは貴重な思い出として研究室に飾っています。この秋は、かつて皆さんにも手伝って頂いた日本経営学会全国大会が同志社でも開催されたり、他の学会事務局の仕事で大忙しです。現在は、多国籍企業論・国際ビジネス論・情報処理実習などを担当し、木曜日には非常勤で経大に通っています。皆さんも、いつまでも向学心を持って経大〝魂〟を忘れずに頑張ってください。

近況報告

大橋範雄先生

改正派遣法が6月末成立しましたが、衆議院調査局からドイツの派遣法の最近の成果を教えてほしいとのことで、3月に東京から3人が大学に訪ねてき、少しレクチャーをし、その後3月末に経大論集に発表した資料を送付したら、それが、内閣提出の参考資料として国会に提出されましたが、残念ながら法改正にはその趣旨は生かされませんでした。9月末には法律文化社から『派遣法の弾力化と派遣労働者の保護』を出版します。機会があったら読んでみて下さい。

イギリス・湖水地方を訪ねて

片山麻美子先生

今夏、研究分野であるイギリス・ロマン派の学会のため湖水地方に1週間程滞在した。学会中は朝7時半の散策（ワーズワスを偲んでの湖一周）から午前中の講演会、グループセミナー、午後は研究発表から夜9時までの2回目の講演会とスケジュールが毎日続く。内容は難しくて理解しづらいが、学会での質疑応答は厳しくもある反面、ユーモアも混えて議論を楽しむ雰囲気が感じられる。

会場近くでは澄んだ湖面にさざ波がたち、晩夏の陽ざしを受けてきらめいていた。木々の葉のざわめき、ゆったりとした雲の流れが疲れた心を解放してくれる。幾人かが詩の一節を愛唱してくれるなか、あらためてこの地方の自然の美しさにふれ詩人達に想いを馳せることができた。

あれやこれやと

久保田諄先生

今年5月に就職部長を交替して、やや気が楽になりました。不況のため、就職状況はかつてないほどに厳しくなり、「就職の良い経大」のイメージを保つためには、学校構成員の大きい自覚が必要であると共に、同窓会の絶大な後援が不可欠と思われます。

夏休みを利用して、ヨーロッパトルコ皆既日食を観測するためにトルコ共和国に出張しました。幸い快晴に恵まれて、素晴らしい太陽コロナを観測することが出来ました。トルコにはたくさんの日本企業が進出して活躍していますが、ホテルや商店での支払いにトルコリラや円よりも、ドルを欲しがられるのはちょっと残念です。後期

の授業では宇宙科学だけでなく、トルコ事情も話そうと思います。

最近の職業会計人

鯉田勝巳先生

卒業生の皆様、お元気で活動されているものと想像しております。私も65歳となりましたが、相変らず昼は職業会計士としていそがしくしております。今年4月1日開始事業年度より連結原則が、実質支配基準となり、実業界では子会社の整理がすすんでいます。キャッシュフロー計算書の様式も変わり、時価主義会計が導入され、退職給付会計も例外でなくなり、不足額を補充するのも大きな負担です。会計士に対する訴訟も地方公共団体の監査が可能となっていますが、慎重に対応して下さるようお願いしておきます。暇が出来ましたら一度連絡下さい。

TEL06-6374-2291
FAX06-6374-2265

近所の猫

田渕　進先生

向いの家に猫好きの人がいて家の中に1匹と外に7匹飼っている。この7匹は2年前ここらで生まれたもので、その頃からうろちょろしている。同じ親からでも真黒と白、トラ、ぶちなどいろいろの模様の猫である。猫はなき声がうるさい、糞が臭くて不潔だとかの苦情もある。私自身はかつて捨て猫を拾ってきたこともある方なので許容している。飼い主も捨て猫ながら避妊手術をしてもらったそうである。

めしどきになると台所にやってくる。足にすがりついて餌をねだるもの、靴下をひっぱって催促するものもいれば、外で静かに待っているものもいる。生まれつきの性格の違いは猫にもある。試験前になると学生にも性格の違いが現われてくる。

子どもと楽しく

高津芳則先生

教育学者の子どもは、どのような育ち方・成長をするのでしょうか。

教育学者は、職業上、他人の子どもの教育についてあれこれ言うものですから、自分の子どもの教育についても、ある程度話をするべきではないでしょうか。もちろん、子ども本人のプライバシーや利益を守りつつ。

ところが、なかなか語らない。どうもその背景には、受験競争の価値観にとらわれた「思い」があるようです。つまり子どものことを話すというのは、通学している学校名を語る、あるいは職業名を語ることと同義になっているのです。

では、私は?現在、息子6歳、娘1歳。

残力の不活性

高寺貞男先生

御陰様にて恙無く研究・教育を続けていますが、よわい古稀に達したせいか、最近では、「終わりの始まり」を自覚することしきりです。

よって、これまで難しいので、避けてきた問題の解明に取り組んでいますが、残力の不活性になやまされている此頃です。

私の三大ニュース

土居　充夫先生

今年、私には次のようなニュースがありました。

第1に、新設の『政治過程論』の講義を始めたこと。ネタはふんだんにあるのだけれど、それだけに消化不良になりがちでした。

第2に、インターネットを始めたこと。もともと国会議事録を居ながらにして見るのが目的であったが、Eメールのやりとりなど別の面で役立っているのが実感です。

第3に、私の属する研究会で、S・コールバーグ『マックス・ヴェーバーの比較歴史社会学』(ミネルヴァ書房)という翻訳書を5年かけて出したこと。

さて、皆さんにはどんなニュースがあったでしょうか。連絡お待ちしています。

ゼミ学生との共同研究

徳永　光俊先生

ゼミでは、何げない日用雑貨品をとりあげて、日本とアジアの関係を調べています。今までに耳かき・ビニール傘・花火をまとめました。次はハンバーガー・歯ブラシ。

学生たちと歩く・見る・聞くの共同調査は、楽しくもあり少々体力的にはしんどいです。最近はとくにコンピューターを使っての調査が有効で、学生たちはどんどんやっています。僕はついていけない。いずれ一冊の本にまとめるつもりですが、問題はカネ。学生たちの力量は大したものです。企画力・調査力・表現力などが共同研究の過程で、着実についていってるのがわかります。何よりも僕自身が最前線の研究をしていなければ、教師だと威張っていても、すぐに見抜かれます。ガンバロウ!

お元気ですか

中川　操先生

今年もスポーケン市でこの原稿を書いています。スポーケンで学んでいたゼミ卒生も6月から留学している杉岡武優君1人となりました。来年は雲田君が留学予定をたてています。私も2000年4月1日から1年間在外研究生としてアメリカに滞在予定です。ゼミ第1期生の旅行に同行した次女の美典が2年前に結婚し、8月6日にスポーケン市で男子を出産しました。丁度私もスポーケン市滞在中で、アメリカの医療と英語を学ぶ機会が与えられて喜んでいます。育児用品の豊かさ、男性の育児への関心の深さにアメリカの別の文化に触れた気がしました。

2000年4月1日からのアメリカの滞在先は左記の通りです。遊びに来て下さい。

Misao Nakagawa:S.5416 Qunil Ridge Cin.Spokune.WA.99223. U.S.A.(509)448-2853

来年は内地留学

永野　仁先生

来春(2000年)3月、『岸和田市史』第三巻(近世編)が出ます。私は文化・教育・宗教を書いています。だんじり祭・狂歌紀行・連歌・俳諧・『本朝食鑑』『本草綱目啓蒙』の版行などが主な内容です。三十余年にわたる調査研究によるものです。狂歌や俳諧は解釈を添えて、一般読者に分かるようにしました。

2000年度、天理大学に内地留学させていただきます。俳書原本を存分に読みます。一生に一度の機会だから、健康に留意して十分に研究したいと思っています。

趣味の方ではジャズ好きと写真好きがますます嵩じています。

ゼミ同窓生の皆さん、一度あつまりませんか。

林ゼミ卒業生の諸君へ

林　遵先生

本年度のゼミは4年生19名、3年生15名、2年生12名の計46名です。

ゼミ・テーマは相変わらず日本経済でやっていますが、卒論テーマを含めて内容が年々少しずつ入れ替わっています。今年は金融ビッグバンの当たり年のようで、小生も勉強させて頂いてます。

夏期合宿は今年も2、3年次合同でセミナーハウスで行います。

例によってテーマは自由ですが、女子学生にも配慮するように言いました。ここにも少し変化がありました。

近況をお知らせ下さい。引き続きOB名簿を作成中です。

諸君と再会できる日を楽しみにしています。

御活躍を祈念します。

jhayashi @osaka-ue.ac.jp

私の近況

松岡憲司先生

松岡ゼミ卒業生の皆様、お元気でご活躍のことと存じます。

さて私、この3月に長年お世話になった大阪経済大学を退職いたしました。4月より京都・伏見の龍谷大学経済学部に勤務いたしております。

しかし経大でも授業をやらさせていただいております。毎週火曜は経大におりますので、お仕事などで近くにおいでの節は非常勤講師控え室を覗いてみて下さい。

ところで、世は相変わらずインターネット花盛りですが、松岡ゼミでもホームページを開設いたしております。卒業生のページも用意いたしておりますので、ふるって投稿してくださいますようお願いいたします。アドレスはhttp://www.osaka-ue.ac.jp/zemi/matuoka/index-j.htmです。まだ不十分な内容ですが、一度覗いてみて下さい。投稿はmatuoka@osaka-ue.ac.jpまでお送り下さい。皆様の近況をお送りいただくのを楽しみにいたしております。

ゼミ同窓会をどうしましょう

松村　文武先生

最近のゼミは中国人留学生御用たしの観を呈しています。私個人としての戦前への償いの意味も含め熱を入れて教育しています。次に昨年予告した著書「国産化の経済分析」は予定通り98年12月に岩波書店より発刊されました。私の代表作の1つとなるものです。

さてゼミ全体の同窓会(両道会)の初会合を2001年11月3日(文化の日)に開催しましょうかと

いう呼びかけを今年のお正月から始めました。ぽちぽちと反応が出てきておりますが、もうしばらく様子を見て、その是非を決定致しましょう。多分、来年のこの記事にその結果をお知らせすることになると思います。

引き続き開催への希望やボランティアの可能性についてもお聞かせ下さい。

映像操作も身近なものに

松本良治先生

今年の夏は本の原稿書きに費やしました。「情報ネットワーク論」というタイトルでオーム社から年内に刊行予定です。情報通信全般にわたって書いていますので、一般の方々にも読んでいただけたらと思っています。

最近、新しいマシンを入れてビデオのノンリニア編集を試しています。図やイラスト入りの文書作成が素人でも簡単にできるようになったのと同じように、専門家並の映像操作も身近なものになってきた訳です。

教材をはじめ、いろんな情報の見せ方がこれから益々大事になるでしょう。

ヨーロッパの教養人と外国語

六浦英文先生

ドイツ語圏の歴史家で、語学の才能に恵まれていたゴーロ・マンは、『回想と思索』の中で、高校卒業資格試験を終えた者に、こう助言しています。「何も決まっていない場合でも、ひとまず何かを始めるべきです。進路の変更はいつでもできます。」そして次に、英語以外に「少なくとも2つの外国語を学んで欲しい。」なぜなら「外国語を身につけると、自分に自信が持てるうえに、局地的なものの考え方から脱却できる」からだ、と。

マンは70歳になってもなお新たに、ある外国語を学ぼうとしました。以下は、マンの愛唱詩です。

「君が
新しい言葉を学ぶたびに
君の中に眠っていた精神が
また1つひらかれる」(F・R)

不況にめげずに頑張ってください

山田文明先生

戦後最悪の不況の中で必死に頑張っていることと思います。この時をチャンスと思う人もあれば、絶望の淵に立たされた思いの人もいるでしょう。長い人生にはいろんな時があるものと達観し、38歳で始めて給料を手にした男のゼミ生であることをしっかりと自覚し、自信を持ってください。

今年度前半は短期国内留学で、神戸大学の経済・経営研究所にお世話になっています。9月には戻っています。卒業後、いろんな経験をしていることと思います。その経験や一身上の変化などを手紙や電話、あるいはEメールでぜひご連絡ください。

bunmei@osk.3web.ne.jp

御礼と近況

山本晴義先生

この3月をもって長年喜びも悲しみも共にしてまいりました本学の教壇から引退いたしました。この間、とくに学長在任中ご支援下さいました同窓会の皆様に厚く御礼申し上げます。4月にはアルカイックホールにて小谷芳男尼崎支部長、萩原市郎会長、磯野斉前会長、水納敏也事務局長はじめ皆様より、総会の席上、名誉教授就任のお祝いの席をもうけていただきました。胸がいっぱいになり、この私が何も話せませんでした。

目下、かねてより依頼されています「アメリカ社会思想史」の執筆や講演などで結構忙しくしております。学生諸君と会えないのがさびしいですが、非力ながら評議員として何かお役に立てればと思っています。

自問自答「ゼミ」に何を求めるか

吉井 康雄先生

ゼミの目的は何かということを常に自問自答しています。「学生が経営学分野の専門的知識を活用して、目的達成にむけて期待されるものを創造していく、あるいは、問題解決にむけて自律的に対処していく、そのような能力を身につけさせる」ゼミ、然らば、「経営学部卒生は社会からどのような能力を身につけていると期待されているだろうか」これが私の自問自答の1つです。今1つ、インターンシップ制度を意義あるものにするためには、学生の職業意識を高めるような専門的知識の滋養と応用能力の向上が必要では、という自問自答です。そのようなことを考えながら、学生にマーケティング・リサーチ能力を身につけさせようと努力している昨今です。

ゼミOB会

井上清壽会文化サロン

清壽会

第27回文化サロンは4月4日、井上清先生もご参加され、久し振りに教え子たちが集まった。

この日は桜日和の中を、桜之宮公園を散策する。散策後、藤田美術館で「物見遊山の器」展を鑑賞した後、太閤園の庭園でも桜狩をし、夕刻には旧交を温めながら宴会を盛上げた。

桜之宮公園を散策

参加者も年々歳を食っているが、井上清先生だけはすごくお元気で、桜之宮公園の散策でも一番お元気であった。

(酒井亮介)

松村ゼミ同窓会

松村幸一ゼミOB会

卒業してから何度目の同窓会になるのか覚えておられる方もおりませんが、今年も恒例の松村ゼミ同窓会が、6月26日梅田の鳥よし茶屋にて開かれました。小雨の降る中10名が参加いたしました。

恒例の松村幸一ゼミ同窓会

毎年先生からの経大のテレフォンカードのプレゼントで会は始まります。仕事の話、子どもの相談事等話題は尽きることなく松村先生を囲んでの楽しいひとときは、あっという間に過ぎ来年の再会を約束して帰路につきました。

最後になりましたが、毎回同窓会名簿の作成を先生にお願いしておりますがいつも快く引き受けていただき感謝いたしております。

(仲(森) 美知子)

中村九一郎先生を偲ぶ会・散骨式

九一会(中村九一郎ゼミOB会)

99年4月11日故中村九一郎先生の永眠の地、敦賀で先生を偲ぶ会・散骨式がゼミ生を中心に29人参加して行われた。敦賀駅に10時に集合、水戸天狗党で有名な武田耕雲斎の墓のある「来迎寺」の桜の見える中村家の墓前で、小山由彦氏(29回)の読経のもと先生を偲んだ。その後、遙か中国につながる敦賀湾の海上、献花と散骨式を行った。それまで、風が強く小波があったが、先生のお人柄のように式の間だけは波穏やかで陽光がさしていた。終了後、敦賀駅前の「矢部海商」で「九一会」の総会を兼ね「偲ぶ会」を行った。席上、各人が先生の想い出を語り、先生亡き後も「九一会」を続けることを誓い、時代や人生の違いはあるが先生への想いは、共通し生き続けていると確認し合った。

(中村惠信)

「来迎寺」の中村家の墓前で九一会

先生の近況

私の近況

井手經三先生

専任教授の定年が93年3月3日、特任教授を96年3月まで勤め、名誉教授の称号を頂いてから3年余を経大への出勤のない期間として過しました。

その間、世間でよく言われるように暇をもてあますと言うようなことは全くなく、外出せず家に居る日が1週間続くことは全くないと言えます。

現在、豊中市社会福祉協議会の広報部会で年6回の広報紙刊行に携わっているのが外出要件の一つ。私の母校を含む旧制高校の仲間でやっている関西寮歌振興会合唱団の練習と各種目への参加が1つ。合唱団の母体である振興会などで開催する寮歌祭への参加、私の母校（中・高・大）や経大の同窓会の諸行事への参加もあり多忙です。

本と歌と自転車

井上　清先生

81歳になった私の諸君への近況報告には、次の3つを抜きにすることはできません。第1に書物・読書は〝商売柄〟当然のことですが、今は専門外を含めて乱読しています。次に歌唱をはじめて10年、レパートリー200曲を超え、精神的安定・若返りを図っています。皆さん名曲―海その愛、乾杯、昴、喝采、襟裳岬、さとうきび畑、群青等々を歌って下さい。健康にもよく人生を豊かにするでしょう。最後に自転車＝サイクリングは、自宅近くの武庫川河川敷公園内に設けられたサイクリング・ロード（片道7㎞）に恵まれ、雨天でない限り、自宅より往復15キロを走って6年になり、「継続は力なり」で体力を維持し、とくに足腰の老化を防いでいます。

新しい学校を

末永隆甫先生

私は最近、ますます視力が落ちて、この文章も殆んど「勘」に頼って書いています。考えてみますと、私が大経大を退任するまでの約10数年間、心のどこかに何か穴が開いているような気がしていました。

それが何かは在職中気付かなかったのですが、今になってみると、それが「優れた学歌」のないことだと気付きました。魅力のある大学には学生たち（また先生も）が心から感激して大声で歌える「学歌」があります。大阪経大にはそれがない。もちろん「学歌」だけがすべてではありません。基本的には深い研究に支えられた優れた教育が重要なのは当然ですが、「魅力ある学歌」に象徴される学園の活況が必要だと考えます。今からでも遅くない、受験生が増える程「魅力的な学歌」を。

写真集出版のこと

竹村祐吉先生

OBの皆さん御元気で頑張っておられることと思います。私も毎日老化を愚痴りながら何とか元気でいます。今年3月最近5年間に撮り溜めた京都・奈良を中心とした写真の中から100点を選んで、写真集「春夏秋冬」を自費出版しました。さらにこの中から38点を選んで、6月中、下旬に京都祇園の「西利ぎゃらりー」で写真展をしました。次は信州の写真集を出版する予定です。

このように退職後は毎日写真を撮り、絵を描いて過していますが、それがどの程度の仕事なのかその一端を是非写真集でみて頂ければ幸いです。（写真集は大経大図書館にもありますし、なお御希望があればお頒ち致します。）どうか皆さん元気で頑張って下さい。

先生の近況

ゼミOBコンパ

伊豫田隆俊先生

去る7月24日（土）伊豫田ゼミOB（94年卒）の皆さんとコンパを行ないました。経大での私の最後のゼミ生ですが、良い意味で学生時代と少しも変わっておらず、本当に楽しい時間を過すことができました。折りからの不況のなか、それなりに大変なこともたくさんあるんでしょうが、元気そうな顔を拝見できて、ひとまず安心しました。かつての教え子とはいえ、今や皆さん立派な社会人で、こちらの方も色々なことを教えられます。人生という土俵のうえでは、教師も生徒もなく、ただ人としてのつながりこそが大事だということを改めて痛感しています。次の新たな再会を期待していますので、またご連絡下さい。お待ちしています。

訃報

黒正光様を偲んで

大阪経済大学（旧昭和高商）の創立者、黒正先生の没後50年祭が去年9月3日、ホテル阪急インターナショナル4階「花風の間」で神事で営なまれ、参列させて頂きましたが、その時御奥様、みつ様とお久し振りに御挨拶させて頂きました。「少し身体の調子を崩しておりましたが良くなりました、でも足元が弱くなりました」とにこやかなお姿にお元気でいらっしゃるとお喜びしておりましたのにその半年も経たないうち、御訃報に接しますとは、信じられない驚きでございました。想い起しますと初めて御奥様、みつ様にお会いさせて頂きましたのは昭和20年の1月でした。黒正先生に親交させて頂いていた父と共に御自宅に伺わせて頂きましたが、先生の温かいお人柄と、その時頬笑みながら寄添っていらっしゃった御奥様、みつ様のお姿は、女学校卒業を目前に控えた乙女が呆然とするお美しさでした。傍わらで黒正先生にそっくり似ていらっしゃる御子息の清様と明様の走り廻っていらっしゃる可愛らしい姿がありました。

この時を御縁に卒業後の進路に迷っていました私も女子経済専門学校の受験を受け、昭和20年より3年間、親元を離れての学生生活を送ることとなりました。

昭和22年、大学昇格運動に先輩後輩の方々と当時第6高等学校の校長在任中でいらっしゃった黒正先生にお会いするため、岡山へ帰郷の時もみつ様と親しく接しさせて頂き、お変りなく、心優しく、そして、しっかりとしたお姿に再度、素晴しさを認識致しました。

5年前、11月3日の恒例の大学の同窓会に随分とお久しぶりにお会いしました時、「この子たち孫です」とお二人のお孫様達をご紹介下さいましたが、おばあちゃまとしてのお嬉しそうな表情と、「御一緒に」のお写真は私の手許に大切な想い出となりました。

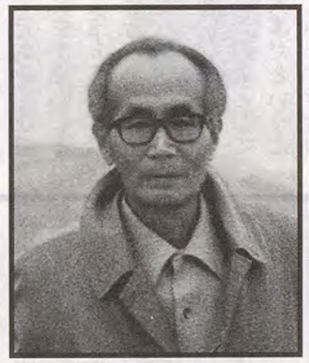
教育界のため、社会のために只、一途に一途に幾多の偉大な業績を築きあげられた、黒正巌先生の令夫人として、御主人様をささえていらっしゃった内助の御努力は、たいへんでいらっしゃったことと存じます。

そして黒正巌先生が亡くなられたあと、未だ幼かったお2人の御子息様もしっかりとお育てになって、御次男様の明様はお父様が創立なさった大阪経済大学で御立派に御活躍なさっていらっしゃり、その上、みつ様は大学の理事の立場として大学の発展に御盡力下さり、心より御尊敬申し上げる御一生で、いらっしゃいました。

今、夫、黒正巌先生の所におゆきになり、生前のお姿そのままに仲お睦じく遂きない、語らいをもっていらっしゃるのでございますでしょう。長い間、ありがとうございました。黒正巌先生と御一緒に私達の母校、大阪経済大学の末永い発展を何卒お守り下さいませ。やすらかに、やすらかにお眠り下さいます様、深くお祈り申し上げます。

上野満里子（14）

本学名誉教授
故倉辻平治先生を偲びて



突然、「澱江」の編集部から「倉辻先生の追悼文を書いてほしい」という電話があった。

「えっ！」一瞬絶句したが、「いつ亡くなられたのですか」と聞きかえすと、「今年の1月23日に…」「えっ…。」不肖の教え子は、かえす言葉を失った。

そういえば、一昨年の春頃、体調をくずされたとお聞きしたな。今年の年賀状に先生のお名前がなかったな。と、いまさらのように思い出し、お見舞一つしなかった後悔の臍を噛んだ。

このような私に、先生の追悼文を書く資格はないと思った。しかし、重ねて、ゼミのOB会である「倉春会」の世話人からの話であることを知らされ、思いなおして、先生への最初で最後のご恩返しとして筆を取った。

先生は、明治45年3月5日のお生まれで、享年86歳であった。

昭和10年大阪商科大学（現大阪市大）を卒業されて、東京市政調査会に入られ、その後、旧制彦根高商教授、大阪商大経済研究所研究員を歴任された。また、戦後の一時期、故郷の和歌山県で県立粉河中（旧制）粉河高校（新制）で教鞭を取られたことがある。

本学には、大学に昇格して間もない昭和24年5月に経済学部教授として着任された。

専攻科目は、「経済政策」で、そのゼミの一期生として私も来席に列なってお教えを受けたのが先生との出会であった。図書館長、体育館長、大学院長などの役職も務められ昭和57年3月に退職された。

先生は、その謦咳に接したすべての人が、ひとしく感じておられるように、その人柄は、まさに「篤実温厚」。いつも、穏やかな表情と静かな語り口で、温かく我々を指導していただいた。また、学問的には、常に「真理探究」の基本姿勢を終生貫かれた真摯な「学究の徒」であった。

そうした先生のお人柄と深い学識を慕ってそのゼミに多く学生が集まり、そのOB会「倉春会」も毎年、定例的に開催され、全国からOBが集まってきたのも当然の理であった。

私が、最後に先生にお会いしたそうした席で、珍らしく真釼な顔で、「牧田君、私は、この大学にお世話になって本当によかったと感謝しているよ。それは、私自身は、なんの特色もない教師だけど教え子のみなさんは、それぞれに立派に成長し、社会で活躍をしてくれている。そのうえ、このようにいつまでも私に対して温かく大事にしてくれている。私はいつも幸せ者だと思っている。」と言われた。

決して派手な言動はされず、地味ではあるがいつも教え子のことを心から気にかけていただいた先生。時には、そのうれしさを独逸語の歌に託して表現された先生。この文を書きながら、いま一度お会いしていろいろな話をしたかったという思いがまたこみあがってきた。昔の人がよく言った。「孝行したい時には親はなし。」という言葉をいま十二分に感じている。「会者定離、愛別離苦」は、人生の掟とはいいながら、改めていい知れぬ悲しみに耐えている。

いまはただ、亡き先生の安らかな永遠の眠りをひたすらにお祈りするのみである。

合掌

牧田安夫（19）

本学元教授
故久野　収先生を偲びて

「久野収氏逝去」のニュース報道の衝撃は、私達13回生の胸を電流のように貫き走った。私達にとってそれはあってはならないことであった。昨年秋、「久野収集」全五巻の出版と先生の88歳をお祝いするため伊豆の地に集まったが、先生は私達の差出す介添えの手を拂い除けられ、また愛情のこもったあの辛刺な舌鋒少しも衰えずで、私達は先生の凛とした自律ぶりに驚嘆したのも束の間、何の予告もなく忽然と私達の前から去って行かれた。

私達にとってこの強烈な個性の師との幸運な出会いは、戦時下、当時反戦運動のため検挙され、執行猶予中であった先生が、私達の工場動員の指導教官となられた時に始まる。先生は学生を守り、なんとか生き延びさせようと策を巡りし、労働条件の改善を工場側に説得し、各学生の事情に応じて周到な配置転換を行い、空爆被災者を見舞われた。ある時、学生の栄養補給に牛肉を食べさせようと、友人から牛一頭を買い、遠い夜道を一人で夜蔭に乗じて動かぬ牛をなだめなだめ追い帰られたという。なんともユーモラスな光景ではあるが、涙なくしては聞くことができなかった。これらの行動は、世に云う形而上学的なことのみだか、わりあう哲学者のイメージとはなんと異なったものであったか。そんな苦労の合間にも、少しの時間をみつけては、自分の読まれた本の内容や尊敬される人々の思想を話して下さり、「学問は、人間と違って、決して人を裏切ることはしないよ」と自分の思いを言外にこめて励まされ、私達の心を学校にひきとどめて下さった。

やがて敗戦となり、晴天白日の身となられた先生は、不遇時代に深く、沈潜して問い求められていたプラグマティズムの哲学を講義された。それは戦争をくい止められなかった日本の哲学界の脆弱さへの反省がこめられ、軍に知識を教える論壇哲学でなく、市民としてよく生きるためにどうすれば自己を確かなものにすることができるかを問う行動の哲学であった。自己の経験の大切さ、そこで起る問題を解決するために、広い知識を厳密な推理によって吟味検討する思考過程の重要さ、そこで得た仮設を現実の場で必ず検認しなければならないことを説かれた。それは自己を抑え、概論を避け、上からの決定に従うを善しとする私達の育った精神風土と鋭く対立するものであったから、私達は先生の講義を何か新しい知の地平が開かれる思いで聞いて、吸収していった。

戦後論壇に立たれた先生は、つとに生きる方向を決断されていた通り、生涯一度も富の禄をはむことなく、自由人哲学者として権力に抗する発言を続けられ、若い人々に交ってデモや座り込みにも参加された。その思想は膨大な著作の中に、憲法、自由、平和、能力、市民社会等々の創造的な基礎理論の展開となり、また文芸、スポーツに至る文化一般について、哲学本来の姿の対話や対談の形を復活させて、読み筋にあたかも議論に参加しているような楽しみ方を与えられた。これは先生のような博覧強記と長い射程の論理に従うことのできる強靱な思考力の持主にしかできないことであった。先生と最後にお話を交わした時、「僕がしてきたことで一番重要なことは、実践の場で市民哲学者としていかに行動してきたかということだ」と少し厳しい顔で云われた。その先生はもはやなく、私達はこの言葉を遺言としてどのように受け継いでいくことができるだろうか。

藤澤みほ子（13）

大経大生今昔（いまむかし）

CAMPUS キャンパスライフ LIFE

激しい社会の変化にともなって、
日本人の気質や価値観も大きく変わってきた。
昔から個性豊かな学生が多く集まった大経大だが、
学生たちの気質はどのように変わってきたのだろうか。
長年学生たちと接してきた3氏に、
比較分析をしていただくことにした。

「個性値」でサバイバルを

就職部長　蝦名政俊氏

経　歴
就職部に22年、総務部管財課4年、企画室で10年、本年5月から再び就職指導を担当しております。

就職当時の学生気質は

1960～1980年代は、大学の規模は2学部2学科でしたが、学業やクラブ活動に、また遊びにおいても青春の血をたぎらせた活発な学生が多かったですね。何よりも自分に自信を持っていました。

「オレは国立大学を蹴った。オレは関○大に合格したけど経大に来た。その理由は経大が良いからだ。」

また、就職に際しても、自分なりに業界研究・企業研究をよくしており、就職部員と激論を戦わせる、元気あふれる個性豊かな学生達でした。

4回生になると卒業後の進路をはっきり持っており、卒業予定者の95％前後は就職希望でした。

最近の学生について

この度、就職部に来て驚いたことは、卒業後の進路が実に多様化していることです。

ここ数年、就職希望率が70％前後で推移しています。10数年前までは考えられないことです。

この現象は、やはり経済環境の厳しさから、企業への就職に対する拒否反応もあるのではないかと思われます。卒業後資格取得のためダブルスクールへ入学する、公務員を志望し卒業後再度チャレンジするなど相当数います。

心配の最たるものは、熱心に就職活動をせず、なんとなく卒業し、アルバイトの継続やフリーターをする卒業生が意外に多いことです。大学として入学後1回生から3回生までに、卒業後の進路について考える機会を是非設けたいと考えています。

それから学生の体格が立派になったこと。しかしそれに反比例して若者らしい覇気が感じられないのが実に残念です。

経大生の特色

経大生は地味で、派手なところはないが、入社後3～4年経つとその職場になくてはならない堅実型が多い。これが企業採用担当者の評価です。この伝統は先輩がた諸兄諸姉の活躍のお陰によって、現在も引き継がれています。

今日の厳しい就職環境にあって、大規模大学に次ぐ内定率を維持しているのも、社会の各分野で活躍しておられる同窓生のご支援があるからです。

去る6月26日の産経新聞「正論」（丹羽　健夫　河合塾進学教育本部長）に取り上げられたように、「比較的入りやすく、入学後も安心できる個性ある大学」として評価されています。

私達は、この伝統を継承し、より発展させる努力を今やらなければなりません。

これからの学生に望むこと

大学受験時にはいろいろな悩みを超えて、大学に入学されたと思う。しかし、経大生になったからには過去のネガティブな事柄はスッパリと捨てて、新たな自己形成に取り組んでいただきたい。諦めや萎縮することなく、意義ある学生生活を送るよう望みたい。今日、日本の社会・経済・企業環境は、大変革の渦中にあります。雇用動向も厳しさを増しており、当然のことながら大卒の採用基準も高くなっています。

今後、景気が回復しても大卒の採用が、急増するとは思いません。企業の大卒採用は小数厳選採用がいっそう強まっています。特に優良企業にあっては、応募者が採用数の数百倍にもなるため、1次試験では基礎学力を問う、筆記試験を課す企業が大半です。この第1次関門を突破しなければ次の面接まで辿り着けません。そして面接では、「あなたは大学で何を学び、何ができますか。」と問われます。

これからの企業・社会が求める、スキルを備えた個性豊かな人物を目指して、学生自身が頑張ってもらわなければならないのです。いわゆる実力のある学生には、就職難はないと言えます。

大学としても全面的な支援体制を着々と進めています。

学生への就職支援

1997年、いわゆる「就職協定」が廃止されてから、企業の採用活動は年々早まり、昨年は3回生の就職セミナーを10月から始めました。今年は第1回就職セミナーを1カ月早めて9月から開始しました。

9月から来年の3月までは、就

同窓生への図書館サービス

同窓生の皆様は、無料で図書館を利用することができます。ご来館の際に利用証（OKUSUカード）を発行致しますので、必ず住所の確認できるもの（運転免許証、健康保険証等）をご持参ください。

●利用できるサービス

図書の貸出…5冊　30日
語学テープの貸出…1セット　14日
資料の閲覧・複写
図書の予約
AVブース（レーザーディスク・ビデオ）の利用
相互利用…他大学の資料を手に入れたい時
CD-ROM（新聞検索・雑誌記事索引等）の利用

ご質問等ございましたら、図書館　閲覧課（06-6328-2431）迄ご連絡下さい。
また、ホームページ（http://www.osaka-ue.ac.jp/tosyokan/）も開設しておりますので、ご覧下さい。

職支援行事と企業開拓などで息つく間もない状態が続きます。以下が主な行事です。

ゼミ別就職説明会（2週間）
就職セミナー（5回・外部講師）
適正検査・SPI・論作文模擬テスト
SPI対策講座
学内企業セミナー（3週間）
企業開拓（10月～3月）
就職個別相談などです。

就職指導では、「自分を積極的に売り込め」と言います。しかし売り込む中身が乏しければ、何十社、何百社受験しても良い結果は望めません。

学生自身の努力は勿論ですが、大学としての最善の就職支援は、「基礎学力＋個性値」を備えた学生を育成することに尽きると思います。

同窓生へのお礼

OBの皆さんには、日頃から後輩の就職について多くのご支援をいただいており、本当に感謝しております。

本年6月、同窓会理事会にお招きいただいた際、理事の皆さんから激励と心強いご支援を頂戴し、ありがとうございました。母校の発展と後輩を思う諸先輩の激励になんとしてもお応えしなければと心に誓った次第です。

後輩達が企業訪問やOB訪問の時には、お忙しいことと思いますがご指導の程宜しくお願いします。

学生部課長　藤原武人氏

経歴
ちょうど今から34年前に大阪経済大学に就職しまして、教務部、人事課、学生部、就職部、中小企業経営研究所と異動し、現在は学生部に所属しています。今年で三年目になります。

何事も自分で考え行動できる人間になって欲しい

昔の学生と最近の学生で違いを感じる点は

クラブ活動では、昔は先輩に絶対服従でした。つまり4回生と1回生の間には、ハッキリとした上下関係が存在したわけです。それに比べて今はボーダレスというか、先輩と後輩の境界線が見えにくくなってきたように思います。良い意味で言えば、民主的になってきたと言えますが、問題はマナーや社会的ルールを守るという点では、昔の学生の方がきちんとしていたようです。

これについては、クラブ活動に限らず、一般学生にも同じことが言えます。今の学生は、挨拶をしない者が多いですし、またきちんとした受け答えもできなくなってきているようです。

経大生の特色

全体としては真面目で、おとなしいという印象を受けます。これは他大学の学生にも言えるのではないでしょうか。中には積極的で、自分の意見を持った学生もいます。特に書評誌『本の虫』等を読んでいますと、内容もしっかりしていて優秀だと思います。ですから、上位層とそうでない学生との差が大きいのではないでしょうか？

これからの学生について

今の学生には、何事も自分で考え、行動できるようになってほしいと思います。最近は「自分で考え、行動する。」ということがなくなっているようです。言われたことしかしない、言われてもしないようでは、問題ですね。

また企業でも、最近の新入社員はマナーやルールを守らないので、困っているそうです。

私もできるだけ学生に対してアドバイスをしていきたいと思います。

エピソード

学生部ではエピソードというほどのものはないのですが、一つ挙げるとするとこんなことがありました。

毎年10月末から11月初めにかけて大学祭を行っているのですが、その時に近隣住民の皆様にお菓子引換券付の招待状を1500部配布しております。というのも、日頃から近隣住民の方には、いろいろとご迷惑をおかけしております。またお世話にもなっておりますので、お詫びと感謝の気持ちで招待状を配布しております。

大学祭当日、受付で実行委員会の学生が、引換券と交換にお菓子を渡すことになっています。ところが、昨年は引換券無しで子供にお菓子を渡したため、途中でお菓子がなくなってしまいました。慌ててお菓子を追加注文し、何とかやりくりして事無きを得ました。後で学生に聞きますと、小さい子供がお菓子をもらいに来るので、渡さざるを得なかったと頭を掻いていました。

学生へのサービス

現在、全学生に対しては、学生証を磁気カードに切り替え、種々のサービスを提供できるように致しました。例えば、学割・在学証明書を自動発行機で発行するサービスを行っております。

さらに、With you（面談室）は、悩みを聞くカウンセリングルームです。特に女子学生の相談のために学生部事務室の奥に面談室を設けました。

また、クラブ活動に対しては、優秀な成績を修めたクラブには、学長から表彰状が授与されることになりました。

来年は、就職活動で必要になってくる健康診断書についても自動発行機で発行ができるように致します。

同窓生との関係

10年ほど前に、学生の就職をお世話していた関係で、同窓生とは親しくさせていただいています。例えば、同窓生の結婚式に招待を受け、喜んで出席したこともあります。このように、同窓生とは人間的なつながりもあります。

同窓生へサービス

学生部としては、同窓生へのサービスはどうでしょうね。強いて言えば、同窓会総会・支部総会へ出席し、情報交換をさせていただいております。

むしろ、サービスを提供するというよりも、クラブの監督やコーチの方に、ボランティアでご指導していただいておりますので、逆にこちらの方がお世話になっております。

これから拡充していきたいサービス

学生部としてはいろいろありますが、第1に学生相談室（カウンセリング）ですね。学生相談に来る学生が少なくなって困っております。不安や悩みを持った学生は多いようですが…。ですから、もっと学生が来談するように学生相談室体制を整備していきたいと考えています。実際、関西大学では、相談体制を整備したところ、相談者が大幅に増加したそうです。

第2にきめ細やかな学生指導ですね。「1人ひとりの学生を大切にする」という信念を持って指導していきたいと思います。第3に学生への適切な情報提供を考えております。これについては、特に窓口サービスの改善を考えております。やはり学生を指導するにしても、人間関係が確立しないと、うまくいきませんね。そのあたりを考慮して、指導をしていきたいと思います。

第4に奨学金やアルバイト・下宿情報などの学生生活支援等を充実させていきたいと考えております。

同窓生へ一言

今後もクラブ活動へのご指導ご協力をお願い致します。

教務部課長補佐　内藤幸雄氏

厳しいときだからこそ中身のある大学生活を

経歴
管財課に約20年いました。その後、学生部に8年ほど、教務部に移って4年目になります。

就職された当時の学生について

その頃は学生運動が活発で「大学紛争」の時代でした。経大では1969年に紛争が発生しました。時代背景もありましたが、当時の学生は、セクトに入っていなくても純粋に大学を良くしていこう、改革していこうという意識が強かったように思います。今とはだいぶ状況が違います。

最近の学生について

全体的な印象としては、優しいという印象をうけます。礼儀正しい面も見受けます。反面、カウンターで話していても自己主張をあまりしないということは感じますね。

ですから彼等に望みたいこととして、もっと大学への要望や、クレーム等を色々言ってきて欲しいと思います。

でないと大学というところは改まりません。

その意味でも、学生による授業評価など学生の声を聞くシステムが重要でしょうね。

それにしても、教務部にきて驚いたことがあります。担当業務として、オープンカレッジ（特殊講義、一般の方も参加）のお世話をしたのですが、大教室の講義ということもあるのでしょうが、あまりにも私語が多く、授業中に携帯電話は鳴らすはで、何のために授業に出ているのかと。これも最近の学生の風潮なのでしょう。

もっとも、レポートはきっちり出し、アンケートには「大変ためになった」などと書いていますので、それほど深刻に考えることもないのかもしれませんが。

これからの学生について

何よりも本務である勉学に精を出して欲しいと思いますが、ただ必要単位を取って卒業するというのでなく、それ以外にもいろいろと取り組んで欲しい。「資格」を取るのもいいし、本をたくさん読むのも良い。クラブ活動もあります。

要は自分の納得のいく学生生活を送り、いかに多くの付加価値を身に付けて社会に出ていくかですね。

大学としても、特色ある授業を数多く用意し、特別講義など授業以外の〝学習の場〟も提供するといったサポートが必要であろうと思います。

エピソード

毎年5月に1年次の取得単位が20単位未満の成績不振の学生を呼び出して、学習相談を行います。今年も250人ほどの該当者があり、50人ほどが相談にきました。

ある学生は、単位をほとんど取得していないので聞いてみると、ただ何となく学校には来ず、好きなバイクで全国をツーリングしていたとのことでした。

自分の意思で1年間をやりたいこと、好きなことをしたわけですから悪くはないですね。

因みにこの学生は、授業料は、子供の頃から貯めてきた貯金と、アルバイト収入でまかなっているとのことで、感心しましたが、2回生からはきっちりやりますという彼の言葉を信じたいと思います。

いろんな学生がいて、ぱっとみれば駄目なところが見えても、良く話してみると考えているんだなあと思うところも多いですね。

同窓生へ一言

我々教職員も同窓生の方々へ、様々なサービスを提供できるように努力していきたいと考えていますので、大学に対する要望など何なりとお寄せ下さい。

また、企業ではリストラなどご苦労が多いことと思いますが、がんばっていただきたいと思います。

新しい学生サービス

現在、教務部で担当しているものに資格講座があります。「英検2級」「情報処理2級」の2講座ですが、来年2月よりこれに「税理士」が加わります。もっといろんな講座を増やして多くの学生が参加するようムードを盛り上げていきたいと思います。

その他、来年度からは、パソコンによる履修登録や、休講案内の電子化なども検討中です。

同窓生へのサービス

リカレント教育、生涯教育という視点から、将来的には、出来るだけ早い時期に、同窓生や地域の方も受け入れられるようなエクステンション講座を提供できればと考えています。

尚、現在は科目等履修生聴講生の制度がありますので、機会があれば、ぜひ母校で学んでください。同窓生の場合、検定料は無料、聴講料及び履修料は半額になります。

又、各種証明書の発行は郵送でも受け付けていますのでご利用ください。

資格取得

資格講座ガイド

教務部と生協のそれぞれの主催講座により資格取得を側面からバックアップする体制になっています。

●教務部主催講座

[英検2級対策講座]

[情報処理2種総合講座]

[税理士受験講座]

簿記論	財務諸表論

●生協主催講座

[TOEIC講座]

500点コース	650点コース

[TOEIC学内試験]

[漢考(HSK)試験]

教職課程

取得できる教員免許は、
「高等学校教諭一種免許状」の場合は、
①地理歴史　②公民　③商業
「中学校教諭一種免許状」の場合は、
①社会　②職業です。

●免許状の種類と免許教科

学部学科	中学校教諭一種免許状
経済学部経済学科	社会・職業
経営学部経営学科	社会・職業
経営情報学部経営情報学科	社会
学部学科	高等学校教諭一種免許状
経済学部経済学科	地理歴史・公民・商業
経営学部経営学科	地理歴史・公民・商業
経営情報学部経営情報学科	公民・商業
研究科	中学校教諭専修免許状
大学院経済学研究科	社会・職業
研究科	高等学校教諭専修免許状
大学院経済学研究科	地理歴史・公民・商業

UNIVERSITY NEWS

学園だより◎学園ニュース

入試

1999年度入試結果

◎1999年度推薦入学選考結果

1998年11月13日(金)に特技(スポーツ)推薦を、12月6日(日)に普通科・商業科推薦を実施しました。結果は次頁の表の通りです。

◎1999年度一般入試結果

【全般的な入試環境】

1999年度入試は長引く景気低迷のあおりを受け、以前にも増して、受験生に経済的・心理的な影響を及ぼした入試のようでした。「国公立大学志向」「併願校数の絞り込み」「地元志向」「文低理高傾向」が一層顕著に現れました。また、一般入試が易化するにつれて、年々受験生の出願の出足が緩慢になってきていることや、浪人生の減少が著しかったことも本年度の入試の特徴かと思われます。依然として、経済・経営学部系統への不人気が続いている厳しい状況の中、1999年度の入学試験を実施いたしました。

【志願者・合格者状況と倍率】

一般入試・推薦入試の志願者総数は前年度よりも2，299名(△20・6%)減少し8，865名でした。3年連続して20%を越える大幅な減少となりました。

一般入試の志願者総数は、第1部では2，235名(△22・1%)減少し7，895名、第2部では75名(△14・4%)減少し446名となりました。

一般入試を方式別に検証しますと、A方式(英語1教科)入試の志願者数は、795名で102名(△11・4%)減少し、合格者数は365名で140名(+62・2%)増加しました。志願者が減少し、合格者が増加したので、倍率は4・0→2・2倍へ下がりました。

B方式(3教科)入試の志願者数は、第1部が4，976名で1，949名(△28・1%)減少し、第2部も336名で185名(△35・5%)減少しました。第1部の合格者数は、1，773名で517名(△22・6%)減少し、倍率は2・9→2・7倍と少し低くなりました。第2部の合格者数は251名で137名(△35・3%)減少し、倍率は1・2→1・3倍と少し高くなりました。

C方式(2教科)入試の志願者数は、第1部が1，294名で209名(△13・9%)減少し、合格者数は168名で86名(△33・9%)減少しました。倍率は5・6→7・4倍とやや高くなりました。なお、第2部の募集は本年度より実施し、志願者数は110名、合格者数は73名で、倍率は1・4倍になりました。

大学入試センター試験利用の志願者数は、830名で25名(+3・1%)増加し、合格者数は423名で45名(△9・6%)減少しました。志願者数が増え、合格者数が減りましたので、倍率は1・7→2・0倍と少し高くなりました。

【現役・浪人別状況】

第1部の現役志願者数は前年度の6，593名→5，861名へ減少しましたが、現役占有率は65・1%→74・2%(+9・1%)へ上がりました。また、現役合格者数は前年度の1，880名→1，904名へ増加し、現役占有率も58・1%→69・8%(+11・7%)へ上昇しました。第1部の現役占有率を方式別に検証しますと、A方式の志願者段階では80・1%(+5・2%)に増加し、合格者段階でも77・5%(+8・6%)に増加しました。

B方式でも、志願者では74・0%(+9・8%)に増加し、合格者では69・7%(+12・6%)と大幅に増加しました。

C方式の志願者では70・7%(+7・3%)に増加し、合格者でも64・3%(+2・9%)に増加しました。センター試験の志願者では75・5%(+10・9%)と大幅に増加し、合格者でも65・7%(+9・9%)と増加しました。

また、第1部の現役合格率は前年度の29・4%→33・8%(+4・4%)となり、現役生の約3人に1人が合格を勝ち取ったと言えましょう。近年の現役合格率と現役占有率の高まりから、現役生の健闘ぶりと浪人生の減少に拍車がかかっていることがうかがえます。

【女子受験生について】

第1部の女子志願者数は前年度の917名→748名へ減少しましたが、女子占有率は9・1%→9・5%(+0・4%)へ上昇しました。また、女子の合格率は前年度の49・2%→49・0%(△0・2%)と、前年度と同様に高い合格率を保っています。

つぎに、推薦入試も含めた入学者段階の女子占有率を前年度と比較しますと、経済学部が11・6%→10・0%、経営学部が17・9%→18・5%、経営情報学部が23・3%→26・3%と、経営学部・経営情報学部での占有率が高くなっていることがうかがえます。

女子の4年生大学への進学率の高まりとともに、「実学志向」「資格志向」「就職を意識した大学選び」等が学習に対する動機づけとなり、地道に努力した結果、高い合格率に結び付いていると思われます。

A方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率	合格最低点(200点満点)
経済	363 (22)	79 (4)	5 (0)	447 (26)	157 (12)	39 (3)	3 (0)	199 (15)	2.2	106
経営	156 (25)	35 (2)	1 (1)	192 (28)	75 (14)	17 (2)	0 (0)	92 (16)	2.1	101
経営情報	118 (27)	36 (1)	2 (0)	156 (28)	51 (13)	22 (1)	1 (0)	74 (14)	2.1	110
総合計	637 (74)	150 (7)	8 (1)	795 (82)	283 (39)	78 (6)	4 (0)	365 (45)	2.2	–

B方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率	合格最低点(400点満点)
経済	1692 (99)	519 (9)	14 (0)	2225 (108)	543 (44)	219 (5)	3 (0)	765 (49)	2.9	219
経営	1219 (157)	468 (17)	13 (1)	1700 (175)	419 (79)	201 (8)	7 (1)	627 (88)	2.7	228
経営情報	771 (160)	274 (8)	6 (0)	1051 (168)	273 (73)	108 (6)	0 (0)	381 (79)	2.8	238
総合計	3682 (416)	1261 (34)	33 (1)	4976 (451)	1235 (196)	528 (19)	10 (1)	1773 (216)	2.8	–

B方式入試　志願者・合格者状況(第2部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率	合格最低点(400点満点)
経済	87 (5)	82 (2)	5 (0)	174 (7)	59 (4)	69 (2)	4 (0)	132 (6)	1.3	140
経営	71 (4)	84 (0)	7 (0)	162 (4)	48 (4)	64 (0)	7 (0)	119 (4)	1.4	140
総合計	158 (9)	166 (2)	12 (0)	336 (11)	107 (8)	133 (2)	11 (0)	251 (10)	1.3	–

C方式入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率	合格最低点(200点満点)
経済	389 (33)	172 (4)	8 (0)	569 (37)	54 (7)	30 (3)	1 (0)	85 (10)	6.7	140
経営	316 (30)	109 (7)	4 (0)	429 (37)	40 (9)	14 (1)	0 (0)	54 (10)	7.9	142
経営情報	210 (21)	82 (5)	4 (0)	296 (26)	14 (4)	14 (0)	1 (0)	29 (4)	10.2	152
総合計	915 (84)	363 (16)	16 (0)	1,294 (100)	108 (20)	58 (4)	2 (0)	168 (24)	7.7	–

C方式入試　志願者・合格者状況(第2部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率	合格最低点(200点満点)
経済	25 (1)	25 (1)	3 (0)	53 (2)	18 (1)	16 (0)	2 (0)	36 (1)	1.5	85
経営	30 (2)	26 (0)	1 (0)	57 (2)	18 (2)	18 (0)	1 (0)	37 (2)	1.5	81
総合計	55 (3)	51 (1)	4 (0)	110 (4)	36 (3)	34 (0)	3 (0)	73 (3)	1.5	–

センター試験利用入試　志願者・合格者状況(第1部)　(　)は女子内数

学部	志願者 現役	浪人	その他	合計	合格者 現役	浪人	その他	合計	倍率
経済	300 (30)	105 (5)	1 (0)	406 (35)	129 (19)	71 (3)	1 (0)	201 (22)	2.0
経営	184 (41)	57 (4)	0 (0)	241 (45)	87 (24)	42 (3)	0 (0)	129 (27)	1.9
経営情報	143 (32)	39 (3)	1 (0)	183 (35)	62 (15)	31 (2)	0 (0)	93 (17)	2.0
総合計	627 (103)	201 (12)	2 (0)	830 (115)	278 (58)	144 (8)	1 (0)	423 (66)	2.0

1999年度推薦入学選考結果　(　)は女子内数

推薦種別	学部	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
特技	経済1部	70(0)	69(0)	40(0)	39(0)
	経営1部	39(0)	39(0)	24(0)	24(0)
	経営情報	14(0)	14(0)	6(0)	6(0)
	合計	123(0)	122(0)	70(0)	69(0)
普通科対象	経済1部	149(28)	149(28)	149(28)	149(28)
	経営1部	57(11)	57(11)	57(11)	57(11)
	経営情報	71(32)	71(32)	71(32)	71(32)
	合計	277(71)	277(71)	277(71)	277(71)
商業科対象	経済1部	32(12)	29(12)	28(12)	28(12)
	経営1部	53(23)	51(21)	51(21)	51(21)
	経営情報	38(12)	36(12)	36(12)	36(12)
	経済2部	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	経営2部	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)
	合計	124(47)	117(45)	116(45)	116(45)
総合計	経済1部	251(40)	247(40)	217(40)	216(40)
	経営1部	149(34)	147(32)	132(32)	132(32)
	経営情報	123(44)	121(44)	113(44)	113(44)
	経済2部	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	経営2部	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)
	合計	524(118)	516(116)	463(116)	462(116)

2000年度入学試験概要

◎2000年度入試制度の変更点

推薦入試

①公募推薦入試を導入

併願が可能で、1浪まで受験できます。

◆基礎素養検査（200点）

◆調査書（100点）

◆両方の総合点で判定。

②商業科・工業科・総合学科推薦入試を実施

従来よりも出願できる課程が広がりました。

評定平均値4・3→3・8になりました（第1部）。

③商業科指定校推薦を導入

出願できる資格が増えました。

一般入試

①B方式（3教科）入試で試験日自由選択制を導入

（2月10、11、12日）

都合のよい日に複数回受験できます。試験日は、前年度の9、10、11日から1日移動。

②B方式（3教科）入試で地方試験場を増設

岡山・大阪南会場　新設

③B方式　3教科の均等配点に変更

英語・国語・選択科目（政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅰ・A）各100点、合計300点（従来は英・国各150点、選択100点の傾斜配点）

④A方式（英語1教科）入試

1月31日に実施（前年度　2月1日）

◎一般入学試験概要・推薦入学募集概要

左頁の表をご参照ください。

◎2000年度推薦入学指定校説明会の開催

入試部では普通科指定校説明会、女子高等学校指定校説明会、商業科指定校説明会に、推薦依頼校382校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。

《普通科指定校説明会》

6月22日（火）　高松市
リーガホテルゼスト高松
徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象19校

6月23日（水）　岡山市
ホテルニューオカヤマ
岡山・広島・島根・山口各県の高等学校対象31校

6月29日（火）　京都市
ホテル京阪京都
京都・滋賀・福井・石川各県の高等学校対象50校

7月2日（金）　神戸市
神戸東急イン
兵庫県の高等学校対象81校

7月5日（月）　大阪市
東洋ホテル
大阪・奈良・和歌山・三重各県の高等学校対象98校

《女子高等学校指定校説明会》

7月9日（金）　大阪市
東洋ホテル
富山・石川・福井・岐阜・静岡・愛知・三重・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・岡山・広島・山口・愛媛各県の女子高等学校対象59校

《商業科推薦指定校説明会》

7月13日（火）　大阪市
東洋ホテル
福井・岐阜・滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・香川・愛媛各県の商業高等学校対象44校

KEIDAI CAMPUS '99
経大キャンパス'99

今年のキャンパス見学会（受験生のための大学見学会）は、7月22日（木）にActⅠを実施し、9月25日（土）にActⅡを行いました。

見学会当日は、遠くは秋田・静岡・島根・徳島・高知・沖縄など各地から多くの受験生や保護者が来学し、ミニ講義に始まる一連の楽しいスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。

（参加者1175名）

2000年度推薦入学募集概要

推薦入試の種類	出願期間	試験日	合格発表	試験場
特技（スポーツ）	10月29日～11月5日	11月12日（金）	11月20日（土）	本学
公募推薦	11月1日～12日	11月23日（祝）	11月27日（土）	本学
商業科・工業科・総合学科	11月17日～25日	12月5日（日）	12月11日（土）	本学
普通科（指定校）	11月17日～25日	12月5日（日）	12月11日（土）	本学
女子校（指定校）	11月17日～25日	12月5日（日）	12月11日（土）	本学
商業科（指定校）	11月17日～25日	12月5日（日）	12月11日（土）	本学

2000年度一般入学試験概要

	A方式（英語1教科）入試	B方式（3教科）入試	C方式（2教科）入試	大学入試センター試験利用
募集学部・学科 募集人員	経済学部　第1部　経済学科 50名	経済学部　第1部　経済学科 250名	経済学部　第1部　経済学科 50名	経済学部　第1部　経済学科 35名
	経営学部　第1部　経営学科 30名	経営学部　第1部　経営学科 185名	経営学部　第1部　経営学科 30名	経営学部　第1部　経営学科 25名
	経営情報学部　経営情報学科 20名	経営情報学部　経営情報学科 125名	経営情報学部　経営情報学科 20名	経営情報学部　経営情報学科 15名
		経済学部　第2部　経済学科 75名	経済学部　第2部　経済学科 15名	
		経営学部　第2部　経営学科 75名	経営学部　第2部　経営学科 15名	
試験日	2000年1月31日（月）	2000年2月10日（木） 2月11日（祝） 2月12日（土） **試験日自由選択制** （都合のよい日に複数回受験できます）	2000年3月6日（月）	2000年1月15日（土） ・16日（日）
試験地	大阪（本学）・岡山・名古屋	大阪（本学・大阪南）・東京・名古屋・金沢・姫路・岡山・高松・広島・福岡	大阪（本学）・岡山・名古屋	
試験科目 利用科目 （センター）	教科：英語　科目：英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：200点　時間：80分（1時限のみ） ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング　配点：100点　時間：60分 教科：国語　科目：国語Ⅰ・Ⅱ（漢文を除く）　配点：100点　時間：60分 教科：選択（1科目）　科目：政治・経済、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅰ・A（数と式・数列）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：外国語 国語（1科目）　科目：英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング・ライティング、国語Ⅰ・Ⅱ（古文・漢文を除く）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 教科：地歴数学（1科目）　科目：日本史B、世界史B、数学Ⅰ・A（数と式・数列）から1科目を選択　配点：100点　時間：60分 ※解答はオール・マーク方式	教科：国語（国語Ⅰ（近代以降の文章）、（国Ⅰ・Ⅱ（近代以降の文章））から1科目　配点：100点 教科：外国語（英語・独語・仏語・中国語から1科目）　配点：100点 教科：地歴、公民、数学、理科から1科目　配点：100点 ※国語は、特定分野（近代以降の文章）を利用 ※外国語のセンター試験の配点200点を100点満点に換算。 ※地歴、公民、数学、理科について2教科・科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。 ※個別学力検査等は課しません。
出願期間	2000年1月6日（木） ～21日（金）消印有効	2000年1月6日（木） ～26日（水）消印有効	2000年2月14日（月） ～24日（木）消印有効	2000年1月16日（日） ～28日（金）消印有効
検定料	35,000円	35,000円	35,000円	20,000円
合格者発表	2000年2月5日（土）	2000年2月19日（土）	2000年3月11日（土）	2000年2月19日（土）
入学手続期間	2000年2月7日（月） ～14日（月）〔入学金〕 2000年3月2日（木） ～23日（木）〔学費〕	2000年2月21日（月） ～25日（金）〔入学金〕 2000年3月2日（木） ～23日（木）〔学費〕	2000年3月13日（月） ～23日（木） 〔入学金・学費一括納入〕	2000年2月21日（月） ～25日（金）〔入学金〕 2000年3月2日（木） ～23日（木）〔学費〕

就職

◎1999年卒業生就職状況

新卒者採用活動の解禁日などを定めた就職協定が廃止されて2年目に入り、企業採用活動はより早期化しました。

雇用環境は、長引く景気低迷を反映して、企業が採用を絞り込む中、本学への求人件数、就職率ともに3年ぶりに前年度を下回り、厳しい結果となりました。

本学への求人は、3，391社、前年度比9・5ポイント減となりました。

また、就職決定者は1，299名（男子1，126、女子173）就職率は93・0%（男子93・1、女子92・0）となり、これまでになく厳しい就職戦場でした。その中で、女子の求人が大幅に減少し、危機感をもって例年以上に積極的に活動をした女子学生は、ほぼ男子並みの就職率となりました。

来春の新卒者就職環境は、主要企業を中心に求人数が2年連続で減少し、一段と厳しさを増しました。学生はこうしたなかで、資質と実力をより問われ、昨年以上に厳しい活動を強いられています。

【業種・規模別就職状況】　（1999年4月1日現在）

業種	人数	規模				
		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
建設業	38	14	8	12	1	3
製造業	223	71	58	88	4	2
卸売業	259	48	83	119	1	8
小売業	255	126	52	76	0	1
金融・保険業	138	100	28	1	0	9
不動産業	23	6	8	9	0	0
運輸・通信業	37	18	10	9	0	0
電気ガス水道熱供給業	2	1	0	0	0	1
サービス業	272	63	53	98	0	58
公務	37	国家公務員 9		地方公務員 28		37
その他	15	0	0	0	0	15
合計	1,299	447	300	412	6	134
構成比（%）	100.0	34.4	23.1	31.7	0.5	10.3
（前年度）		(34.0)	(28.6)	(28.8)	(0.3)	(8.3)

【地域・規模別就職状況】　（1999年4月1日現在）

		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
北海道・東北		0	1	1	0	2	4
関東	東京	141	67	50	0	22	280
	神奈川	13	6	1	0	0	20
	その他	15	3	2	0	0	20
中部		10	8	14	0	6	38
北陸		7	2	5	0	1	15
近畿	滋賀	1	7	10	0	5	23
	京都	31	15	22	0	8	76
	大阪	132	128	193	2	51	506
	兵庫	46	33	64	3	16	162
	奈良	0	1	6	0	2	9
	和歌山	16	3	4	0	5	28
中国		18	12	21	1	10	62
四国		8	11	17	0	6	42
九州		9	3	2	0	0	14
合計		447	300	412	6	134	1,299

【おもな就職先】　（1999年4月1日現在）

【建設業】	新電元工業	ダイエー	名鉄観光サービス
真柄建設	小野測器	マイカル	トナミ運輸
大林道路	キーエンス	三越	日本通運
水資源開発公団	日本デジタル研究所	【金融・保険業】	フットワークインターナショナル
積水ハウス	日本電産	池田銀行	名鉄運輸
大和ハウス工業	東急車輌製造	香川銀行	ヤマト運輸
大気社	アマノ	鹿児島銀行	日本電信電話
高砂熱学工業	島津製作所	島根銀行	【電気ガス水道供給業】
日本電気システム建設	アロン化成	泉州銀行	北陸電力
【製造業】	【卸売業】	但馬銀行	【サービス業】
伊藤園	三洋貿易	大和銀行	アルゴテクノス21
神戸屋	明治屋	中国銀行	エムケーシー・スタット
山陽コカ・コーラボトリング	オンワード樫山	百十四銀行	情報技術開発
日清製油	藤井	びわこ銀行	ダイワボウ情報システム
日本ハム	三星堂	宮崎太陽銀行	都築通信技術
ブルボン	伊藤忠燃料	和歌山銀行	トランス・コスモス
ラピーヌ	シナネン	尼崎信用金庫	日本コンピューター・システム
電通テック	東洋エクステリア	愛媛信用金庫	日本システムディベロップメント
コクヨ	NAITO	大阪市信用金庫	富士通デバイス
大同ほくさん	日伝	きのくに信用金庫	兵庫南農業協同組合
北興化学工業	日立金属商事	京都信用金庫	わかやま農業協同組合
ニチレキ	NECパーソナルシステム	京都中央信用金庫	社会保険診療報酬支払基金
バンドー化学	コナミ	富山県労働金庫	簡易保険福祉事業団
三ツ星ベルト	立花商会	野村證券	大和工商リース
日立金属	都築電気	第一生命保険	リコーリース
三協アルミニウム工業	日立ビジネス機器	日本生命保険	セコム
住友電気工業	富士通ビー・アンド・エス	安田生命保険	【公務】
不二サッシ	キャノンコピア販売	富士火災海上保険	建設省近畿地方建設局
SMC	デュプロ	オリエントコーポレーション	防衛庁
コマニー	明光商会	【不動産業】	大阪府警察本部
クマヒラ	【小売業】	関西積和不動産	京都府警察本部
三和シャッター工業	イズミヤ	日本住宅流通	滋賀県警察本部
住友金属工業	近鉄百貨店	【運輸・通信業】	和歌山県警察本部
THK	高知大丸	エイチ・アイ・エス	東京消防庁
クボタ	ジャスコ	関西国際空港	高松市役所
セガ・エンタープライゼス	生活協同組合コープこうべ	全日本空輸	富士市役所
大和冷機工業	セブンイレブン・ジャパン	東急観光	和歌山市役所

クラブ戦績　1999. CIRCLE

体育会

クラブ名	成績
空手道部	泉北空手道大会　段外　準優勝　田村淳一　　有段　ベスト8　塩見悠介 ベスト16　中嶋　耕、濱谷　剛 全関西学生空手道選手権大会　第2部　2回戦 草野派糸東流全国大会　有段の部　第3位　長嶋　耕（4年）　無段の部　優勝　田村淳一（1年） 第3位　田中宏明（3年） 豊中市空手道大会　有段の部　第3位　長嶋　耕（4年） 八尾市空手道大会　無段の部　優勝　田村淳一（1年）
日本拳法部	大阪市民大会　日本拳法一般参段以上の部　優勝　安田　隆史　段外の部　準優勝　吉田　京
柔道部	関西学生柔道優勝大会　団体　ベスト8　全日本学生柔道団体優勝大会出場 関西学生柔道体重別団体優勝大会　ベスト8　近畿大会出場 ジュニア体重別選手権大会　大阪府予選　81kg級　2位仙波利章 第1回全日本学生柔道体重別団体優勝大会ベスト32 2回戦大阪経済大学　1－5　京都産業大学　（松田、荒石、橋本、松池、林、前野、橘）
剣道部	関西学生優勝大会　団体2位　関西新人戦　団体3位
合気道部	京都、大阪演武大会　京都女子35周年記念…演武会出場　関西学生合気道演武大会出場
少林寺拳法部	関西学生大会　級拳士の部、二段の部　決勝戦進出　ベスト12　大学対抗試合、組演武　優勝
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ戦　4位　関西六大学野球秋季リーグ戦　4位　秋季新人戦　3位
準硬式野球部	近畿六大学　春季リーグ戦　3位　近畿六大学　秋季リーグ戦　6勝3敗1分　3位
硬式庭球部	リーグ戦　男子5部　リーグ優勝
ソフトテニス部	関西学生ソフトテニス秋季リーグ　1部　6位　関西学生選抜ソフトテニス選手権　出場　入野谷・杉野組
サッカー部	関西学生サッカー春季リーグ2部　Aブロック　4位 関西学生サッカー秋季リーグ2部　Aブロック　3位
ラグビー部	関西学生Aリーグ　8位
ハンドボール部	関西学生ハンドボール春季リーグ戦　第3位　阪　昭博　得点王（2年） ベスト7　松浪博明（3年）・塩山浩人（3年） 西日本学生ハンドボール選手権大会　出場（全日本学生ハンドボール選手権大会　出場権獲得）
卓球部	春季リーグ戦　2部　優勝　全日本大学対抗卓球選手権大会　出場（千葉県浦安市） 秋季リーグ戦　2部　4位　全日本学生卓球選手権大会　シングルス出場（富山県富山市）
バスケットボール部	大阪府学生大会、全関西バスケットボール大会　西日本大会 第54回国民体育大会秋季大会 山岡　豊（2年）…奈良県代表　斉藤　強（3年）…大阪府代表 宮下健二（3年）…大阪府代表 結果…奈良県（1回戦で敗退）、大阪府（決勝戦へ進出）準優勝
バレーボール部	関西バレーボールリーグ春季リーグ2部3位　関西学生バレーボール秋季リーグ戦　2部6位 大阪府学生バレーボール大会出場
アメリカンフットボール部	西日本学生トーナメント　ベスト8 ・交流試合　対　摂南大学　14 vs 13　対　岡山大学　21 vs 6　対　龍谷大学　6 vs 0 ・秋季リーグ戦1戦　対　大阪外大　69 vs 0　第2戦　対　大阪商大　52 vs 1 第3戦　対　阪南大学　27 vs 2
ボクシング部	大阪学生ボクシング連盟　2部リーグ　5位　大阪学生ボクシング選手権大会　Bクラス　大谷洋平　準優勝
陸上競技部	大阪学生対抗陸上競技選手権大会　5,000m　優勝　村田　章太郎（4年）　砲丸投げ　優勝　椿井　健一（4年） 関西学生駅伝　第6位
バドミントン部	関西学生1部春季リーグ戦　5位　第50回全日本学生バドミントン選手権大会　2回戦
自転車部	関西学生サイクルサッカー春季リーグ戦　第4位 関西学生サイクルサッカー選手権大会　京徳・久語組　3位／黒川・奥村組　5位 全日本学生サイクルサッカー選手権大会　黒川・奥村組　4位／京徳・久語組　6位 99年度関西学生サイクルサッカー秋季リーグ戦　4位 第30回全日本サイクルサッカー選手権大会（平松・小森組　8位） 99年度全日本サイクルサッカー新人戦　（水谷・深尾組　3位）
アイススケート部	（スピード）関西学生ショートトラックスピードスケート競技会　団体総合　3位 （フィギュア）関西学生氷上競技選手権大会　A級女子個人　7位　B級女子個人　8位
ゴルフ部	関西学生　予選通過　川合敏之（2年生）

クラブ戦績　1999. CIRCLE

学　術　会

クラブ名	時期、研究会・公演等
英語研究部	スピーチコンテスト等の参加
簿記会計研究部	日商簿記検定資格取得、夏期・秋期部内討論会 春、夏合宿、簿記合宿、春・秋期関西学生会計学研究会（本大会） 三校討論会、西日本学生会計学研究会（論文大会） 10月24日　第68回関西学生会計学研究会　参加（同志社大学　主催） 11月１日　学祭に於いて講演シンポジウムを主催 テーマ：「会計ディスクロージャーの新展開」 講　師：甲南大学経営学部教授　伊豫田　隆俊先生（前任校　本学） 12月４・５日　第66回西日本学生会計学研究会参加（関西学院大学　主催） 論文発表「持株会社における連結納税制度の必要性について」
証券研究部	新人生歓迎行事　毎週月曜日の部会　　春季、秋期、冬期セミナー参加、夏合宿 証券研究関西学生連盟による証券取引所の見学　　全日本ゼミナール大会参加
文芸部	11月１日　新人公演　　12月末日　定期公演
ワープロタイピング部	ワープロ検定　２級　５人取得　　ワープロ検定　３級　７人取得　　７月　ワープロ検定
将棋部	春季関西学生将棋大会　二軍戦Ｃ級　７位　　秋季関西学生将棋大会　　通天閣将棋大会
ユースホテルクラブ	６月　前期交歓会　　７月　練成　　９月　追い出しホステリング 10月　後期交歓会　　11月　大楠祭、総会
社会福祉研究会	10月31日～11月３日　学祭　介護保険・療法・社福の活動について展示 ２月中旬～３月　彦根学園、金剛コロニー砂川センター・新生園・菊水苑の施設で３泊４日ボランティアとしてお手伝いに行く。
旅行研究会	６月中旬～　９月夏合宿の会議　　７、８月　関西地区大学旅行連合での会合に参加
パソコン部	ホームページ作成・公開、プログラム言語（VB）、画像処理 パソコン検定、システムアドミニストレータ検定の取得

独　立　総　部

クラブ名	時期、催し物等
CBS文化放送局	６月12日　モニター会　場所：尼崎市ピッコロシアター　　11月　放送祭　　12月　NHK大学放送コンテスト
吹奏楽総部	吹奏楽コンサートの司会、邦楽演奏会の司会 ６月30日　第31回定期演奏会（場所：尼崎市総合文化センターアルカイックホール） ７月17日　たそがれコンサート（場所：大阪城公園内野外音楽堂） ８月29日　東淀川区ふれあいコンサート（場所：東淀区民ホール） 11月23日　第21回ウインター・コンサート
ゼミナール協議会	10月23日　関西ブロックインナー大会'99京都学園大学大会 11パート参加　ダイオキシン部門　濱本ゼミ　山本賢チーム優勝 11月28日　学内ディベート大会開催 12月18日　日本学生経済ゼミナール金沢経済大学大会 部門　マーケティング論　100円ショップの経営戦略
ワンダーフォーゲル部	６月12、13日　１次合宿（比良山系）　　６月26、27日　２次合宿　　８月１～15日　夏合宿（北海道） 10月　秋合宿・大楠祭　　11月　泉学園・SL養成　　３月　春合宿
アルバム委員会	通年で卒業アルバムを制作しています。

Ⅱ　部　総　部　会

クラブ名	時期、大会名・成績、活動内容
軽音楽部	８月　大楠祭　12月、３月演奏会
クリエイティブクラブ	毎週月曜　勉強会
F.C.Domingo	10月16、17日　オータムサッカーフェスティバル in 神鍋 ２月28日、３月１日　関西カレッジフェスタ in 但馬ドーム（場所：神鍋高原）

クラブ戦績　1999. CIRCLE

競技スキー http://www.cyberclick.to./~ski/	全日本学生スキー選手権　大回転　7位入賞　　全関西学生スキー選手権　回転　優勝 ※ホームページを開設しました。
カヌー部	大阪府民大会　ＳＫ-２（１位）北辻、竹内500m　　ＳＫ-２（３位）藤原、大野500m ＪＫ-２（２位）中村、松本500m　　ＪＫ-２（３位）岸田、西野500m ＪＫ-１（３位）岸田500m 関学選　　ＳＫ-４（３位）山崎、林、竹内、桃井　　ＪＫ-２（５位）寺本、西野500m ＳＫ-２（５位）山崎、林100m　　ＳＫ-２（８位）山崎、林500m ＪＫ-１（７位）寺本（500m）　　ＪＫ-２（８位）岸田、前田（500m） ＪＫ-２（９位）中村、松本（500m） インカレ　　ＳＫ-１ リレー（７位）山崎、林、竹内、北辻500m ＪＫ-１（８位）岸田500m、ＪＫ-２（８位）中村、松本500m
自動車	六大学ダートトライアル選手権大会　１位　　第２回全関西学生ジムカーナ選手権大会　13位
ヨット部	関西学生ヨット選手権大会個人戦　11位（山本、鈴木組）　　関西学生ヨット選手権大会団体戦　８位
洋弓部	西日本大会　1127点　35位　　全日本学生インカレフィールド大会　245点　古川和俊
重量挙部	西日本ウエイトリフティング選手権大会　２部　団体　４位　個人、全体　７位　数見　行紀（２年） 関西六大学対抗　ウエイトリフティング選手権大会 団体の部　３位　　個人の部　・69kg級　２位　山内秀泰（２年）・77kg級　３位　古堅　昇（３年） ・85kg級　２位　数見行紀（２年）
水泳部	第73回関西学生選手権水泳競技大会　３部２位　２部昇格 男子400mメドレーリレー　１位　自由形、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎ100m　３位　背泳ぎ200m　２位
チアリーダー部	関西チアリーダー選手権出場　　関西六大学野球の応援　　アメフト応援

芸　術　会

クラブ名	時期、催し物、研究会、演奏会
軽音楽部	６月19日　ライトミュージックコンサート（場所：江坂ブーミンホール） ８月８～12日　合宿（場所：小豆島）　　学園祭　「音楽人間大集合」主催 12月３日　ウインター・コンサート（冬期定期演奏会）（場所：江坂ブーミンホール）
演劇研究部	６月　第24回ごくつぶしの夕べ　　11月　新人公演　　12月　第54回定期公演
グリークラブ	関西合唱コンクール　大学の部Ｂ（33人以上）金賞　　６月13日　合唱祭　　７月５日　Joint Concert 10月　関西合唱コンクール　　11月　全日本合唱コンクール　　10月24日　関西合唱コンクール　３位　金賞 12月　第35回定期演奏会（場所：吹田市文化会館メイシアター大ホール）
写真部	４、６月　学内展示　　６月10～15日　部展　心斎橋ピルゼンギャラリー 12月９日～14日　卒業生展（場所：心斎橋ピルゼンギャラリー）
映画研究部	12月12日　シネマランド（場所：心斎橋PIPE CAFE）pm９：00～ 12月16日　ウインターシアター（場所：本学　C-41教室）
美術研究部	毎年12月第2週にかけて卒展（大阪画廊）　　６月７～12日　春季合同部展（大阪画廊） ８月中旬　大学美術連盟展　　９月～10月　大楠祭のピクチャー、オブジェ製作 11月15日～19日　卒展　大阪画廊　　11月下旬　秋季部展
吟詠部	６月20日　第32回岡山大学吟詠部　大阪経済大学吟詠部交歓吟詠発表大会 10月24日　大阪経済大学創立40周年記念第35回単独吟詠発表大会 12月12日　全国学生詩吟連盟第41回関西支部大会
茶道部	４月５・６日　新人生歓迎茶会（場所：正門横芝生）　　７月25日　合同茶会（場所：西宮神社） ８月　夏合宿　　10月31日、11月２日　学祭　野点　　11月28日　第35回秋季単独茶会
マンドリンクラブ	４月11日　第29回大阪学生マンドリン連盟合同演奏会　　６月27日　マンドリンフェア 10月22日　第34回定期演奏会 ３月12日　ジョイントコンサート（場所：京都コンサート小ホール）開演14：00～
邦楽部	６月　春季演奏会「和」（場所：学生会館ホール）　　11月26日　定期演奏会「響」
落語研究会	５月15日　joint concert　　６月７日　ごくつぶしの夕べ（司会及び30分寄席を行う） ９月～10月　落語研究会単独奇跡を決行予定。

事務局だより

本部役員一覧

1999.11.20現在

氏名	役職	卒回
陰下 嘉典	会長	16
萩原 市郎	常任顧問	10
福田 耕	副会長	16
車野 修三	副会長	27
白井 正幸	副会長兼組織・広報部長	26
津秋 靖博	副会長兼総務部長	29
福元 輝雄	副会長兼財務部長	37
水納 敏也	事務局長	25
梶村 貞男	総務部副部長	37
高塚 邦夫	総務部副部長	41
大西 健介	財務部副部長	35
福地 利仁	組織部副部長	39
市原 幸恵	組織部副部長	42
森川 義一	広報部副部長	25
大門 由秀	広報部副部長（澱江編集委員会委員長）	46
山内 淳子	総務部副部長	47
神田 博	事務局長補佐	30
太田 一澄	事務局長補佐（大阪支部長兼務）	17
平尾 哲男	事務局長補佐（大阪支部会計兼務）	28
宇藤 博文	事務局長補佐（和歌山支部長兼務）	28
長尾 晃	監事	8
植村 祐三	監事	32
森 政彦	監事	33
渡辺 達好	名誉会長	3
磯野 斉	相談役	3
山上 善彦	顧問	2
長岡 辰生	顧問	5
南部 俊一	顧問	9
桑津 昇	顧問	11

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

（ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です）

経大イルミネーション

今年、12月1日、（教職員組合50周年を記念して）E館前にて経大イルミネーションの点灯式がありました。写真のようなイルミネーションが、12月1日～1月31日の午後5時～9時頃（休日・祝日・冬季休業中を除く）、図書館横、E館前、大樟ホールの樹木に、きらびやかに点灯しています。大学に立ち寄りの時には、ご覧下さい。

学歌CD制作に寄せて

学歌CD制作実行委員会

昭和10年、黒正厳博士により創立された昭和高等商業学校は、戦中・戦後を大阪女子経済専門学校、大阪経済専門学校と変遷しつつ、その揺籃から既に70年を迎えようとしています。

歌い継がれてきた学園の歌は、その歌詞にメロディーに建学の精神を今の大阪経済大学に伝えています。そういった歌を形に残すため、今から20年前の昭和54年にレコードを作成しました。作られた17cmEPのタイトルは「惜春の賦」で、吹奏楽総部、グリークラブ、マンドリンクラブが演奏し歌ったもので、懐かしい思いで聴いたOBも多かったことと思いますが、残念ながら現在の学生の多くはこうした歌があることを知らないまま卒業しています。

このたび、後援会、同窓会共同企画でレコードより新しい形、すなわちCDで歌を残すことになりました。

大学には「学歌」、「逍遙歌」、「第一応援歌」、「第二応援歌」、「選手送歌」、また昭和高等商業学校時代の「学園歌」があります。そういった歌を前回参加クラブに新たにギタークラブ、吟詠部の協力を得て録音しました。現在の学生による現在の歌です。一度ゆっくりご鑑賞下さい。

平成10年度版（平成11年5月発行）同窓会名簿を販売しています。

新名簿を販売しています。
ぜひ購入して有効に活用してください。
※同窓会の名簿作成については、いかなる業者にも依頼することは絶対ありません。

収録概要
◇第1回卒業生より第64回卒業生（平成10年3月卒業）
◇創設時より平成10年3月までの大学院の卒業生

価格
◇一冊 6,000円（送料込）
予約金支払方法
◇郵便振込
同封の払込用紙をご利用ください。
（払込手数料は不要です。）

問い合わせ先
◇大阪経済大学同窓会事務局
06・6328・2431㈹

とくに官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申しあげます。

異動のあったときはただちにご連絡ください。
●住所変更
●呼称変更
（新住居表示となった場合）
●勤務先変更
●所属部課異動
●役職異動
●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

●ご注意
最近、皆さまのお手もとに複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の制作に当たっての名目で、調査カード並びに購入の勧誘が届いていることと思います。この件についてさまざまな問い合わせが寄せられていますが、同窓会本部とは一切関係がありません。
ご承知おきくださいますようよろしくお願い申しあげます。

大阪経済大学は2002年9月30日で創立70周年

学　歌

作詞　秋本吉郎
（元本学教授）
作曲　柴田南雄
（元東京芸術大学教授）

1.
大淀の　水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原　緑が沁みる
この若さ
希望は明るい　蒼穹かけて
永遠の青春　みなぎる学園
大阪　大阪経済大学

2.
大樟の　蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が　幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた　融和の象徴
繋れ自由の　花さく学園
大阪　大阪経済大学

学園歌

作詞　黒正巖
（昭和高商初代校長）
作曲　水野康孝
（元本学教授）

1.
商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衢を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遥歌

作詞　中村行男
（16回卒）
作曲　松川圭一
（15回卒）

1.
此処　城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変るまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.
踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

KEIDAI OSAKA
でんこう
澱江
1999
■発行日　1999年12月20日
■編　集　同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話（06）6328-2431
■印　刷　凸版印刷株式会社
〒533-8550 大阪市福島区海老江3-22-61　電話（06）6454-3256